卒業生が語る

合格への軌跡 2020年

WAY TO SUCCESS

東京慈恵会医科大	2次正規合格
順天堂大医学部	2次正規合格
日本医科大前期	2次正規合格
日本大医学部	2次正規合格
東邦大医学部	2次正規合格
昭和大医学部	I期2次合格
獨協医科大	2次正規合格
国際医療福祉大医学部	2次正規合格

石井先生も水は低きに流れるってよく言ってて、まぁ、なんで、低きに流れないように、強い意志を持ってやったほうがいいと思います。

東京慈恵会医科大進学　鹿山 竜輔 くん(前橋高校卒)

自分でも信じられない位どんどん受かっていった。

慈恵は現役が多いです。あと東京(出身者)も多いですね、70人ぐらいで。前高(前橋高校)は、僕一人しかいないですね。まあ、うちの親も途中からなんか、信じられないっていうか、こんなに受かって、いったい何が起こってるんだって。お父さん昭和なんで、昭和受かった時は、まぁけっこう喜んでて、自分もすごい嬉しくて、連絡来たときとかは駅のホームなのに「よっしゃあ！」って叫んでたりしたんですけど。なんか、そこからどんどん正規、正規って来て。自分でも信じられなくなっていって、嬉しいってよりかは信じられないって感じでしたね。

6時半とか6時45分には登校。朝同じ時間に来る、それをやり抜くことがきつかった。

一年、きつかったんですけど、勉強がきつかったっていうよりかは、なんですかね、朝起きるとか。朝来てるメンバーって、ほんと同じ時間に来てるんですよ。やっぱ三輪(近畿大医学部進学：三輪龍介)とか、大竹（日本医科大進学：大竹理央）さんとか。隣だったんですけど。そこらへんのメンバーが来てるの見て、「やっぱ自分も同じ時間に来なきゃだめだな」って思って。自分も同じ時間に来ようと思うんですけど、続かなくて…。だから、そういうところが、きつかったですね。それで自分なりの時間を決めて、6時半とか6時45分にはいつも来るようにしていましたね。
石井先生が多数校受かる人は2〜3分の誤差とかで来るやつとかいるって言ってたし、軌跡読んでもなんかやっぱり、先輩とか。来てるやつは毎朝本当に同じ時間に、やっぱ、受かるためにはそうしなきゃいけないって思って、自分でそれをやり抜くのがきつかったです。

代官山に来て「意識」変わった。周りに負けたくないって思うようになった。

現役のときは地元の塾に行ってて、スマホとかいじりまくってたので、甘いところがあって、受かるわけないっていうか。代官山に来て、なんか「意識」変わったっていうか。やっぱ本当に生活。石井先生の授業で厳しく言われてたってのと、あとライバル心っていうか、周りに負けないっていう…。特に理系科目に関してはM1のみんな、地頭めっちゃよかったんで。そいつらに負けなくない、理系科目で逆に勝ってやるって。やっぱライバル心は早稲田ゼミのころに比べるとめっちゃあったんで。地元だといや、なんか一緒にYouTube観てたり。カップ麺食いながら一緒にYouTube観てたりしてたんで。ライバルいなかったです。去年は本当に人が変わった感じでできたと思います。

最初、授業多すぎないかとか思ってたんですけど、忙しい時間割のおかげでずっと勉強している状況を作り出せた。

最初、授業多すぎないかとか思ってたんですけど、こんだけ詰まってるから、予習とか復習とかも忙しい中時間つくってやるようになれたし。逆に、この忙しい時間割のおかげでずっと勉強している状況を作り出せたのかな、って。時間ありすぎても何やればいいかわかんなくなっちゃうと思うんで。先生からも具体的に課題が出るし、そこがはっきりしてたんでよかったです。あとなんか、皆…冬とかもうM1は男子だけ。男子校っぽくなってたんで。森口(杏林大医学部進学：森口徳之）と三輪(近畿大医学部進学：三輪龍介)はクラス上がってきて、まぁ女の子達はクラス下がっちゃったんで。皆仲良かったですね。それぞれ目指すところあったんで、お互い勉強しやすかったです。

僕は数学センスなかった。「センスゼロでやる」っていう薄先生に従おうって…。

教わってた先生全員印象に強く残ってるんですけど。まぁでもやっぱ一番は薄先生で。僕はまぁ、数学ほんとセンスないんで。で、その薄先生は、「センスゼロでやる」ってのを逐一言ってて、それでもう、「じゃあ薄先生に従おう」って思った。授業中めっちゃビシバシ言うんですよ。「お前らは、数学勉強してるんじゃなくて、ただやってるだけだ」とか、結構言ってて。あと、なんか「こう考えろ、こう考えろ」って結構いっぱい言ってくれていて。そういうのが結構刺さってて。ま、それは本当に、一つひとつ毎回参考にしてたりしてて。その、自分はすごいノート活用してて、授業も150%ノート取るっていうか。板書だけじゃなくて、先生が言ってるまんま。その、センスがない俺からしたら、大事そうなこととかを、もうめちゃくちゃ書いた。長澤先生とかも授業中、俺的には「いや、これ大事だろ」っていうことを板書に書かないんで、僕はそれ全部バーッって書いてて。あとやり直しの時とかも、気づいたこととか書き足していく。あとは平パンとか長澤先生のところによく質問行ってたんで、そん時に教えてくれたこととかも、全部、ノートに書きまくったり。あと薄先生の本に書いてあるポイントとかも全部書き写したりして。自分は、その、ほんとセンス無かったから。なんだろう、その、やり方指定された方が良かったんですよね。本もほんと丁寧に書いてあったんで、それが自分の考え方とか、そういうのを変えたりできて。まぁノートを参考書みたいな感じで使っていましたね。長澤先生も質問に行くと、「こういう理由だから、こうだよ」とか、ちゃんと理由もつけて教えてくれるんで良くて。平パンも、区分求積のこと聞きに行ったら、「区分求積はこうしたら減点されないからこうやって覚えたらいいよ」とかまで教えてくれて、で、その後に「これ慈恵とかで

出てるから覚えとけ」とも言われて、そしたら今年慈恵の大問2でそれ使って、完答できたんですよ！典さんの授業はなんかもう、ただただ楽しかった…男子校みたいだったっていうか。予習せずにその場で解いて、解けたらみんな、自分から挙手して、ハイハイハイ！みたいな感じで。みんな競ってたっていうか。誰が一番早くできるかとか。上手い解き方はどれかとか。まぁ、代官山での初めての授業が典さんで、「ああこれヤバい、ついていけない」って思って、山室先生のところに、クラス下げてほしいっていったりしたんですけど、まぁ結局トップの授業、受け続けて、頑張ってついていって良かったなって思っています。

ノムプリやったお陰で順天の物理とかもずいぶん伸びた

物理は、高校の調査書とかで最後２だったりしたので、元々物理はあんまり好きではなかったです。
でも寺澤先生と小澤先生と、で一番お世話になったのが野村先生の3人全員から大事なこと教わりました。まぁ３人全員に本当に感謝しています。僕は特に野村先生のマンツー取ってたんで、質問もめちゃくちゃしてて。プリントもらってやってって、まぁ僕たちM1の間では、「ノムプリ」って言ってたんですけど、まぁその、ノムプリってのが、講義問題６０問と、演習問題が３０問ぐらいあって。演習問題はちょっとレベルが上ので。まぁ結構それをまわして。毎回やって野村先生に見せたりしてて、やり直しとかも含めてめっちゃやって、なんかノムプリめちゃくちゃ良いっていうか、エッセンス付いてるっていうか、良かったんで。ノムプリやったお陰で順天の物理とかもできてよかったです。授業も野村先生は、細かいところからちゃんと教えてくださって、板書もめっちゃ書くんで

すけど、すごいなんか、ノートの安心感っつーか、めっちゃ細かいところから、ちょっと気をつけた方がいい注意点とか、なんかすごい書いてくれて、ほんとありがたかったですね。最初に合格者座談会で、先輩方が、「野村先生のプリントやっておけば大丈夫だよ」って言ってたんで、で、俺もコン(日本大医学部進学：金源太郎)とか、あと石川(杏林大医学部進学：石川倭子)とかもらったりして。僕は途中からマンツー取ったんで、そこでも違うのも貰って、でミワ(近畿大医学部進学：三輪龍介)も結構、最後マンツー取ってたんで、もらったりしてて。まぁ先輩の評判が良かったってのもありますね。マンスリー、最初どころか途中もひどくって、物理、アップダウンがすごくて。でも最後が偏差値71まで行って…、１２月で１位になってたかな。ほんとノムさんのおかげです。

自習室は物音立てたら罪！ってくらい静か。付箋に次のMTの目標を貼ってモチベに。

自習室、集中できますね。やっぱり周りもみんな集中してるんで、「やんなきゃ！」ってなるし。自習室はもうなんか、物音立てたら罪！みたいな、そんな空気あるんですよ。やっぱり、集中せざるを得ない状況になってるんで。教室行っちゃうとやっぱ喋っちゃうし。そうですね、自習室が一番集中できてよかったです。まぁ、モチベーションを上げるために毎回Monthly終わった後に、「軽部（東邦進学）ぶっつぶす」とか「コンぶっつぶす」とか、あと「原木(日医進学)君目指せ」とか、そういうことを自習室の壁に付箋で貼り付けたり。まぁ勉強のことはあんまり書いてなかった気がします。sin・cos・tanの、なんかそういうどうしても覚えられないやつだけ貼ったりして、自習席は自己流にカスタマイズしていました。

代官山は半分家。生活リズムが整えられつつ拘束力があるから１年で受かれた。

まぁホント代官山はまぁ半分家みたいな。もう生活の中心の場所って感じでした。やっぱ、スケジュールが、スケジュールっていうか授業がぎっちり詰まってて、授業自体も少人数で、まぁ先生と生徒の距離とか、まぁ生徒間の距離も、まぁ良い意味で近くて、生活リズムがしっかり整えられつつ、まぁ精神的にもやるべきことに集中できてっていう感じが良かったです。まぁ、先生達からの拘束力があるってところですね。やっぱ絶対、自分だけで勉強するってなると、絶対１年じゃ終わんなかったんで。拘束力が強いっていうのは、本当に良かったです。いやホントに、１年で受かって良かったです。最初、現役の時とか、友達にネタで「五か年計画」とか言ってたんで、まぁ代官山じゃなかったら本当に、１年じゃ済まなかったんじゃないなかって思います。まぁ１年で済んだとしても、慈恵はたぶん無理だったと思います。

集中続かなかったときは、パンフレットの軌跡に載ってる先輩方のやつ、読んでました。

夏あたりに、途中から俺、実家から代官山の入塾パンフレットを送ってもらって。日曜日とかは本当に、夏も、夏過ぎてからも一人で結構遅くまで勉強してたんですけど、その夏前とかは家で勉強やろうと思ってもちょっと集中続かなかったりして、そういう時に石井先生に軌跡読んどけよって言われて。軌跡読みたいなって思って送ってもらって。あの、まぁ兄（獨協医科大進学）もここに通ってたんで、なんかでかいやつがあって、古いバージョンが。牧君(2018年順天堂大医学部進学：牧健太郎)たちのが最新のページに載ってるやつ。最新のも結構読んでて…あと、カジ…梶浦君（2018年日本医科大進学：梶浦淳史）とかの。「大学を愛する」とかのもけっこう読んで、実際僕も順天行ったんで。あれ、ほんと、いや…、みんな参考になりましたね。まぁ原木君とかはちょっと個人的に意識していました。なんか、石代さん(大阪医科大進学：石代俊也)が、俺が一番原木君（2019年日本医科大進学：原木健伍）とかと、点の取り方が似てるって言ってて。ずっと勉強していたらしく原木君とかいつご飯食べてるんですかって石代さんに一回聞いたんですけど、そしたら食べてるところ見たことがないって言ってて。で、なんかすごい真面目だなって思ってて。で、点の取り方も似てるって言われてたんで。まぁ原木君を目指そうって結構思っていました。

寮のご飯は、あったかくて、ほんと、おいしい。いつもギリギリだったけどあったかい美味しいご飯で僕の帰りを待っていてくれた。

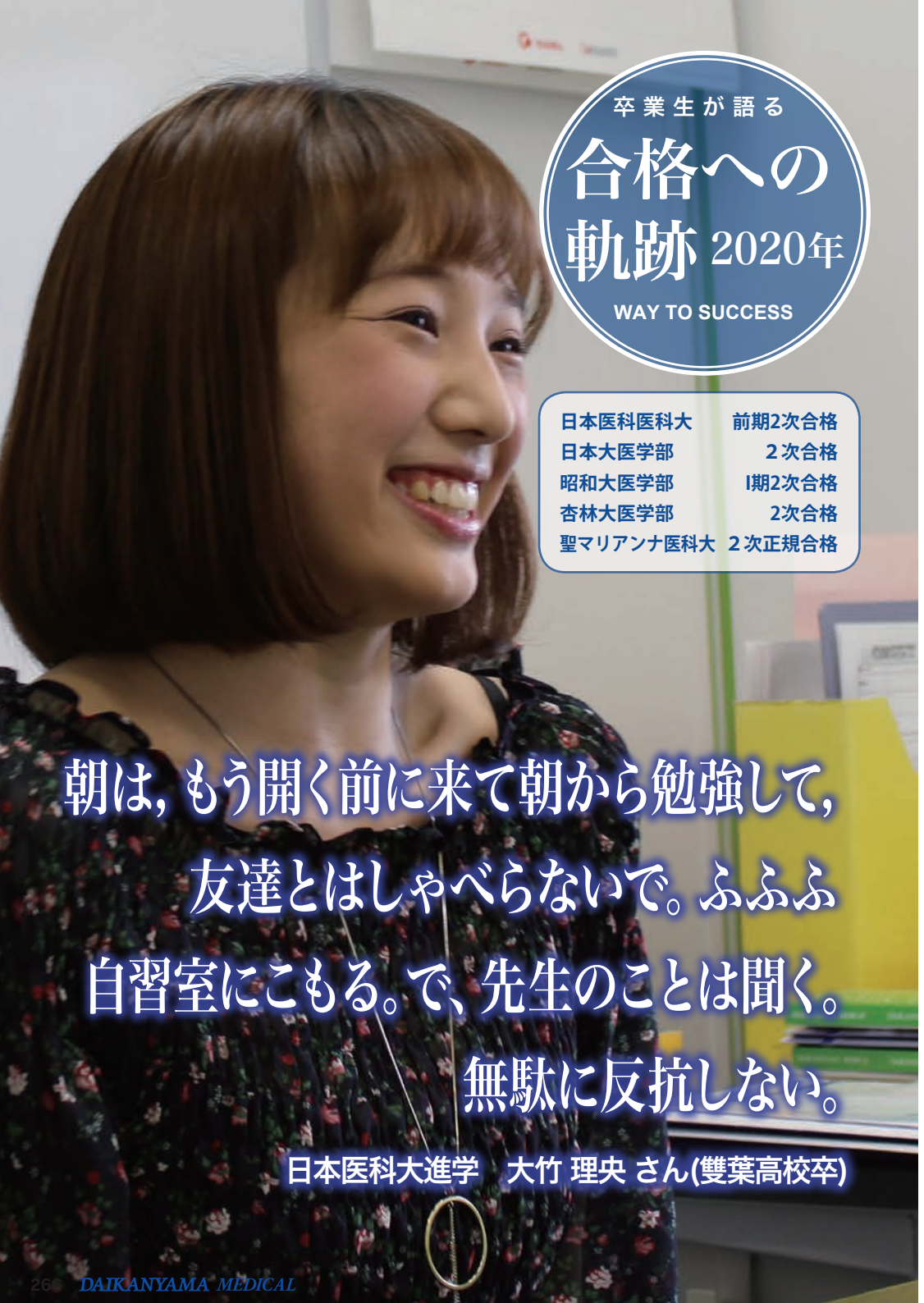
僕は、代官山の食事付寮に入ってたんですけど、寮はご飯がおいしいんですよ。ホントにおいしくて、帰ったらあったかくて、健康的なご飯が用意されてるってのが本当にデカかったですね。質問とかで自分はいつもギリギリに帰ってたんですけど、「もうちょっと早く帰って来てね」って、注意されつつ。まぁ、実際いつもギリギリだったんですけど。それでもちゃんとあったかいご飯で僕の帰りを待っててくれて。まぁホントに良かったです。朝も食べたらすぐに出るっていうか、朝とかやっぱ、勉強してるやつが先に塾にいるって考えると、やっぱ、勉強しなきゃって思うんで。めっちゃ急いで自転車漕いで、５分ぐらいでいつも。急いで塾に行ってました。

英語得意とアピったら、面接で医師志望理由を「英語でどうぞ」。

順天の面接は、1日目でした。面接官の人、なんかおじいちゃんで。なんか英語でしゃべらされました。自分は小中、英語に特化したところに通ってたんで、そういうことアピールしていたら、「医師志望理由を英語で言ってみて」って言われて。用意してあったの英訳して言って。そしたら今度その先生が、「あなたのお父さんは何科ですか」って英語で聞いてきて。まぁそれ英語で「整形科医です」って言って。まぁでも、それがうまくいったのか、「英語上手だね」って。まぁ面接もそれでうまくいったんですけど。だからあんまり英語得意得意って言うと、英語でしゃべらされる可能性が…。ああ、昭和でもしゃべらされたんで。昭和でも最後ちょっと時間余って。「あ、じゃあちょっと、適当に英語喋ってみて」って言われたんです。そういう迂闊な、過剰な英語アピールは危ないかもしれないです。あと二次対策めっちゃやった。途中俺、二次全落ちもありうるって先生に言われたんですけど、「二次力はＡ10以下」って言われたんです。それでけっこう悔しくて。まぁ小論は最後まで微妙だったんですけど。面接を、先生に言われたとおりに。言われたことをちゃんと意識して。まぁあと若者らしくっていうのを先生が意識するように言っていたんで、やっぱ教授に「こいつ採りたいな」って思ってもらえるように。演じたっつーかなんか、好青年らしくって、それも成功の要因だと思います。

この1年だけはちゃんとやろうっていう…思いでやったんで。スマホも封印して。

まぁ苦手…得意は伸ばして苦手は潰すっていう、まぁ基本だと思うんですけど、まぁ得意はやっぱ徹底的に伸ばした方がいいんじゃないかなって思いますね。で苦手は足引っ張りすぎない程度のレベルまで全部持って行って、あんま偏らずに勉強した方がいいですかね。まぁ毎日、自分もやってたんですけど毎日、全部の教科に触れるとか。ちゃんとそういうところも徹底して、やった方がいいと思います。あとは、まぁやっぱ、いろんな人がいるんで、人によってはなんか、ダラダラしている人もいると思うんですけど、まぁ自分の…なんですかね。まぁ、思い…強い思い。強い意志で流されないようにやってほしいですね。時々流されましたけど（笑）。まぁ、石井先生も水は低きに流れるってよく言ってて、まぁ、なんで、低きに流れないように、強い意志を持ってやったほうがいいと思います。この1年だけはちゃんとやろうっていう…思いでやったんで。スマホも封印して１年通しました。ただ、試験会場とか行くのに、スマホないと、地図とか分かんないんで。そっから徐々に乱れていったんですけど、まぁ、1年間頑張ったんで、受かったっていうか。なんとか耐えましたね。



卒業生が語る

合格への軌跡 2020年

WAY TO SUCCESS

日本医科医科大	前期2次合格
日本大医学部	2次合格
昭和大医学部	I期2次合格
杏林大医学部	2次合格
聖マリアンナ医科大	2次正規合格

朝は，もう開く前に来て朝から勉強して，友達とはしゃべらないで。ふふふ自習室にこもる。で、先生のことは聞く。無駄に反抗しない。

日本医科大進学　大竹 理央 さん(雙葉高校卒)

最終合格は昭和・日大・杏林・聖マ・日医。聖マは正規でした。

１次合格できたのは、何個だろ？１０……あれ１０はないかな？岩手受かって、昭和受かって、埼玉、聖マ、日医、杏林受かって、日大。１次で岩手埼玉棄権したけど，他は２次落ちしたところはないです。補欠全部きました。だから最終合格は昭和・日大・杏林・聖マ・日医。聖マは正規でした。
受験期間中、日医は難しいと思ってたからガチで行ったんですけど，杏林は…試験時間が２時間位遅れて，なんか気い抜けちゃって。。。１時間目理科だったかな，えっやばくないこれ，落ちるじゃんって。数学はみんな出来ないよって先生言ってたから，いつも通りやって。で英語は本気出したら，なんとか１次通った，でも通ると思ってなかった。化学でちょっと，無機がいっぱい出て，多分上の方狙う人は絶対に取れるよね、っていう基本のところたくさん出てました。

今年ちょっと失敗したなぁと思ったのは・・・

あと今年ちょっと失敗したなぁと思ったのは，帝京を全部休んで，その３日間で，気いぬけた。自治医行っとくべきだった～。鹿山（慈恵進学）も受かってるし。私も受ければよかったなって。石井先生は第１志望の順天と慈恵を勧めてくれたのに落ちちゃった。まぁ日医来たから結果オーライなんですけど(笑)。高橋先生も私が順天順天って言ってたら，牧さん（17年順天進学）と喋ってる時に「おいでよ」って呼んでくれて話聞いたんですけど、牧さんって，浪人して、物理を生物に変えたんですよね。１年ですごいなぁって。私は今年１年苦手な数学と化学ばっかやって英語あんまり時間を割かなかった。順天って，何か１個めちゃくちゃできなきゃ受からないじゃないですか。牧さんは化学が跳びぬけてできたって。私も英語をさらに極めたうえで、苦手科目引き上げたらよかったかなと。。。多分今まで英語と数学の差がこ～んなだったのがこう，だんだんこう数学が追いついてきたけど、オールラウンダーに成り果てて，順天を受けるような人間じゃない感じに。。。で落ちた（笑）。そうなんかいろんな先生に…青葉先生にも、大丈夫？とか心配してくれて。なんかずっと，順天順天言ってたから青葉先生がライティング見てくれて。週に１回土日に書いて出して，すぐ見て返してくれてた。代官山に来るまではそんなライティング重視してなかったけど，今年は書いたなぁ。なんかどっかで先生が嬉しいコメント書いてくれて，それを受験中ずっと持ってました。順天おちてすごい心配されたけど，「日医きました。」って言ったら，めっちゃ喜んでくれて(笑)。なんか，気持ち落ちてんじゃないかと思われたらしくて，でもなんか，落ちてみたら，そんなに（笑）寮だし。なんか３つ（慈恵順天日医）のうちならいいかなぁと。

あれ出来てたら正規!!すごい悔しくて，終わってから「あぁぁぁぁあああぁ」みたいな。

慈恵はオール１００点配点なんで，ちょっときつかった。私数学が出来ないけど他の人たちは，数学が１番できる人たちが来るのでまぁこれはツンダなあと。そっかぁと思って，頑張ったんだけど，まぁしょうがないと思って帰ってきました。日医はわりと，なんか今までの日医の問題の中で一番できた感はあった。補欠の９番で，私さいご…どの大問か忘れちゃったんですけど…接線を出す問題があって。あれが途中で，時間切れで終わっちゃって。あれ出来てたら正規!!すごい悔しくて，終わってから「あぁぁぁぁあああぁ」みたいな。（笑）9番ってなってあっこれはあの1題だったんだと。受かったから結果オーライだけどもっと早くに楽になれてたかもしれない。

一瞬ふって気を抜いたら，私の携帯が鳴って，「日本医科大学です」

一番最初に(合格)きたのは、正規の聖マで2月14日。昼間、長谷川君が廊下で受かったぁって叫んでて(笑)。あぁ今日聖マなんだ、やだなぁって思いながら帰ったらママが正規だよって言うから「ふはぁあああぁ」って。
日医は3月の頭くらい。9番だからもう少し早く来ると思ってたんですけど。でもまぁまぁ。でもまぁそうなんだけど。私は石井先生から医学部の話たくさん聞いてたから安心しきってるけど，親は現状がよくわかんないから安心できなくて。だから代官山行ってきなさいとか言われて，気分上がらず何勉強したらいいのかもわかんないって平パン言ったら、日医の後期の過去問を５・６年分くらいもらって，ちまちま解いてたら，やっと来たぁ～。親と私の携帯持って家で待機してて。で、一瞬ふって気を抜いたら，私の携帯が鳴って，「日本医科大学です」とか言ってわあ～「お願いします。」みたいな。もう、もう、ぜひともって。うちのママニコニコだった、すごい気分上々だった。ママは、どこ受かったんですかって聞かれて，日本医科大学ですって楽しかったわよって（笑）。お父さんにも「よかったね」って。嬉しくて電話してきた。（笑）

一人の先生だけじゃなくてなるべくいろんな先生に聞こうと意識してた。

この一年浪人してて，気を付けていたのは、第一に先生の言う事を聞くこと。先生信者になるって。でもあんま先生信者になりすぎると，周りが見えなくなりそうだから，一人の先生だけじゃなくてなるべくいろんな先生に聞こうと意識してた。一人で考えても出来ないって駿台でわかったから，今年はちゃんと先生に頼ろうって。駿台は頭の良い子が勝手に受かっていくけど、私はそういう子じゃないから。高3の夏くらいに，なんか違う!まずくない？って思ったけど，そのまま。

そのまま走ったら，入試初日，あ，こりゃマズイやぁって確信して。あダメだこれっと思ったら，その後ずるずるずるって気分も落ちていって。で代官山に来ました。現役の時も同じ位、受けたけど、一次は1個も出てない。ふふふほんとに。親には言えなかったけど駿台ついていけてなかった。授業むずかしいというより解き方は覚えられるからいいし、そのテストされてもそれなりの点数は取れる。でも入試本番に出された時に，覚えたまんま出ないじゃないですか，どこの学校も。本質理解できてないからもうダメ（苦笑）

日医や慈恵順天とか受けたい人は石井先生の言う通り

直前になっても全科目やった方が良いよ。
英語は出来た。一番好きだし、できました。でも最後の方下がってるんです。それは，数学に時間かけすぎたから（笑）。数学は上がったけど，英語下がった。（笑）だからみんな，日医や慈恵順天とか受けたい人は石井先生の言う通り直前になっても全科目やった方が良いよ。って言いたいです。伝わりますかね？（笑）
今から英語マジでやろうとしてる人は，単語やった方が良いと思う。長文を見ながら覚えるのもいいけど，たぶん単語帳もやって先に覚えた方が良いと思う。私喋れないんですけど、でも何言ってるか分かってる。聞けば分かる。英語好きだから。
最初ね、理科は全然出来て無かった。点数があんまりよくない。化学を駿台で始めたのが高2で，高2はちゃんとやってくれるんです、全部の範囲をちゃんと最初から。でも高3は有機しかやらない。高3の前期が有機を「ばぁーーーっと」やって，後期はもうわけわかんないくらい難しい問題の演習をひたすらやって。毎週1

時間目テストで，あとの2時間で先生が解説する。解説も何言ってるかわかんなくて２時間。毎週のテスト100点満点なんですけど，なんか20点位しかとれなくて，「何この授業」って思いながらとりあえず出てて，ママに怒られそうだから出てた（苦笑）

なんか辛いとか，ちょっととりあえず感情とか忘れて生きようと思って。

1年間辛いとか楽しいとかも，なんも考えてなかった。なんか辛いとか，ちょっととりあえず感情とか忘れて生きようと思って。あんまり，朝が辛いとか勉強が辛いとかなんとか，考えたらおしまいだって思ってた。だからロボットみたいに，朝起きて，で何も考えずに，目の前に置かれた朝ごはん食べて，で代官山来て，で必死に起きながら勉強して。あ〜でも，朝の勉強1番辛いかもしれない。6時くらいについて，前で待って，で，ゆりあ（東邦大学進学：近藤ゆりあ）とか飯田（昭和大学進学：飯田すず）とめっちゃ眠いなぁって、思いながら中入って。まずは、とりあえず計算で自分を起こした。まず計算からしてましたね。朝の積分やって。薄先生の夏？単科の22問くらい計算問題のセットがあって，それを7周くらいした。薄先生は「これだけをずっとやってけ」ってタイプで、平パンは割と新しい問題をくれるほう。薄先生は同じのをぐるぐるやれっていう。あ違うんだなっと。それぞれの先生の言うことをちゃんと聞いてやってましたよ！朝に長文を読むと眠くなるから、英語は８：３０くらいから。起きれたくらいから始める。それまでは，とにかく薄先生の積分で眼を覚ます。
自習室では，寝ないって固く心に決めてて。もう首が落ちたら終わりだって。ずっとこのままこうして起きて。ほんとに。姿勢悪くすると眠くなるからずっとこのまま（姿勢よくして）。寝てるの見られるのが嫌。この人寝てるんだって見られるのが,ほんとに嫌だから，絶対寝ないわって思って。（笑）
それでも1回お母さんが出張行っちゃってて，なんか朝ごはんとか全部自分でやらなきゃいけない時，父さんは朝早い時起こすの申し訳ないから，静かに一人で朝ごはんを食べて来てた時期1回朝に落ちた。ペンを落として落ちた瞬間に，は！って起きた。1分位落ちたかもしれない（笑）その後立って，下まで降りて，上まで上がってもう一回階段上がり下がりして強制的に起きました。

「ここ座った方が良いですよ、たくさん当たる席ですよ」

石井先生は，入ってきた瞬間に空気がピッと締まるから，凄いなぁと思って。なんか威厳があります。もう1番前で頑張って受けてたんですけど，R教室一番前の一番先生に近い所で受けてて，石井先生は当てる人に困ると私当てるんです。「じゃぁ大竹さん」って「きたぁ」みたいな。でも最初は，4月5月辺りは，3列目あたりに座ってて，で，座談会？があって座談会の時にちょうど、ある席が空いてて，慈恵に行った小川胡桃さんが，「ここ座った方が良いですよ、たくさん当たる席ですよ」みたいなことを言ったら，それから，誰も座らないから私座ったら，ずっと私の定位置になっちゃった。ふふふ（笑）。それに石井先生のテキストはまだ取ってある。お守り。医学部の問題しか載ってないから，何したらいいか分かんなくなったときに読んでた、必ず。和訳とか英訳とか間違いさがしとか色んなの載ってるんで。受験会場とかに持って行くのにも、ちょうどいい。石井先生の持って行けばOKみたいな。
4月に，典先生の授業を受けて，「これやばっ」って焦ってマンツーの申込んで，そしたら平パン。それから直前期までずうっと取ってました。1学期夏，2学期，冬，なんか馴染む。雰囲気が好き。で，いつの間にか，薄先生が恐くなっていった。ふふふでもなんで怖がられるのかわかんないって薄先生も言ってた。で過去問解くグループが近藤ゆりあと飯田と沖田に，見崎と私が加わって，あ伊藤さんもいた。それぞれ好きな先生は違って。見崎は啓寿先生、あとは薄信者で，ふふふ私は平パン。それぞれ信仰が違う者同士仲良くやってた。
化学はテキストだけをしっかり。テキストの予習復習で，出来ないとこ，ほんとにやばいなって思ったら，セミナー戻ったり，三上先生にプリントもらったりしてたけど，めちゃくちゃヤバいなって思う事そんなになかった。河合で偏差７０取った。軽部さん（東邦大学進学：軽部遥希）に勝ったぁってうれしかった。ふふふ「やったぁ」って。1回マンスリーでも９０…96点かなんかで，1個ミスって。「あらぁ」っと思って。100点取っとけばよかったと思って。なんか，時間なくて，あぁもうだめだわかんないってやつだけ，間違ってた。あとは全部あってた。
なんか生物が，生物思ったより取れなかったけど、でも毎回おがT（緒方先生）がすごく励ましてくれてて。「もっと行けるでしょ」「もっといけるでしょ」っとか言って，「次９０点でしょ」とか言って「えー」みたいな「何言ってんのこの人」。で，毎回７０点位のテスト持って行くっていう。「すいません」って言いながら(笑)。総合で２８９点だった時，生物がマークでみんな９０点とか取ってて。でそんとき私８０？とかで，本気でヤバいなって，何やってんだろう私って。総合点ではそんなに悪くなかったけど１回そこで本気で生物焦ってやり始めましたね。それまで生物そこまでやって無くて。でなんか，夏の予定表を石井先生がこう拡大コピーして，時間割作れって言うから，やってったんですよ。で科目で色分けとかして，そしたら，すごい青くて。数学ばっかで，生物の色が全然なくて，こりゃだめだわぁと思って，ちょっと均等にしようって思って、４色が均等になるように，がんばって。多分それが分岐点。たぶんそこのマークで取れてたら，総合１位とれたかなっと今泉さん（昭和進学）と富永さん（愛知医科進学）とか超えられてたかなみたいな。

書かないと覚えないから，なんかそういうノート1冊作ると，便利かもしれない。

みんな言うと思うけど，緒方先生の教え方が結構好きだった。なんか全部書くんじゃなくて，いることころ，本当にいるところだけ，ホワイトボードに書いて，ほんとちっちゃいポストイットに書いて，なんかプリントに貼っとけば，もう1個ノートができるくらいの感じだった，それがすごいなんか好きで，全部が全部書く人がなんか好きじゃなくて，そう，そういうところが好きだった。教え方まとめ方が好き。なんかプリント，授業プリント2枚くらい貰って，で，それを，見ながら説明先生が喋ってるの聞いて，必要なところメモして，で，ほんとに書いて先生が説明したい所は、書くから，それをまぁノートはじっこの所に書いといて，あとからもう一回，ポストイットに書いといて，貼って，で，もう一個ノートに。で入試ん時は，そのテスト？あのなんだっけ，マンスリーか。マンスリーとか，小テストとかでできなかったとこをちっちゃいノートに書いて，でその出来なかったとこのノートを持って行ったんですね。たぶんそのプリント全部持って行っても見れないから，意味ないなぁと思って，
そう，多分同じこと5回くらい書いてるけど，でもそんくらい，書かないと覚えないから，なんかそういうノート1冊作ると，便利かもしれない。
多分それを始めたのが，なる終わりくらいだから，4月からやっとくと，もっとなんか，思い入れの深いものが出来るかもしれない（笑）

とりあえず，数学やろうみたいな。前期は数学やろう！前期夏は数学で！平パンで！

とりあえず，数学やろうみたいな。前期は数学やろう！前期夏は数学で！平パンで！
そうだ。平パンにそれまで英語そんなやるなって命令が出てて。秋くらいにそれが解除されて，そろそろ英語やってもいいよって言われて，で，やったけど，そんなあがんないっていうか、下がって，なんか，「あれぇ」みたいな。
数学は最後全部６０超えられたけど、なんか，70点くらい取った時，なって。それも長澤先生に見せたら，「大竹りおが70点？」とか言われて，「なんなんですかその驚きは」って（笑）すごいびっくりされるくらい伸びた。なんか，どの科目も，ランキングのそんな上の方には居ないのに，全部とりあえず，同じ位とってるから，総合で順位跳ね上がるみたいな、私はそういうタイプ。ランキング外に落ちたことはないんです。最初の頃は数学だけ載ってないと思う。けど途中から，英語も何かでも悪かった時があるけど載らなかったことはない。一番最高2位で，あとは，なんか10と

か20番台とかそんくらいをうろうろしてて。

勉強するところなのになんで友だち作るんだろうって，思って。

鹿山（東京慈恵会医科大学進学：鹿山竜輔）いたから、英語。隣でうーって勉強してんの。おかしい(笑)。でもおもしろいのが，なに言ってんのかわかんないけど，自分のブースのとこにみんな付箋とかいっぱい貼るじゃないですか，そこに，「しゃべりすぎない」って書いてあって（笑）。「思ってるんだぁ。」って思って。笑いそうになったし，他の人がこう、周りが結構しゃべってる子もいたから，自分負けないようにと思って多分貼ってるんだけど，ほんとにあ〜ちゃんと思ってるんだなぁって思って，「へー」って思って。自習室静かだし，まぁ快適，快適でした。でもなんか12月くらいに1回ほんとに自習室に座ってるのが嫌になって。緊張の糸が切れた，なんか「ぷつ」って，で平パンの所に泣きついたら，「もうお前1回帰れ」って言われて，6時くらいに，すごい罪悪感に積まれながら。でその次の日，ちょっとすっきりして，自習室で勉強できた。その1日で立ち直れてよかったなって思った。平パンに帰れって言って貰えて。
勉強するところなのになんで友だち作るんだろうって，思って。代官山来たら，雙葉の子がいて，向こうも真面目だから，そんなしゃべんない。わざわざ外に出てしゃべるような子でもないし，まぁ会ったら３分くらいしゃべるくらい。で，そんなもん、でも，あの過去問のグループとかも割とべたべたしないし。クラスが一緒じゃないから。そもそも友達作ろうと思ってない。友達作るところじゃないから。

毎回毎回マンスリーごとに１回ごとにファイル作っといて，そこに全部バン

そう，マンスリーは緊張してて，英語が最初ですごいうれしかったんですよ。私は英語で加速しなきゃいけないから。数学を最初にされると，確実に心が折れるんで(笑)。英語で気分のせて，乗せていって数学で落ちて，理科上がる。みたいな感じで。なんか、いつからだろう，割と最初の方から自分の今回のマンスリーで気を付けることみたいなのを小さい紙に科目ごとに書いて。で，なんか目標の大体このくらい取りたいなぁみたいな点数。ちょっと高め位に設定しといて，で終わってから，家？その日マンスリーの日は自習室から行かないでそのまま帰ってたんですけど，毎回終わり次第帰って家帰って，自己採して，でその，書いたことができたかできなかったかみたいなのを，○とか△とか×と×とかで書いて，で，大体の，その点数書いて今回これだけ出来なかったんだなぁって思って次に生かすことをずっとやってた。
分析を書かないと忘れるから，やってた。書いてたずっと。残しておく。ずっと書いて。毎回毎回マンスリーごとに１回ごとにファイル作っといて，そこに全部バンっていれてたかな。
ウィークリーも英語は，とりあえず２５を目指していて毎回。時々２４・２２とかなる。時々，変なミスおかしたりもして…。数学は分野によって。だからとりあえず，返ってきたら，もう１回見直しをしてたけど，その問題を永遠にやる続けるっていうか，出来なかったやつをテキストに戻ってやるって。これが結構伸びる秘訣だと思いますよ。テキストも（復習の回数を書ける）マスってあれ５こマスありましたよね。だからプラス１して６周やりました。数学苦手だったから６周くらい。
１学期の夏のやつをずっとやって。まぁ簡単な所はさすがにやってないけど。できないところはほんとに，何回も何回もやって。覚えちゃったから平パンに似たような問題もらって。で，テキストに貼って，やってました。
復習がまわらないって時もたまにあったけど、けっこうあれ…うん結構忙しかった。ぎりぎり，だった。余計なことしないで，テキストだけに集中して。
日曜日とか，ＲＤとか使って。あと朝はテキストあんまりやらなくて，半分寝ててもできる事やった。単純計算。半分寝てるなかでも計算できるかっていうのをやってた。

代官山は最初から，基礎からちゃんと基礎を徹底的にやってくれるのが，嬉しかった。

代官山と駿台って全然違う。代官山は最初から，基礎からちゃんと基礎を徹底的にやってくれるのが，嬉しかった。
駿台はもう発展問題しかテキストに入ってないから，それを永遠にやるしかないし。でも，自分は基礎をどこでやれば良いのか分かんないから，とりあえず答え覚えて，でなんか入試解けなくて，みたいな感じだったから，基礎からやってくれるのは，うれしかった。数学とか特に。

もし代官山に来てなかったら、多分受かってても下の方。

この合格への軌跡も受験中読んでモチベーションにしてました。日医の人とか。上の方の人特に。菅波さんとか若林さんとかどんな勉強してたんだろうなぁって。問題解きあったり協力してやってたんだなって。だから過去問のグループとか割とすぐできたし。参考にしてました。
マキさんの軌跡読んで、朝早くから来てたっていうの読んで私も朝早く来るようにしたんです。まぁ，ゆりあとか飯田とかが早く来てるから，私も早く来ないとダメなのかなぁと思って，で。最初は多分何時だろ？７時過ぎとかだったんですけど。来るのが。いやなんかでもみんなが，早く来てるから，じゃぁもっと早くしようって。ゆりあは車で，もう２号館前につけて「ぶーー」って来て「おはよう」ってお母さん？どっちかわかんないけど。颯爽と現れる。「あっゆりあだって」（笑）
もし代官山に来てなかったら、多分受かってても下の方。あんまちょっとなんか満足できないなぁみたいなところにしか受かんないと思う。聖マとか（笑）。なんか日医で，「あっとりあえず面子保てたかな」って思ってる。
なんか自習室をくれて，朝から，夜まで，ずっと勉強できる環境が整ってるところとか自分に向いてたと思う。ま，自習室入っちゃえば，勉強できるから，外出てるとまぁいろいろあるけど，入っちゃえば，自分の席があるから，もう座ったらスイッチ入るんで，あと先生もいつもいるし，質問しやすいし，駿台ってなんか奥まったところに講師室があってなんかすごい入りづらいんですよ。「えっこれって入っていいの？」って感じの所にあるから，質問行きたくても行きづらいし。対して代官山はなんか席も、先生たちも，すごいオープンだから，「あっ先生」って質問出来るから，うれしい。
授業中は質問とかしなかったけど。しゃべんないからわたし。ふふふ（笑）去年は，ちょっと自分殺して，すべてを絶って１年を過ごしてたから。

最後に後輩に向けて

朝は，もう開く前に来て朝から勉強して，友達とはしゃべらないで。ふふふ自習室にこもる。で、先生のことは聞く。無駄に反抗しない。もちろん私反抗なんてしてないけどしてたら，ずるずるっと落ちていくと思うから。で自習室で寝ない。絶対に寝ない。死んでも寝ない覚悟をって言う固い。固く心に決めて，１年頑張るとどうにかなる。
あと全科目勉強して下さい。偏らずに。もともと全部同じ位の人は一気にこう上げて行った方がいいとこ受かるから。１個だけやると私みたいになる。。。あのぐらい時間かけないと私は数学伸びなかったから，まぁ結果オーライ。あとマンツーは平パンと緒方先生と三上先生、あと長澤先生。マンツーは取った方が良いです。苦手な科目は取った方が良い。数学苦手なら絶対取った方が，自分に合った勉強の仕方を教えてくれるからいい。平パン良いですよ。
平パンはいいよってことを推していきたい。
平パン推しです。
ありがとうございました。

卒業生が語る

合格への軌跡 2020年

WAY TO SUCCESS

日本医科大	前期2次合格
大阪医科大	正規合格
藤田医科大	2次正規合格
金沢医科大	前期2次合格

前にいた予備校と違って、代官山は相当ハード(笑)。

日本医科大進学　百瀬 慧さん(松本深志高校卒)

1次は9校合格。3月30日、第1志望の日医が繰り上がり。

えっと、1次合格が、岩手医大、愛知医大と藤田、北里、東邦。昭和は受けずで関西1次落ちして、カブリとかで聖マ、東医も受けられなくて、エヘヘヘ。で、日医前期通って、あと東海と…金沢。日大は気が抜けちゃって1次落ちちゃってて、大阪医大は受かった。全部で9個だった気がする。愛知、岩手、藤田、北里、東邦、日医、東海、金沢、大阪医大の9個ですね。

で、そのうち2次が来たのは日医と大阪と藤田と金沢です。藤田は正規合格。金沢は補欠回ってきました、79かな。大阪は特待ではなかったんですけど正規合格。日医が、ひゃっ…152番。本当来ると思わなかったです。3月30日に来ました。アハハハ。もうそのころ大阪に引っ越してましたからね(笑)。代官山出るとき「大阪、行きます」って言ってましたよね(笑)。でも、よかったです、日医、第1志望でしたから。

前にいた予備校と違って、代官山は相当ハード(笑)。

えっと、その前の年までは、この横の、えっと、レで始まる…、そう横にいたんです。

去年１年間、レで始まる予備校にいて、今年４月始まったときは、あのー、メではじまる予備校に行ってたんですよ、あっちの。ちょっといたんですけど、なんかすっごい緩くて、あ、そっちが。本当にもうこれじゃ…。授業終わったら普通に5時くらいにはみんな帰ってて。で、しかも朝は8時半に開くんですよ、そこって。だから全然勉強できないなって思って。その～去年までも結構、自分では勉強してたつもりだったんですけど、まだ色々足りてないなっていうのがあったので、もっと勉強できる環境に行きたいって思って、やっと、代官山にきました。やっぱりちょっと、あっちの先生方に会うのが嫌で、中々来れなかった。近いから会っちゃうじゃないですか、うろうろしてるから。ちょっと離れたほうがいいかなって、Mんとこ行ってみたんですけど、本当に抵抗あって。何回か授業受けたんですけど、もう、な、よく分かんないんですよね。うーん。分かりにくかった。うーん。これではやっていけないなって本当に自分でも落ち込んじゃって。だからここに来て、石井先生とお話ししたのは4月の20日くらいでした。

最初、入ってM5。で、最終的にM2でした。他の予備校と違って結構ハードで、相当ハード、すごい大変でした。なんか最初はもう慣れるのに精いっぱいでした。ウフフ。結構、大変でしたね。もう、ほんとそれこそ本当に早朝、朝一番で来て勉強しないと全然、間に合わなかったです。結構、頑張って早く来てました。2号館へ行ったときも7時には来ようっていうふうに決めて。でもやっぱ、夏ぐらいになってくると、だらけてきちゃって。で、やばいなと思って、ここは、と石井先生に相談して、そしたら友達と一緒に過去問やるなり勉強するなりして、約束しあって一緒に来ればいいんじゃない？みたいな言われて、それで朝前原さん（埼玉医科進学）と約束して一緒に勉強して。フフ。前原さん、めっちゃ朝早いんで。彼女本当に真面目だから、もう彼女に付いてこうって思って。フフフ。年齢はたしかあの子が1個下です。全然…、もう向こうの方がしっかりしてて(笑)。

先生が君はここ弱いよねってわかってくれてる。だから先生が君はこれをやれと。

なんとか復習とか勉強が回り始めたのは、ペースつかめてきたなって思ったのは、だんだん…6月とか。そのくらい…、1ヵ月強かかりましたね。今までと全然違ったから。授業数も全然あるし課題も出るし、今までと全然…、めっちゃやること多かったです。最初に個別時間割を見たとき、えーこれ、勉強回るのかなって思った、本当に。

自分でやりたいことがあってもできるのかなと思ってたんですけど、でも、自分でやりたいことっていうよりは、先生がもう君はここが弱いからこれやれみたいな。そういうのがすごい的確で。そういうので勉強方法が変わりました。自分だと偏るし、点数の伸び悩みの原因ってやっぱ先生達はプロだし。授業が多いとダメ出ししてもらえるし、そのほうが客観的になれるし、うん。没頭できるものがあるって有り難いんですよね。

自分で見つけるよりか、なんかもう先生が、おまえはここが弱い、ここも弱いよねみたいなふうに分かってくれるんですよ。例えば薄先生の授業だったら、私積分計算すごい遅くて。で、積分できないならこれやれ、これやればいいよって。もうそれを毎朝時間決めて、20分とか30分とか時間決めて、で一気にがーって解くの。自分でもう一回やったりとかもして。ルーティンでやってました。全然、飽きなかったです、もうそれ言われたときから、もう受験の日もずっとやってました。

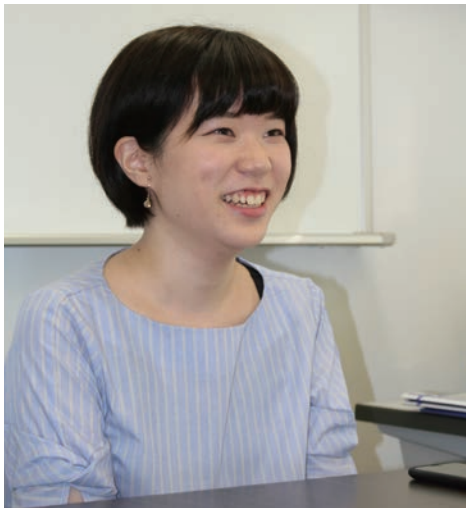
良平先生はずわーって端から端まで語彙を書いて、知識が溢れ出てるっていう授業。

田中良平先生のマンツー取ってました。良平先生の授業ってすごい淡々としてるんですけど、なんかホワイトボードの端から端までずわーって、語彙を書いたりとかして、知識がものすごいんですよ、もう溢れ出てるっていう(笑)。ノートに取って覚えて、また覚えてっていう風にしていったんですけど、うん、大変でした。私が一番英語の中で足りてないなって感じてたのが語彙力だったんです。語彙が足りてないから単語帳やらなきゃだけど、１つ１つは関連ないじゃないですか。その関連できないっていうのを覚えるって私、すごい嫌いで。でも田中先生の教え方ってそのー、意味的なつながりとか、語形成のつながりとか、あと何だ、発音…、発音のつながりとかそういうのをまとめて、ブドウの房状にして覚えるんですよ。そうあれすごく…、ああやって関連付けてもらえることで、自然と覚えられるっていう。これ系のブドウっていう風に。ま、なんかそれをマンツーでも教えられて、で、それでさらに自分でももう一回、書き直

してっていう作業をして。それは遠回りだと思うんですけど、その作業によってちゃんとインプットができたっていう感じです。だから偏差値が69まで伸びて、もう途中からすごい安定して。あ、成果が出たかなって途中思いました。

あと、栗原先生。栗原先生はまた、良平先生とは対照的で(笑)。対照的っていうわけでもないか、なんか読解の面ですごいなって思ってました。ウフフフ。読解の仕方が深い。ただ読むだけじゃなくて、何ていうの、ディスコースマーカーっていうんですか。ここでこの言葉が来たら、次はこの展開だっていう形式っていうか、その流れを…。その文章の流れを教えてくれたっていうか。ここでこの言葉が来たら次はこうだみたいな予測をしながら読み進めていく。副詞まとめみたいなのがあって、なんかリサーチの、この副詞が来たら次は、こういう展開になるよみたいなのが決まってて、それをまとめて話してくださるんです。なんか栗原先生の授業、眠いって言う人がいたんですけど、全然私分かんないです。本当に楽しくて、栗原先生ウフフフフ。私はいや眠いってちょっとあり得ないなって思ってた。英語はまあ好きだったんですけど、先生達のおかげでなんかさらに目覚めた感がありました。

うん。あ、あと、石井先生の授業はなんか原点に戻ったっていう感じがしました。写経しなさいっていうじゃないですか。写経って私1浪目のときしかしてなくて、1浪目の本当に最初のころにちょこっとしかやったことなかったんですよ。でもあらためてやってみると写経がすごい、やっぱりやって、あ、なんか英語楽しくなってきたなって、フフ。一回内容を完全につかんだものじゃないと意味がないんですよね、うん。だんだん楽しくなってきますよ、あれ、やってると。石井先生の授業終わった後にわーってやってました。



既に解き方を知っている問題でも大事なポイントを教えてくれたり、違う観点から見た解き方を教えてくれたり視野が広がった。

数学はさっき言ってた通り薄先生の授業がすごいよくて…。もうなんか今まで受けた数学の先生の中で一番、なんか熱い授業でした。２学期の授業で最初に時間を決めて皆でぶわーって解いてくんですね。で、その後に先生が解説するんです。で、そのとき解説するときがなんか、もうまるで扉、開くみたいな(笑)。フフフ。扉が。いや、なんか分からないことが分かるっていう、こう開く。開かずの扉が、ひら…開かれたぁみたいな感じ。終わった後はもうすっきりしてるっていう、はい。先生っていつも授業のときにポイントを、別の色のペンで書けって言うんです。口頭で言ったポイントとかもあるんですけど、そういうのも全部マーカーの色変えて全部メモるんです。もう、それが分かってたり既にもう解き方を知ってる問題でも、あっこんなポイントあったんだっていうのがすごいあって。もう感動(笑)。

他には典さん。典さんは、解き方をたくさん教えてくれるんですよ。既に、やっぱり知ってる問題とかあるじゃないですか。この解き方知ってるよっていうの、あっても、これをベクトルの観点から見るとこうだよ、とか。別の観点から見るとみたいな、そういう解き方をたくさん教えてくれて、すごく視野が広がりました、それで。薄先生と真逆ですよね。薄先生は一つの解き方でやるっていう風に決めてらっしゃるので。でもそれをさらに応用させたい、応用できたなって思うのは、やっぱ典さんの授業でした。こう、１つのやり方にこだわるんじゃなくて、いろんなやり方の中から自分でいいのを。そう、そのやり方の中から自分の形にしていけました。うん、数学はやっぱ楽しかったですね。でも、なんか上下変動がすごくて、偏差値が低いときは確率で殺されてた。死んでました。取れてるときはものすごい取れて偏差値75.6。でも数学はなんか強者がたくさんいた(笑)。M1とかM2やばかったですよね、本当に。こんなできる人いるんだって代官山きて初めて思った。もう絶対敵わない的な？なんかみんな凄かったですよね。あと長澤先生が面白かったです。単純に面白かった、フフフ。それは、その数学的に楽しかったも、あるし、もう純粋に先生が、フフ、その授業楽しかったです。

一番苦手意識が強かった化学を変えてくれたのは、三上先生。

三上先生は、最初に私が代官山に来て一番、最初に受けた授業が三上先生の化学で。あ、なんかスゴイ、凄い先生来たと思って。うん、なんか熱い先生だって思いました。今までいた予備校にはいない感じの。なんか悪口になっちゃうかもですけど、うーん、全然、分かんなくて化学。私一番化学苦手なんですけど。いや苦手意識が一番強かったのが化学かな。でも三上先生って面倒見いいじゃないですか。やっぱり分かんないことあったらすぐに聞きに行ってもすごい丁寧に教えてくれるんですよ。これはこうだからこうだよって。でも今までって計算の仕方とか教えてくれなかったんです。公式あてはめてみたいな…。でも、やっぱりそれじゃ伸びないじゃないですか。その～道筋が分からないと。三上先生の持ってる授業は理論で、一番苦手だったんですけど、でもこの式はこうやって解く、解いていけば絶対うまくいくって、実際の問題でスラスラ解くとこまでちゃんと教えてくださったのは三上先生でした。うん。それまでが本当にひどいですよね。フフフフ。

単に覚えさせるんじゃなくて、さらに分岐させて考察させる授業

生物は深瀧先生、通称FT。一番好きな授業がFTの授業。マンツーでも集団でも断然、楽しかったです。楽しいとやっぱ記憶に残りますね。FTは考察の力をすっごい上げてくれた。なんか…考察苦手でした。考察苦手だからそもそも受からない。日医はガチ考察じゃないですか。結構日医ってあの試験で9割とかそれ以上とか取らないといけないじゃないですか。過去問やっても7割しか取れないっていう…うん、やっぱ知識は埋められてもそれ以上がないなっていう、国語力がなかったんですかね？ワードは入ってるんですよ、ある程度。それ以上の…、考察、そのプラスアルファがなかったなっていう。でも深瀧先生は、普通に単に覚えるだけで済ますんじゃなくて、そこからさらに分岐させて、なんでこうなるのかっていうのを考察させるんですよ。そう、あれがすごい効いてて、効きましたねぇ。今までだったら軽く覚えて流しちゃってたところを、なんでここはこうなるの？って考えさせる。でその答えについても、また全然違う分野から、実はここととつながってるんだよっていう。あっすごいなぁって思ってました。

怠け者の私にとっては、代官山が自分に一番合ってた。

えっとー、私自身結構怠け者なんです。あの、根がすごい怠け者なんですけど、ここはみんな周りの意識がすっごい高くて。すごい朝早い人いるじゃないですか。例えば大竹さん（日医進学）。彼女すっごい、もう朝6時からいて。私、本当に全然、そんとき起きれなくて、早くて7時みたいな感じだったんですけど、うーん、そういう人もいるから、自分も意識がどんどん上がっていったっていうか。もう合わしていかないとまずいっていうか、合わしていけたっていうのはそのすごい刺激のおかげだと思います。

それにやっぱ授業数が多いっていうのはすごい良かったです。うん、どんどん知識が入ってくる感じ。なんか授業多いと色々できないな、自分の勉強できないなって最初は思ってたんですけど、授業数多いからどんどんそのときにインプットしろっていうふうになってて。その流れがつかめてきてから、この方法凄いいいなと思いました。授業中にインプットしちゃうっていう、そう。授業中にどんどんインプットしていける、いけるんですよ、授業の質が高いし。そうすると、復習する時間がそんなになくても回っていくっていうか。やっぱ復習も大事ですけど、その授業の濃さ、時間の濃さっていうか、濃度が高かったから、その時点ですぐ頭にin、記憶に残りやすいんですよ、がっつりと。なんか授業をただただ受けるとか、全然記憶に残らない授業とか今までの予備校はあったけど、そういう感じじゃなくて。先生達どの先生も授業で当ててくるし、私達も前で英作書いたり、数学の解法発表し合ったり、もう一つ一つの授業の濃度が高かったから、その場でインプットできちゃう、できてよかったですね。なんか結構、インパクト、強い先生、多かったんですよ、本当に。どの教科についても。龍先生もそうだし、オガティー(緒方先生)もFTも。なんかそう言ったらみんなんなっちゃうんですけど、本当に。

去年とか一昨年とかと比べて、なんか精神的にすごい成長したなと思う

うん、精神的にやっぱ、つよく、メンタル強くなりましたね、すごい。全体的に成長した、うん、石井先生の授業もそうだし、どんどん、うん、精神的な強さっていうか。石井先生の授業出ると、精神的に強くなりますよ、いっぱい当てられるし、私、いつも一番前の一番端っこに座るの、窓側。一番前の位置を。やっぱ目に入りやすいかなって。なんか自分から、当てられにいってました。精神力極めないと、強めないといけないなっていうの、今年の課題だったんで。石井先生はいつも私達の事すごくみてくださってるなって、感じてました。だからメンタルがすごいやられてるときとかも、先生に話しに行けば結構…。精神的に成長すると成績も安定してきた。うん、数学もそうだし、もう全教科そうなんですけど、その一試験によって上がり下がりがあるみたいな、知識にむらがあるとかそういうのが少なくなりました。例えば、数学の計算力ってもうすごく左右されるじゃないですか。そういうプレッシャーとか迷い的なので計算ミスして去年まで結構落としてたんですよ。でも計算力もついてきて、安定感も増したなっていうのはありました。

やっぱり精神的にも、なんか前だったらもう、精神崩壊してたんですよね、試験前に。うん。精神崩壊してて、試験のときも涙目になってて。今年は、そういうことがなくなって、いける、いけるいけるみたいなふうな心持ちができるようになって。

代官山じゃなかったら、そういう自分に成長してなかったと思うし、もしかしたら受かってなかったかも…。先生達や周りからの刺激でこんなにたくさん受かるまでに成長できて…。ほんとありがとうございました。

卒業生が語る

合格への軌跡 2020年

WAY TO SUCCESS

杏林大医学部	2次合格
獨協医科大	2次合格
埼玉医科大	後期2次合格

いやー、なんか、ここでこんなにやって受かんないんだったら受かんないと思う。フフ。ていうぐらい、代官山で普通にやってたら、それぐらいの量やるんで、受かると思います。

杏林大医学部進学　大西杏佳 さん(加藤学園暁秀高校卒)

杏林は代官山の先輩も多くて、OBの繋がりで色々教えてもらえてありがたい。

部活はなんか、代官山の先輩たちはバドが多くて…。ウフ。さくらさん（豊島さくら）とか桃子さん（岸川妹）とかみんなバドなんで。結構いますよ。杏林だいぶ代官山多いんで。結構代官山の先輩たちの繋がりで、いろいろ教えてもらえてすごいありがたいです。詠美さん（村山詠美）、岸川くん（岸川兄）とか…。で、そうだ、1次ですね、1次の合格校が7校で、最終合格は、杏林と獨協と埼玉後期の３つ。獨協受かったとき、16番だったから来る…とは思ってたんですけど、周りのみんなが、もうどんどん合格が出てるのに、私1週目どこも受かってなかったんで、女子医まで。それでうわあヤバいって思ってたんで、もうめちゃめちゃうれしかったです。いやもう獨協超うれしいって思いました。お父さん、お母さんもめちゃくちゃ喜んでくれましたし、あ、医学部、行けるんだ、みたいな。

こんなに勉強したのは人生で初めてです。

初めてこんなに勉強しました。こんなに勉強したのは、人生で初めてです。いや、本当に、時間で考えたら、まあ、能率もそうですけど、いや絶対に、人生で一番勉強しました。

夏に、ちょっと体調を崩して、私、1回目と2回目のマンスリーは良かったんですけど、3回目ですごい落ちて、ランキングも載らなかったことがあって。だからそんときに、朝めっちゃ早くして、7時ちょい前とか、7時には来てた時期があったんですけど、ちゃんと寝てないと私駄目だったみたいで、それ続けてたら、体調崩して、夏期講習中に1回、もう朝、動けなくて、頭痛くて、行けないみたいなときがあったんですよ。そのときが一番つらかったです。もう、成績も悪くて焦ってるのに、代官山に行けないっていうときが一番、つらかったです。片頭痛がひどくて、そのとき。もうみんなに置いてかれちゃう、どうしよう、みたいなお話を緒方先生にしたら、「もう今の時点で、ちゃんとみんなよりやることは、ちゃんとやってきてるわけだから、今やらなきゃいけない、最低限やらなきゃいけないことをピックアップして、それだけできたら、焦らないで。普通にやってれば大丈夫だから」って言われて、まあちょっと朝の時間を遅くして、ちゃんと寝るようにしたら、秋はだいぶ良くなって、全然、普通に授業受けれました。そうですね。なんか、やっぱ、焦りと睡眠不足と、そんときにクラス落ちたじゃないですか。それが結構しんどかったんだと思います。でも緒方先生に相談して言って貰えてほんとよかったです。

代官山に来てからは、自分の悪いところを指摘してもらえて、変なプライドがなくなって、やらなきゃ、みたいな気持ちが強くなった

1浪のときはY学院の本校に行ってました。なんか、先生が見てくれる生徒の数が少ないっていう…、1人当たりの。でも先生から自分がどれだけできてないのかが見えてないんですよ、だから私はできてると思われてて、自分もそう思われたくて、できない所をさらけ出せない。そういう感じで成長しなかったんですけど、代官山に来てからは、解いてる過程とかも、先生が見て回ってくれるから、あ、こういうところできてないよ、とか、こうしなきゃ駄目だよっていうのを、直で言ってもらえる。自分の、その悪いところを指摘してもらえるっていうのが一番大きくて。で、なんか、プライドとかがなくなって、あっ、やらなきゃ、みたいな気持ちが強くなっていって、それが最終的には、すごく良かったかなって思ってます。去年は、表面だけ優等生みたいな感じ。そうなんか、しかも、あんまり医学部がいなくて周りの友達に。医学部クラスはちょっと上のクラスで、なんか、できてる人、みたいな感じの、その雰囲気だけあって、もうそれじゃあ私駄目ですよね。

平野先生も、ここはできなきゃ駄目だよ、ここからはできなくてもいいよ、ここまでは知識で解くんだよっていうのを言ってくれて。

数学が、多分、一番伸びたんですよ、代官山来て。で特に数学が、その過程とか見てくれるじゃないですか、先生たちが。それが、すごく良かったなって思ってます。数学はもう、ほんっとに、もう、どの先生も、めちゃめちゃ良くて。私、典先生本当に好きで、なんかこれまで、1浪のときまでは、一つの問題に対して答えを、もう覚えてたんですよ、暗記というか。まあ、だけど2浪目でそれだけじゃ対応できないんだなっていうのに気付いて。典先生はいっぱい解法出してく

れて、私のクラス8人だったんで、順番に当てられて、じゃあ、どうやって解いてきた？っていうのをやったんですよ。それで、あっ、こんな考え方もできるんだ、みたいなのをそこで知って、それがめちゃめちゃ楽しくて。で、テキストの問題を全部、なんか、自分の資料集みたいな感じで、バインダー2冊分ぐらい解きなおして、資料集にしちゃって。その典先生のところが一番厚いんですけど、それを何度も見返してやってましたね。それが、すごい、後期になっても、めちゃくちゃ使えて、あのバインダー捨てれなくて、ずっとまだ取っといてあります。フフ。

レビュー含めて授業の問題は全部、解きなおしました。全部、解きなおして、大事なところと、なんでこういう考え方をしたのか、とか、どうしてこういうのが見つかるのかっていうのを、青ペンで星印付けて、マーカーで囲ったりっていうのを、1集から6集まで全部やって、1学期のテキストと、このバインダー2冊っていうのが、もう数学の定番にして、そこだけは全部できるようにしようって思ってやってました。もう、めちゃめちゃそこから出たんで、いや、本当。あと、えっと薄先生は、すごい授業の復習をちゃんとしなさいって言われるので、復習で一番時間をかけたのは薄先生の４集です。４集の確率がすっごい苦手だったんで、薄先生に、みんなとプリントもらって、解いて昼休みにすぐ提出、みたいのを毎日してました。確率は、なんか、いっぱい解かないとできるようになんなかったんで。平野先生も、ここまではできなきゃ駄目だよ、とか、ここからはできなくてもいいよ、とか、ここまでは知識で解くんだよっていうのを言ってくれるんですよ、すごい。それがありがたくて、多分、数学できる果帆ちゃん（村林果帆：女子医進学）とか倭子ちゃん（石川倭子：杏林大進学）とかって、その場でやり方がいろいろ出てくると思うんですけど、私は、全然そうじゃないので、あ、ここまでは知ってなきゃいけないことなんだな、とかっていう、最低限のラインを平野先生が教えてくれるから、あ、じゃあ、ここまでは覚えておこうとか、ここからは、自分の頭で、その場で考えてみよう、みたいなラインを引けるようになりました。計トレも楽しかったですよ。フフフフ。やっぱりすごく効果あったなって思います。多分、徹底して、代官山に言われたとおりに勉強したんで、あ、こういうことか、こうやって点取るんだ、みたいなのがいっぱいありました。

もう、全部復習は無理なんじゃないかって思うぐらい、英語は、量、すごかった

英語は、マンツー、1年間、良平先生、取ってたんで、ずーっと文法たたき込まれて、文法はもう本当に、最後ミスしなくなって、杏林とかは、本当にそのおかげだな、と思ってて、あんまり難しいのっていうよりは、簡単な文法と、スピードで長文をこなしてくって感じなんですけど、杏林合格できたのはそのおかげかなって思ってて。

石井先生は、教えを、人生の教えをいただくみたいな印象が強くて、石井先生のそのお話で、すごい覚えてるのがあるんですけど。大事なことを、教えてもらうことが多くて。その…、執着心を持つことっていうのと、あと、柔らかい頭を持ちなさいって言われたんですよ。でも、それって、全然逆のことだと先生は言っていて。執着心と柔らかい頭を持つ。じゃあ、その間をつなぐものは何だって言ったら、行動力だって言われて、あ、そういうことか、と思って、説明するのが難しいんで、ちゃんとみんなは石井先生から聞いてほしいんですけど、なんか、すごい覚えてるんです。

自分が偏った考えしてるなって思ったときは、ああ、もうちょっと広く見てようねっとか、そうですね。

なんか、分かんないことあったら、代官山って結構、先生と生徒の距離がすごい近いんで、すぐ質問、行っちゃうんですけど、自分の頭で考えなさいって石井先生に言われて、それで、一回考えて、それが正しいかどうかを吟味してから、自分で行動に移しなさいって言われて、で、秋以降とかは、確かに、不安になって、人に聞きたくなるんですけど、それは、一回考えて、自分の頭で考えて、正しいなって思ってから動こうっていうふうに、石井先生の授業で、なんか教えられたっていうか、すごい、印象に残ってる教えがいっぱいありますね。

あと、英語でフフ、楽しかったのは、朝岡先生と、栗原先生。なんか先生達、仲いいんですよね…。お互いの名前が出てくるんですよ、授業中に。例文に。朝岡先生は覚え方の手順みたいのまで授業で言ってくれて。インプットした後の、アウトプットする過程までを授業でやってくれるので。なんか授業で、英文法の授業でやったことを、夜間でまた聞かれる、で、あんときやったやつじゃんってなって、馬庭君（獨協医科大進学）とか当てられて、よく、フフフ。なんか、自分が覚えてなくて、友達が覚えてたりすると、あ、やばいって思って、復習しなきゃって思えて。結構、英語の授業いっぱいあったじゃないですか。だから、授業中にメモを全部取っちゃって、覚えるところまでのメモを取っちゃって、ファイリングして、テスト前に見返すっていう。すごい効率が良くて良かったですね。量がたくさん、すご、もう、量は多分、全部復習は無理なんじゃないかって思うぐらい、英語は、量、すごかったんで、多分、授業中のことを後でまとめようっていう時間はないと思うんですよ。だから、授業中に、その暗記のための、ノートみたいなのを私は作っちゃってました。そのとき、そのときに。

みんな、先生たち、覚え方まで含めて教えてくれるんですよ。代官山の先生たちは。

生物、緒方先生一筋なんですよね。緒方派なので、ウフフフ。ちょっと宗派あって。フフ、緒方派、深瀧派みたいな。私、超緒方派なので、生物の質問もそうだし、勉強とか、全体的な質問も緒方先生にしてて、日曜日のマンスリー終わって、月曜の1限までに復習を、自己採点と、まあ軽くして、何が駄目だったか反省とか、各科目ずつ、全部書いて、総合の反省文書いて、提出するんです。で、そのときに、ああ、こういうふうになったんだ、これは良くできてたね、みたいなことを一言もらって、また成績表が来たときに、偏差値見ながら、お話しするっていう、面談みたいなの、多分、みんなやってもらってて、いや、こんなに面倒見のいい先生がいるんだ、とか思って、もうすごい精神安定剤みたいな感じでした。めちゃめちゃ優しくて、あと、勉強のことに関して言うと、私、生物は自分のノート、作って、それに、授業でやった、知らなかった知識を、付箋に書いて、貼って、暗記するっていうのをやってたんですけど、それは、もう、本当、どの先生のときもやってて、みんな、先生たち、覚え方まで含めて教えてくれるんですよ。代官山の先生たちは。で、こういうときは、こういうふうに覚えたらいいとか、きれいにまとめてくれて、板書でそれを。それを付箋に写して、ノートの空いてる所に貼ってって、で、マンスリーの2週間前から、全部覚えなおすみたいなのをやるんですけど、生物って、1カ月に1回、全部、通しで見直さないと忘れるんですよ。忘れたら、考察とかの前に、どっかで引っかかっちゃうんで、もう、本当にそれはやっちゃいけないことなので、ずっと、1カ月に1回、マンスリーがあるから、その2週間前からノートの暗記を始めて…。で、あと試験、入試の試験中も、やっぱり長いじゃないですか。1カ月ちょいあって、忘れちゃうんで、そういうときでも、必ず2週間に1回は見直しして、全部、常に頭に入ってる状態。で生物をまず最初にテスト勉強みたいな形で組み込んでから、やるようにしてました。

私の自習席からは空が見えるんです。それが好きで、こうやって空見て、勉強して、疲れたら…。

割と、ずっと自習室派です、私は。うん、フフ、左から3番目だったんですけど、一番左端がないんですよ、ブラインドが。私の上の席だけ、ブラインドがなくて、そっから、空が見えるんですよ。すごい、なんか、それが好きで、こうやって空見て、勉強して、疲れたら…。フフ、疲れたら空見て。神谷君（神谷仁人：日大進学）の荷物越しに見える空を見てました。なんか、なんか良かったんですよね。あっやばい、もう夕方になりそう、みたいな感じも。日曜日とか、自習室いると、あっもうこんな時間だ、みたいな、まあありましたね。やっぱり朝からやってる人たちのほうが上、行きますよね。ずっと勉強してて、本当に、いやー、すごいなあって。そりゃあ思いました。鹿山（慈恵進学）とか、伊藤さん（昭和特待）とか沖田さん（昭和進学）とか、すずちゃん（飯田すず昭和進学）とかみんな、確かに朝からずっとやってたなあ、と。私にはできなかった。んーやろうとしたんです

よ、夏。で、馬庭君と、朝勉強してた時期があって、7時ぐらいに来て、7時半まで勉強して、朝ご飯、ちょっと食べて、8時半までまた勉強するっていうのをやってたんですけど、体調壊しましたね。それであっ寝なきゃ駄目だ、と思って。早く寝てたんですよね。去年、割と、でも、12時超えてないですけど、多分私は7時間半寝たときが一番良いってことがわかりました。

きつい中で勉強するのに慣れ始めたとき、緒方先生に本気感がないって怒られて。それが東京に残れるか否かの瀬戸際だったと思う。

うーん、なんか、才能ある感じの雰囲気を持ってる人と、ほんっとに努力でやる人たちの2タイプがあるんだなっと感じて。やっぱり鹿山とか沖田さんとかは、ずっと休み時間も勉強するタイプで、むしろ金（金源太郎：日大進学）とかまあ、あの辺の人たちは、村林（女子医進学）とかは、どちらかというと雰囲気でなんかできちゃうじゃないですか、勉強が。それで私はどっちにもなれなくて、多分、真ん中ぐらいをずっと、フフ、ちょっとふわふわしてた感じでしたね。

だから、何だろう、すごいなって思いつつ、一回、緒方先生に怒られたことがあって、「今、本気で勉強してる？」って、11月に言われて、「今はおまえの勉強、もちろん、勉強してるのは知ってるけど、今、本気？」って怒られて。いや、違うかもしれないって言って。10月か11月なんですよね。で、「今、この状態でいっても、多分、まあ、地方とかだったらどっか受かるけど、おまえ、それで満足するの？」って、そのときに言われて、で、ああ、ちょっとやばいなと。なんか、ちょっときつい中で勉強するのに慣れちゃってて、10月ぐらいに。で、怒られて、それで、そこか

らすごい本気になったら、結構見てくれてる人っていて、石代君（大阪医科大進学）が、なんかすごい最近頑張ってるよね、みたいなことを、2号館の階段のところで。最近、頑張ってるよねって。ああじゃあ、もうちょっと頑張ろうって、そんとき、思いました。うーん、あれを1年間続けてた人たちはすごいと思うし、あのとき先生に声掛けてもらえてよかったなって思ってます。あれが、東京に残れるか、残れないかの瀬戸際だったなって。今、すごく思います。

全部先生が見てくれてるから、かっこつけないで、素でできるところが、すごい良かった。

代官山に来て思ったのは、うーん、何ていうか、それまではなんか優等生ぶるというか、いい子ぶっちゃうところがどうしてもあって。それができない所なんですよね、代官山は。全部先生が見てくれてるから。あと、友達もすごい見てるから、そのキャラを抜けちゃったほうが、何だろう、勉強しやすいというか、聞きやすいし。まあできない、できないって言ったほうが、先生達助けてくれるんですよ、代官山の先生達は。ので、ちょっとできるようになったら、やっぱり先生も気づいて褒めてくれるし、すごい嬉しいんで。もう、かっこつけないで、もう素でできるところが、代官山はすごい良かったなって思いました。ンフフ、いや、でも、本当、代官山、選んで正解だなって思います。大学入っても先輩がめっちゃいるっていうのは、なんか分かんないこと多くって、最初とか。そしたら、代官山出身なんですけどって言ったら、絶対、面倒見てくれる、フフフフ。それも、すごい、いいとこでした。

自分の席がちゃんとあって、ここで勉強しなさいって言われるっていうのは、いつもここに戻ってこれる、みたいな安心感。

何だろう、友達とあんまり近づき過ぎないほうがいいです。大人数と。それは石井先生にも言われて。なんか、私、運よく怒られなかったんですけど、フフ。なんか、みんな怒られてたじゃないですか。でも、石井先生とお話ししたときに、近づき過ぎちゃ駄目だって言われて、一定の距離を持ちなさいって。普通に中学とか高校とか大学とかはいいと思うんですけど、予備校は近づき過ぎると、やっぱり、ちょっとギスギスするんで、周りの子とかの一言一言が、いら立つときがあるんですよ。もちろん、質問とかは友達にしたときとかもあるんですけど、あんまり駄目だな、と思って、浪人は絶対、先生にしたほうがいいなって思います。意外と人間関係しんどくなると、勉強に支障、出るじゃないですか。だから、気を付けたほうがいいかなって。うーん、代官山ではならなかったんですよね。でも、前の予備校はなりました。自習する席、自分の席が、代官山だとあったから、それって、すごい意外と大事で、大手だと、自分専用の席なくって、友達とかと教室で勉強するんですよ。友達とぎくしゃくする、勉強する居場所がないとか、それもしんどいので、自分の席がちゃんとあって、ここで勉強しなさいって言われるっていうのは、割と、なんか、いつもここに戻ってこれる、みたいな安心感があって、良いです。

困ったことがあったら、石井先生に相談に行くと、ぱあって道が開ける。それで、なんかちょっと勉強進められるみたいのはすごく大切。

後輩へのアドバイスとしては、もう、困ったことがあったら、取りあえず石井先生のところに行くっていうのはすごい大事だと思ってて、私も、5回、6回ぐらい行った、と思うんですけど、あ、もっと行ったかな、その勉強のこともだし、人間関係のこともだし、その自分の今、どういう状況か、でもいいと思うんですけど、石井先生のところにお話に行くと、ああ、確かにって思うんですよ。そんなに長く話してないときもあるんですけど、なんか、ぱあって道が開けるっていうか、なんかすごい、それって大事で、それを信じて、なんかちょっと勉強進められるみたいのはすごく大切だと思うので、私は、本当。うんなんかあったら、石井先生のところに行って、で、友達がちょっと落ち込んでたりしたら、石井先生んとこ行ってきなよって、声掛けてあげると、なんかうまくいってたりしたので、めっちゃ怖いって思ってる人はちょっと無理かもしれないんですけど、石井先生、すごい話を聞いてくれるので、ぜひ、行くべきだと思います。

あと、授業に全部出る。フフフ。取りあえず出とくっていうのは、絶対必要だな、と思って。なんか、思ったこと以外のことが知れるとき、あるじゃないですか、だから、絶対、授業は切っちゃ駄目です。とにかく、取りあえず代官山に来るっていうのが大事です。来て大変になったら先生に相談して。家に引きこもってたら、もっとつらくなるので。本当、つらかったんで、夏。絶対、来たほうがいいです。来たら助けてもらえる。なんか、自分のことに近いことを石井先生が授業で言ってくれたりとか、こういう子いたんだよ、みたいな。そういうのを聞いて、あ、そうやって受かった人もいるんだ、とか、いろんな話、してくださるので、取りあえずとにかく代官山に来るっていうのが、来て、先生のところに行くっていうのが、絶対、一番大事だと思いました。

いやー、なんか、ここでこんなにやって受かんないんだったら受かんないと思う。フフ。ていうぐらい、多分、代官山で普通にやってたら、それぐらいの量やるんで、受かると思います。みんな、めっちゃ受かってるじゃないですか。絶対、ここで真面目に、言われたとおりにやれば絶対受かると思います。どっかは絶対受かるんでぜひ頑張ってください。

卒業生が語る

合格への軌跡 2020年

WAY TO SUCCESS

昭和大医学部Ⅰ期　2次特待合格
東京女子医科大　2次合格

死ぬ気で全力になる1年がないと受からない。ダラダラやって死ぬ気になんないと医学部無理。

昭和大医学部進学　伊藤友梨那 さん(立教女学院卒)

今年代官山生は、昭和に７人進学。めっちゃ多い(笑)。

昭和は、今年1年生は全体的に37%が現役だと大学が公開していました。LINE　を見る限りは半分くらいが現役。代官山生もめっちゃ多いです。すでにたくさん友達いるのすごく安心。今年昭和7人ですよ。星君も。実は星君最寄駅が一緒で。

昭和特待って発表見て、血液が全身に広がるような、例えようのない喜び。

一次が昭和と東邦と女子医と帝京と聖マと獨協で、二次来たのは…、そもそも昭和と女子医しか２次受けてなくて、東邦も行ってなくて、昭和が特待来ちゃったので。　特待でビックリしましたよ。本当に、私が一番びっくりしました。女子医も正直行かないつもりだったんですけれど、合格証が届くまでは見間違いなんじゃないかって。家族でそんな話になって合格証書が届くまでは行けって言われて（笑）。
私の受験番号6番でめっちゃ早くて一番最初にあって、めっちゃ嬉しかったです。泣きながら帰ったの…。 血液が全身に広がるようなくらい。例えようのない…。でもしょっぱなの岩手一次落ちたんですよ。だから本当にどん底にいてそれで初めての一次合格が昭和で、人生初の一次で、二次が受かったときより嬉しくて本当に嬉しくて、で安心してそれからぽんぽんぽんってなって。スマホで"特待"ですって書いてあったの。泣きながらそのまま帰るっていう。だから杏林受けてないんです(笑)。すぐ家族に連絡しました。すぐ連絡したんですけれど最初父親に電話して「は？」って言われて最初全然信じてくれなくて。　全然信じてくれなくて、母親は本当に？みたいな。特待は絶対ないって。あるとしても補欠だって。

現役のころと比べて量的にはそんなに変わってなくて質は変えました。

現役の12月ぐらいに多分浪人するだろうなって思ってて。浪人するとしたら、絶対やってやろうって思ってた。浪人になって第一回クラス編成テストは結構良くて、そんなによくはないけど。まあでも2号館行けたんで…。
受験最後の1月に間に合わせるように全部予定を立てました。この期間はこの範囲をして、一つ一つの範囲を深く丁寧にやったかな。最後には受かればいいやって。私負けず嫌いなんですけど、マンスリーに意識集中しすぎないようにして。だから、マンスリー最初のほうは緊張、全然してなかったです、最初は。でも一回めちゃめちゃ良くて、逆にその後はずっと緊張してしまいました。下がったらあいつ一発野郎だなって思われるんじゃないかって。7月が強くて4位になって焦りました。めっちゃ逆にプレッシャー掛かりました。緊張しました。でもその後そんなに悪くならなかった。クラス上がりたいって思いすぎないようにしてました。現役のころと比べて量的にはそんなに変わってなくて質は変わりました。やり方って言うか、現役の時は時間なかったし。
とりあえずひたすら解こうと思って頭に問題を入れようと思って答え丸覚えみたいなことすごいしちゃって、特に数学とかは…。でも浪人して、それじゃ駄目だわと思って予習をしっかりやって考える練習やって。自分でもちゃんと考える。だいぶ変わって、数学はめっちゃ伸びたと思います。なんだろう。でもなんか、考えろ考えろって山室先生にずっと言われて。頭使って考えるって言うのが分からなくてどういうことしたらそういうふうになるのか。それはちょっと浪人してわかった気がします。引き出しが増えたかなって感じがします。山室先生が教えてくれました。現役の時になんであの子はあんなにできるんだろうなんで私とは違うんだろうって聞いたら、彼女はいっぱい引き出しがあるから。一個の問題に対して何個も解法を持ってる。なるほどそうかって思って。浪人してそれをやってました、予習の時に。

今までの人生の中で、過去振り返って一番強い思い出です。

今、浪人時代を思い出しても辛いっていうよりも充実してたなって。そっちの方が強すぎて…でも、泣いたのは、化学は本当に得意だって自分では思ってたからマンスリーも仲良い子達の中では負けたことなくてずっと。9月とか10月あたりで一回負けて近藤ゆりあ（東邦大医学部進学）に、本当にその時辛くて取り柄ないって自分で思って。その時は一番つらかった。「本当に取り柄ない私」って思って。飯田（昭和大医学部進学：飯田すず）とかには負けなかった。化学苦手だったっぽいです。英語めっちゃできるけれど。近藤は英語もできる。だからより辛くて。勝てるのがないって思って。　総合でも負けた時あるし。でもそんなに大崩れしてなかった。最後は安定してた。マンスリー慣れして、とれるところだけしっかりとるって。一点って大事だなって。良かった時のマンスリーの時に化学が一点差で2位だったんです。その時に一点！って思って。一点ってこんなに大事なんだなって思って。その時からテスト受け方を変えました。出来ないところはちゃんと捨ててできる一点を取りに行くようになりました。まあ、今までの人生の中で、過去振り返って一番強い思い出です。小中高ずっと同じところに通ってたけれど、ちゃんと頑張ったなって思うのはここだけで、学校であんまり何かに打ち込んだことがなくて…、初めて打ち込んで、成功したのが本当に嬉しい。毎日、直前まで何もわからなくてでも２浪はしないっていう風に心に決めててそれだけを考えて行ってました。

先生方も個性的でしゃべりやすくてフレンドリー。

雰囲気とかめちゃめちゃフレンドリーと言うか人数少ないから質問しやすい。授業中にわかんない顔してたら先生絶対見つけてくれてどこわかんないのって気にかけてくれるし。　少人数すごいよかったかなって。緒方先生とか顔見て大丈夫？とか。説明してもらったりとかありました。
私は全部合ってたなって思う。今考えると雰囲気も先生達も。個性的な先生がすごいから。　喋りやすいフレンドリーじゃないですか。それも良かったしあとはタイムカードが良かった。印として残るじゃないですか。毎日同じ時間で割とぶれなかったと思う。タイムカードのために行かなきゃって。押したいって。　具合悪い時とか直前に一回熱出してその時は終わりって思いました。休んではいないですけれど早く帰りました。来て途中から悪寒だって思って。次の日正月で休みだったから。休みにならずに済みました。元旦ずっと寝て、2日から来ました。熱下がりましたし（笑）。

昭和の理科、全部解きましたけど、でも心折れそうになって、途中で計算量が凄すぎて…、

昭和、数学、なんとか全部埋めました。数学は。数学は最後のやつはわかんなかった、面積求めるやつ。それは飛ばしましたけれど。理科は、化学が難しかったです。全部解きましたけど、でも心折れそうになって、途中で計算量が凄すぎて、でも、まあなんとか。ここで折れたら落ちるなって思って。化学が6で生物が4。ちょっと化学にまわして。生物は割と解きやすくて。化学の見直しに回せました。化学、3問ぐらい間違いを見つけて。やりながら一周目違うだろうなっていうのには印つけたんですよ。で2周目で見たらやっぱり間違ってて。あと、生物は、考察とか緒方先生と深瀧先生、制限酵素出るよってすごい言ってて、直前それやってたんですけれど、愛知とか岩手とかもドンピシャでそれ出て先生すごいなって思いました。　そこはがっつり取れました。

浪人して、粘り強さっていうか、出ました。わかんなかったら調べようって。

苦手な英語は、栗原先生のマンツーとってました。ちょっと数学っぽくやるんですよ。英語をこの単語が来たらこういう話題の展開になるって,例えばwantとか。願望系の単語が来たら、次はその理由が来る。できる人からしたら意識せずやってると思うんですけれど、苦手な私からしたら、あそうなんだって思って読み進められ方が違って。多分こういう風に来るんだろうなって思ったらやっぱりそういう風に来て。穴埋めとかもそれ使えました。becauseとか。栗原先生は数学チックで。割とあってました。スピードも自分に合ってました。丁寧にやってもらった方が一回であんまり進まないけれど、文法も使ってくれたんで。11月ぐらいまでは構造ばっかり考えて、12月からは初見問題をひたすらやっていてそれで読みやすくなりました。あと、東邦とかは過去問やったもん勝ち。単語とかめちゃめちゃ被ってるし、傾向とかも今年からめっちゃ変わってびっくりしましたけれど。なんか展開とかも似てて。東邦は一次出るかなーって思ってた。テキストは科目によって違うんですけれど、数学は7周ぐらいやって…、前期のテキストは。後期は5周ぐらい。前期はめっちゃやり直しました。数学はでもテキストしかやらないからそのぐらい行くかな。化学とかは前期は1回ぐらいしかやってないけれど後期は予習でわかんなかったところだけやってました。質問は生物はほとんど行かなくて…。覚えるのっていうので大変だから。考察とかここどうやって繋いで考えればいいですかっていうのはありますけれど。でも化学はめっちゃ行きました。内容はギリギリまで考えてから、行こって決めてから。どうしてもわかんないのとかはそのまま行ってましたけれど。　レビューテストはちゃんと出しましたよ。全部出しましたよ、多分。レビューは授業の内容が頭に入っていれば、まあできます。
数学は、薄先生、平野先生。薄先生は、何かがむしゃらにわかりやすいなって思ってました。ちゃんと見てくれてるんだなって。私のことを理解してくれてるような気がして、お前ここ伸びたよなって。しかもちゃんとそれを言ってくれるんですよ。自分にはそれがすごい励みになって。先生って、できた人って手あげさせるんですよ。その時にちょっと手あげたりして、伸びてるなって言われると、めっちゃ嬉しくてよし頑張ろうってなって。それからちゃんと予習をやるようになってやりたくてもできなかったことが多くて能力的にも。ほぼ過去問で全然わかんないからいいやって。浪人して、粘り強さっていうか、出ました。わかんな

かったら調べようって。平野先生は結構代官山に来てるじゃないですか。割といつ行っても質問に答えてくれたんで、明日の何時から行くからって言ったら本当にいてくれて。直前に過去問解いてわかんない問題はほぼ平野先生の所に行ってました。ちゃんと励ましてくれました。直前期って不安定になるじゃないですか。やばいやばいみたいな。 大丈夫お前は慈恵だ。みたいなちょっと安定させてました。 ホント嬉しかった。プリントもめっちゃくれた。唐突な質問に対してもこれやっとけって返してくれて。そのプリントちゃんとやりました。答えも一緒に貰って解説も付いてて。化学は、三上先生。三上先生は化学の土台。基礎は全部三上先生。適当って自分では言うんですけれど、適当って思ったことなくて。すごい親身になってくれてるなって思って。マンスリーとか見せに行ったらすごい的確にここやり直せって言ってくれてセミナーの方をやり直せって。やるとこちゃんと明確にしてくれてるのが何よりもありがたくて、授業はめっちゃわかりやすいです。化学は、現役の最初はモル(mol)も分かんなくて。でも三上先生のお陰です。テストゼミが良かったんですよ。セミナーももちろんやりました。浪人してからは一周ぐらい。現役の時は10周ぐらいしてそれでもセミナーはいいでしょって思って予習もしました。発展は最初の時は言ってなかったけれど7周ぐらいはした。

石井先生は生徒めっちゃ見てるなって思いました、怖いくらい。

焦ってるのは頑張ってる証拠だよっていう言葉は嬉しくてノートにも書きました。
石井先生の授業は超〜緊張でした。3列目から1年間ずっとよく当てられました。嬉しいですよね、当てられると。特別嬉しい。なんでかわからないけれど、頑張れよって言われてる気がして。わかんない問題とかに限って当てられたりして(笑)。そういう時しか当てられないんですけれどね。顔に出てるのかなって。覚えるじゃないですか、単語とか当てられて答えられないと。試験中に石井先生が蘇ってきて、あっあれ間違えましたって…、生徒めっちゃ見てるなって思いました、怖いくらい。授業中に石井先生が、「勉強してるから焦るんだって、やってるから焦るんだって」って言われた時は響きすぎてノートとりました。やたらめっちゃ焦ってて。マンスリー丁度落ちた時だったんですよ。どうしようと思って勉強方法違うのかなって思った時に焦ってるのは頑張ってる証拠だよって言われて、じゃあいいやって焦らなくなりました。 ノートに書きましたそれは嬉しくて。

友達がいたから今の自分があるっていうぐらい、友達の存在は大きかった。

チャイムが鳴ったら全然戻るし。基本的に休み時間はしゃべんなかった。ご飯食べてる時にばったり会ってっていうのはしゃべるけれど。休み時間は喋ろうっていう風にはならなかった。夕飯は家帰って食べてました。大体間食して。間食の時にちょっと喋ってそれでリフレッシュして、お互い勉強しなきゃという気持ちがあったし、あんまりだらだらと喋った記憶はない。本当に仲間と出会えてよかった。こんなに親密になれなくないですか代官山じゃなかったら。いいライバル。お互い医学部だっていうのを知ってるし。近藤は今でも一緒ぐらい仲良くしてます。浪人生の時もキャピキャピはしてましたけれどでもけじめはつけるようにしてました。
友達がいたから今の自分があるっていうぐらい、飯田とゆりあは特に仲いい子。今でももう電話しちゃうぐらい仲良くて。好きだからこそ負けたくないってお互い思ってたと思うんですけれど、三人の総合ランキングとかも。めちゃめちゃみんな意識してたと思います、誰かが伸びたとか。3人で集まって、会議みたいな。自習ブースは基本的にずっといました。3人とも自習室派です。でも直前期はみんな朝過去問解いて別室でやってました。1年間ずっと6時半でキープしてました。朝は結構人多いです、去年より多い。20人ぐらいはいたんじゃないかな。近藤は多分一番早かった。夏前は6時に行ってて私は、ゆりあは絶対わたしより早くいた。1年間6時にいたと思う。すごいなと思ってた。飯田は一緒ぐらい。この三人組がいなかったらこんなに頑張れなかったと思う。本当に感謝しかない皆には、励まし上手だから。ちゃんと励ましてくれるし。出会えてよかったです。かなりいいライバルでした。

だらだらやってたらいつか受かるでしょっていうのはない。

死ぬ気で全力になる１年がないと受からないって思いました。だらだらやっても死ぬ気になんないと医学部って無理って。だらだらやってたらいつか受かるでしょっていうのはないっていう風に心から思います。
マンツーは夏明けから取りました。栗原先生とか。マンツーに頼りたくなかったけど、先生に頼りすぎるのはやめようって。でもとって良かったです。
程よい友達は必要って思った。最初は友達作んないで1年間突っ走ってやろうって思ってましたけれど、友達できてからよりライバル意識っていうのが、 山本百合(東邦大医学部進学)とか江幡(東京女子医科大進学)とか結構仲良くて。割と意識はしてたかもしれない朝とか行ったときに。やばいもう来てるとか。そういうのかヒヤヒヤして。すごくよかったと思います。

今年の受験の結果は？

一次が全部で13個です。愛知、昭和、東北医科薬科、北里、帝京、あとえっと…あと東邦、聖マで、でも岩手がストンと落ちて、獨協は受けてないです。日医は前期落ちて、後期は一次通って、あと杏林と金沢。あと慈恵は帝京の二次とかぶってたから受けてないです。あと日大、大阪医大。埼玉後期で全部ですね。最終合格が出来たのは、えっと日大、聖マ、杏林、金沢です。4個です。杏林は５番で、日大は25、聖マは54で、金沢は22番、すぐ来ました。一番最初に合格来たのは金沢、そうです、ン？実際合格できたのは杏林ですね。杏林の方が早かった。杏林がすぐに、ホントに、正規の振込期限終わってすぐに。いやでも…多分、なんだろ全部二次合格までいかないというかその、「一歩手前で止まっちゃった」感があります。テストでもそう、平均的には取れるけど、どんな問題でも。バン！て、なんか、ずば抜けて取れない。マンスリーテストでもそうだった。

杏林、来た時どうだった？

一浪では、埼玉医科大一次だけだったんで、多分、「やばい！」と思うレベルが上がったから、それで変なトラウマに駆られました。「一瞬危ないかも、え？」みたいなホント杏林とか、一次通ると思ってなかった。だから来た時は。吹っ切れました。とりあえず「終わる！」みたいな。とりあえず終わるから、安心みたいな、まあ2年かかっちゃったから…。むしろ、まあでも、ココじゃなかったらもっとかかってた感じは自分でもすごい感じます。なんかやっぱすごい、面倒見が…。めちゃめちゃ見てくれるんで本当。どこ弱い、とかなにやれ、とか。そう山室先生にも計算ミスのところ、すごいめっちゃ見てもらってた。計算のやり方とかも、他の予備校だったら一人の生徒の計算の仕方まで見るなんて事そうそう無いから。そういうところまで言われて、気づいて直せたりしたんで、そこが良かった。
一年目ダメだった時、ずっと3月終わりまで(埼玉医科)待ってて、いや厳しいです(笑)なんかもう、まあ、ほぼ、ほぼ望みはないっていうのも何となく分かってたし手ごたえ的にもそうだし、ぎりぎり感もすごかったんで。まあ、でもそれがあったから2年目、自信になったっていうか、全然違いますね。2年目入る時に、一個でも出てるとやっぱ、何となく気持ちの持ちようが若干違った、「一応受かりました」みたいな自信で臨めたっていうか…。だってA10スタートですよ。確か1年目A10スタート、一年目のマンスリーとかトータルで90何点とかですよ、ひどかったっす、最後のマンスリーで、3倍くらいになった。二年目は一年目と相対的には3倍以上取れるようになった(笑)。278とか取れたっていうか…、1年目、化学7点、生物25点、数学20点、英語が39点ですよ。いやまあ、(笑)2年かかっちゃいました。一年目最後は、A5とか、そんなもんでしたよね、A5でも全然みんな受かってた、だって清水とかA5でも東邦受かったりして。相良とかも仁さんも、同じA5から、二学期A7で最後(の冬のクラス分けで)上がったんですよ。なんか一回だけ載ったんですよ、一年目にランキングの、一番下に。200何点か、210点か、そう多分それで、一回だけランキングに載って。そんくらいからやっと、200超えるようになったていうか、ぎりぎり感はんぱなかった。今年はかなり、200切ったのが一回、第6回か、あとは全部200いってやっぱ安定してましたね、かなり。

二年目、理科は安定してきましたか？

生物は、二年目緒方先生からもらったプリントを結構やり込んだら、めっちゃ安定…多分そんくらいから生物はすごい安定した、偏差値が。取れるようになった。完全に、緒方先生のおかげと言って間違いないです。なんか、簡単な内容のプリントなんですけど、まあ知ってるよ～みたいな、その「腎臓の仕組みなんて名前なんて知ってるよ！」って思ってても、その、名前と名前の繋がりだったり文章で追えるような穴埋めプリントだったんで、そこで何か見直せたんで、イチから。そこが良かったと思います一番。自分で大丈夫だろうと思ってるところでも大丈夫じゃなかった、全然完璧じゃなかったすね。完璧とは程遠いクオリティだった、て事にそのプリントで気付かされました。図説とか見なくても、自分で図書いて、その現象の理由とかも全部書けるようにこう・・・ノートに、全部手書きで思い出しながら書いて、もう資料集の内容全部自分で書けるようになりました。流れは、ちゃんと。
化学は…そうですね、安定…、まあでも二年目はだいぶ出来ましたね。困る事は無かった。自分が「マジ分かんない」って問題を、その取捨選択が上手に出来る、「やべっ」って思ったらすぐパッて捨てられる。
英語は一年目出来てたとはちょっとあんまり言えない。底上げが凄かった、二年目のほうが。全体的に上がったんで。英語の底上げっていうのは、それこそ例えば、「make」って単語を知ってるよって思うんですけど色んな文型取るし、「訳し方」も変わってくるし、なんかそういうの「全部説明できねえな、これ、俺」ってなったらどんな簡単な単語でも一回辞書開くようにして。ちゃんと、どういう文型取るのかなあ？とか。
その、長文とか石井先生の授業の。それ見て「あれ？これ三文型取るっけ？！」とか、確信持てなかったのを調べるようにしてました、辞書で。どれもこれも復習やるんじゃなくて例えば日医の問題とかを難しめのやつとかを、何回も何回も復習してました。
たくさん読むというよりは一つの文章を、そう、しっかり文章の内容をっていうか。長文やりながら文法も勉強出来るし、そうやれば。「知ってるか知ってないか問題」は、普通に一年目に配られた「速読」、石井先生の。あれをずっと使ってた、まあ覚えるやつは覚えて、考える文法みたいなのは長文から。音読、うん、心の中で読んでました。(笑)毎回、口には、出せない。自習室だし(笑)
写経もしてました。こう流れを、書きながら言えるようになるので効果ある。そうすると日本語と英語って順番逆だったりするじゃないですか。そういうのが自然に出来るようになるから、なんかサーって読めるようになるっていうか、速読が出来るようになるっていう感じがありました。
そう、岩崎先生のマンツーも取ってたんですけど一年目と二年目の最後。岩崎先生も結構写経推しなんです。次のマンツーまでに、暗唱出来るように、みたいな、とか。先生が選んでくれた英文法を細かく。岩崎先生はすごい精読タイプなんで、細かく、めっちゃ細かくやるタイプなんで自分はそっちの方が合ってました。バーって何か、Butとかだけ注目して読むみたいなやり方よりかは、岩崎先生のめっちゃ細かく読んでて最終的に精読出来るようにするみたいなのが良かった。
山室先生にも相当お世話になった。色んな問題の解き方を掲示してくれたっていうか、武器をいっぱい持てるようになったから、結構問題に対してそんなビビんなくなった。「俺、知ってるし」みたいな、いざとなれば積分とか。でも、積分が一番感動でした。あれは、知ってると知らないのは大きな違いがありますね。積分で困ったことは無いですね。大阪医科もそれで解きました、先生のやつで。本当に先生の積分プリントにあるような問題、もろ出たんです。

代官山で印象に残った授業などあれば。

英語は、石井先生と岩崎先生ですね、やっぱり、この二人。石井先生は、いわずもがなっていう感じなんですけど、ほんとに、SVOとかも一個の文に対してすごい、どことどこかかって、いうのも詳しくやってくれるんで。なんか、長文読む時とかも論理っていうか内容理解に困らないっていうか、その正確さが、役に立った。石井先生はもう英語だけじゃないですけどね…、なんかもう全部。入試のことなんかも全部って感じですけど、石井先生の話聞くとちゃんとしなきゃって思うし、毎回毎回ためになりました、本当に。石井先生に授業中にこう、当てられて「ああ出来てるね」みたいに言われると、嬉しい。本当、モチベーション上がりますよね。でも逆に答えられない時とかは、ちょっと悲しい。あっ、やべ、やんなきゃ、みたいな。石井先生はディープな受験の情報とかくれるっていうのもあるし緊張感もある。やっぱり他とちょっと違います。岩崎先生は、結構話とか聞いてくれたりとかしたんで、ずっと、去年から。一年目ダメだった時とかも励ましてもらったし、そういうのが良かったなっていう。
数学は山室先生と典さんと村上先生。典さんは、何だろ、何か話しかけやすかったし、「ずん！」「どん！」て構えてる感じあったし、あとめっちゃ頭良いっていうかあの人(笑)解き方とかも、なんか授業中に何回か指して色んな人を。いろんな解答案出してくれたりしてそれがすごい良かった。自分の中では。一つの問題に対して色んな角度から考えられたんで。だから、他の問題とかで典さんが言ってたやり方でこの問題解ける？とかいうのもよく聞きに行ったりしてました。でも時にはめんどくさいのもあったりして、それも勉強になったりして。だから、その選択肢の取捨選択が出来るようになったっていうか。めんどくさい事も敢えてやって勉強になりました。村上先生はマンツー取ってなかったんですけどプリントとかくれたりして、あとやっぱ声とか結構掛けてくれたりして、「マンスリー結果見せて」みたいな感じで色々、言ってくれたりしたんで、勉強面もそうだし、普通の全体的な勉強面とかも見ててくれたりしたんで。それが印象深かった。村上先生面倒見いい(笑)色んな生徒に対して。山室先生が多分ほんと一番お世話になった。だって一年目からずっとマンツー取ってて、二年目もずーっと取ってて、そう数学がホントヤバかったんで。なんか、考える事が出来ても解く手に繋がらないみたいな感じの事とかもあったんで、そこを得点に繋がるように計算の仕方とか、結構色々掲示してくれたりしたんで、そこが身になりました。受験前とか、こう想定、正規が出るようなシミュレーションみたいな考え方を指導してくれたりして、そういうのを一回考えて受験に臨むと気持ちも違かったりしたんでそこが良かった。
化学は、三上先生の理論がすごい好きでした。三上先

生は基本的な事からやってくれて。三上先生のおかげで基礎が出来てたから発展的な事にも手出せたし、マンスリーとかでもなんかガタンって崩れるような事が無くなったていうか。計算の仕方とか。理論のテキスト、スタンダードだったんですよ、最低3周くらいしました。数学ももっとしました、数学に一番時間掛けてたんですよ自分は。5周以上しました。確率とかもすごい、気を付けてやってました。
あと深瀧先生の授業とかも自分に合ってました。言葉の定義とか現象の理由とかを、すごい、突き詰めてくれるタイプの先生なんで、深瀧先生は。まあ一見厳しいですけど(笑)「は？」みたいな事言われるんですけど(笑)ま、それでもやっぱすごいタメになりました。緊張感もあるし。そう、深瀧先生は端から端まで当てるんですけど、深瀧先生に「OKです」って言われるとやっぱ嬉しいです。中途半端な事言うと絶対だめなんで、そのちゃんと理屈、ちゃんと完璧な事言わないとOKもらえないんで。どんどん聞くんですよ、「それどういうこと？なんで？」みたいな、結構聞いてくれるんで。中途半端な事言うと、「え？それ何？」みたいな感じになっちゃうんで、ホント下手な事言えないっていう(笑)。それで、授業中「あーやべ、俺全然わかってなかった」とか思ったりして。だから自分なりの言葉で書けるように。先生の言ってた事をただ暗記するんじゃなくてそれを自分なりに説明出来るように、ノートに殴り書きできるようにしてました。
あと小論も良かった！小論の授業、高橋先生の教え方なんかもう、一個ずつ覚えるっていうかもっと全体的に大切なポイントを覚えて、ずっとどんな事も網羅できるように、そう、もう完全に高橋先生に教わったフォーマットで、どういう繋げ方して書けば良いかっていうのはもう、もうすぐ問題文見て「こう書けばいいんだ」みたいな思い付くのはすぐなんで後は書くだけみたいな。書けるようになったし。面接でも困らなかった。て感じです。杏林とかも800字とかあったけど20分で終わったし。

モチベーションの保ち方ってありますか？

なんか先輩の同じ日大行った、あの去年、谷野さん（谷野菜々子）でしたっけ？なんかあの人が、マンスリー一回載らなかった事があるみたいな。それで悲しかったけど頑張ったって、合格者座談会で言ってて、まあ自分も丁度、マンスリーから姿をフッて消した時、「こういう人もいるんだ！」って思って。「俺も頑張れば大丈夫だ！」って思って、あんま落ち込まないようにしてました、いったん不安になると絶対不安になりますからね、いくらやってても、どんな奴でも。不安はつきもので、ずっとですね。なんかもう「これは〜俺絶対大丈夫だな」って思った事一回も無いです、ほんとに(笑)いつもやべえな、って思いながらやってました。足りないな、って思いながら。余裕ぶっこいたら多分もうソッコーで、すぐに落ちちゃう。余裕はぶっこいちゃダメです。二年目入った時も、医者にならなかったらもう、自分の存在価値が無いみたいな……、やっぱ目指す価値があると思うので医学部は。二年かけても、行く価値が、頑張る価値があるので、ここだと思って頑張れたというか。
んーだから、一年目は昼休みとか、20分休憩とかに、勉強しないで友達と喋っちゃう時間がやっぱ多かったんですけど、二年目からは、そういう時間も勉強に使うようにしてました。友達と話すのは、たまに。それがすごい頻繁じゃなくて、息抜き程度に。あとはやっぱ自分の一人の時間と、自習室の、あの席で座ってる時間。超やる気ない時とかは、英単語見て覚える。手動かす気にならない時とかはそういう時間も、見るだけでもいい。ずっと出来る人もいるんでしょうけどずっと勉強机向かってるのは、やっぱ出来ないアレだったんで。そういう時はでも、離れちゃったらあれじゃないですか。二号館のほうが、やっぱ休み時間とかもあんま話してる人居ないかな、やっぱ朝来るのも早いし、やっぱマンスリーすごい意識してる人も多いし、やっぱ自分より出来る人の方がたくさんいるしっていうその環境でより「やんなきゃ」って気持ちにさせてくれる所ではある、二号館は。までも、本館でも受かってる人は実際受かってるし、本館だったらそのー、周りに流されない事がやっぱ大事、と思います。
代官山じゃなかったら無理ですね(笑)性格的に。何か、気付くのが遅かったんで。「このままじゃダメだ」っていうのを。結構飽きっぽいですし。だから駄目だったんですよ。やっぱり拘束されてたってのが、拘束は必要だと思います。やっぱり、ある程度(笑)。石井先生の授業とかがあって引き締まり、そう、引き締まります。石井先生のあの、迫力というか(笑)あの威厳というか(笑)見透かされてるような気持ちになる、ものすごく(笑)だから雰囲気は、みんな真面目ですよねホント。もう「勉強やるぞ」って雰囲気が全体的にあった気がします。だから、やってない人とかサボってる人とかいると、浮く、何だろう、やる方がスタンダードみたいな「やるぞ！」みたいな良い雰囲気はあったかなと。みんなやってるから。「自分も勉強やるぞ！」って雰囲気。

これから医学部目指す後輩へ一言あれば

んーやっぱ、先生の言う通りにして。あと、暗くなんない。前を向いて、先生に言われた通りのことをやって。勉強していけば絶対、大丈夫なのでそこは、意識して。先生に言われた事を忠実にこなすって事を意識して、あと何だろな。「こんくらいでいいや」っていう事をなくすって事を意識して。そういう意識があると駄目なんで絶対、多分完璧なもの何もない、浪人してる時点で。だから、自分が出来ると思ってる分野も手を抜かずに勉強する事が大切だと思います。
やっちゃいけない事は、まあ「授業切る」は絶対やっちゃダメだと。絶対。(笑)まじで。うーん何だろ嫌いな先生とか出てくるかもしれないけど、まあそういう先生も授業出て、先生が話してる事全部知ってるとか多分無いんで。絶対1個か2個くらいは「あ、そうなんだ」みたいなあるんで。知ってても聞くことで復習とかなったりするんで。切っちゃダメです絶対(笑)。全部、出ました。あっ、小論、一回だけ時間間違えて途中出席になっちゃった事はある。本館と二号館間違えて(笑)去年、二号館だと思って朝、「あれ？」みたいな。時間割見て、本館で。ちょっと遅れちゃった事ある。
授業、全部普通に分かりやすいし。大学の講義とか今聞いてても、なんかもう、「え？結局なに？」って感じなんですけど。代官山の先生みんな分かりやすいんで、聞いてればちゃんと吸収出来るっていうかタメになる事ばっかなんで。それぞれの授業に意味があると思います。

卒業生が語る

合格への軌跡 2020年

WAY TO SUCCESS

日本大医学部	2次正規合格
杏林大医学部	2次正規合格
帝京大医学部	2次正規合格
愛知医科大	2次正規合格

代官山だと、考え方や理屈もちゃんと教えてくれるから、考えて覚える、地頭も良くなる感じ。合格取れたのもやっぱり授業がすごい良かったから。

日本大医学部進学　四ケ所大生くん(世田谷学園高校卒)

10校を一次合格し、4校の正規合格を勝ち得た。

1次は、えーっと、ん、結構通ったんで覚えてないんですけど(笑)。愛知、岩手、北里、昭和、東邦、帝京、あと、聖マリ、杏林って言いましたっけ。あ、日大もそうですし。あと日医の後期。そんぐらいですかね、多分10個あった気がするんですよ、1次は。で、2次来た所は４つ。2次で補欠来たのは1個もなくて、まあ…全部正規だったんで。東邦は補欠来るかなって期待してたんですけど…。グループ討論がちょっとまずかったのかな(笑)。でまあ正規は、愛知と次帝京が来て。で、杏林、日大っていう感じでした。

最初の愛知が受かった瞬間、午後6時ぐらいだったんですけど、ちょうどお父さんが家に帰ってきて。すぐに「受かった」って言って、お父さんが「ああ、良かったな」って言って、こう…なんか抱きしめてました、自分のこと。

大学の勉強は、…友達とか多分、先輩とかから試験の情報もらわないと死ぬって聞いたんですけど、まあ代官山生いるんで大丈夫そうですね、他に知り合いはできてないですけど。今年日大は代官山から7人。７人って多いですよね、松前君いました。島田さんとか、あの人、自分の1個次です出席番号。松前君、いい奴です。八巻君もいました。あそこは仲良さそうな気がするんですけど。あとは金君とかいました、Ｍ１の。あとあれです、神谷さん。あの人もなんか前の予備校で一緒だったんですけど、こっちに移ってきたんですよね。多分自分が現役のときにM○クス行ってたときにもいたんですよ多分、あの人。僕が移ったときに一緒にこっち来たって感じで。結構あれですよ、M○クスから来てる人、何人かいますよ。水谷さんとかも。

強制的にでもやらせてもらって、質問にも行けて、伸びる感じもあった。

1浪のときに北里だけ1次受かって。2次面接でのペアが名前言っていいのか分かんないですけど、関口大誠君（2019東邦大進学）、僕と同じタイセイで。ああ、この人、この人です(攻略本を見て)。で、その人が代官山MEDICALって言ってて。面接も結構よさげで、あ、代官山すごいんだなっていうのがあって。意識高そうだなって思ったんです。そうですね、何でしょう、完全に負けた気がしたんで覚えてました、代官山…。それにやっぱり合格実績を見ててやっぱり、あ、すげえって思って。

ここに来る前の１浪目はまあやる気が足りなかったっすね。やる気ないっていうか、何なんでしょう、うーん。現役の夏ぐらいからここの近所のM○クスってとこで、そのまま1浪もって感じで。なんか結構あっちは自由に、割と自由なとこで、自分ですごい質問に行ったりとかそういうやる気がある人はいいのかもしれないですけど、自分からっていうのがちょっと…。逆にこういう所来て、なんか本当に、半分、強制的にでもやらせてもらって、それだとなんか自分でも行きやすいっていうか、伸びる感じもあったんで。多分、性格的にこっちのほうが合ってたと思います。

まあなんとなく１浪で、まあ帝京ぐらいは受かるかもしれないみたいな。そんなに高い所、行こうっていう目標もなかったんで、まあ低い所でもって思ってたら普通に落ちちゃった。フッフ。そんな世の中甘くないですよね。すいません。フッフ。まあ今年は４つ受かれば十分。でも正規だけっていうのはちょっと、ちょっと悲しい。悲しいっていうか、できれば昭和とか東邦とか、ああ、そう昭和結局2次行かなくて。北里と昭和と岩手が三つ、2次同日にバッティングしてて、で北里行っちゃったんですよ。やっぱりそこで受かっときたいっていうのもあって。まあ落ちたんですけど(笑)。ハハ。北里の補欠170番ぐらいでしたから。へへ。まあ、確率的に同じなら、何でしょう、一つは決めておきたかったんで。まだその頃最終合格はできてなかったんで、焦りも…。まあ結果的にはいいかなっていうふうには、はい(笑)。

最初の頃はこんなに授業受けたことなくて、1日でへとへと。へとへとになって寮ですぐ寝ちゃう。

僕はあんまり友達と付き合いとかがなくて、友人ゼロだった(笑)んですけど、今年、今泉君が話し掛けてくんなかったら多分ゼロでした。フフフフ。今泉君が唯一の。そうですね。高校の友達以外だともう本当に唯一です。フッフッフ。フッフッフ。うーん、まあ、これ自分のせいですけど、友達があんまいなかったってい

うのはきつかったですね。まああとは何でしょう。あ、授業数がすごい多かったんでやっぱり。そのおかげで受かったっていうのはあるんですけど、やっぱ最初のほうは純粋にもう1日終わったらへとへとで、本当にきつかったです。こんなに授業、受けたことない。だってあれですよ、だって朝の9時？9時から夜の9時まで、全部じゃないにしても5コマ、6コマ入ってたりして。もう死ぬかと思いました。フフ。死んでないです。寮で良かったですよ、近いから。へとへとになって寮ですぐ寝ちゃう、割と早く。ゲームとかしてる暇はなかったですから。一応、持ち込み禁止だったですし。朝は食ってない。そもそも朝食べない人なんで。でも親はそれを改善させようと思って、寮に入れた…。まあそうですね親としては多分そういうことを思ってくれたと思うんですけど、ちょっとまあ、朝は食事より睡眠って感じでした。

代官山だと、考え方や理屈もちゃんと教えてくれるから、考えて覚える、地頭も良くなる感じ。合格取れたのもやっぱり授業がすごい良かったから。

まあ1浪目は完全に勉強不足でしたね。多分、授業の質も、まああれなんですよ、自分の意欲とかもあるかもしれないですけど、でも授業の質も全然、ここは違う。えー何でしょう、なんか受けてるだけじゃあなくて、なんか地頭も良くなる感じ、です。多分その、「覚えろ」とかじゃなくて、考え方とか理屈とかもすごい話してくれて。結構覚えろって言われることが多かったりとかするんですけど、でも代官山だと覚えるだけじゃなくて考える、考えて覚えるとか、そういう理屈とか、公式の定理とか導入とかもちゃんとやってくれて。で、うまい感じにその授業でちょっとした課題みたいなのがあって、それを自習でやってるとさらに、何でしょう、頭も良くなるし勉強もできるようになるみたいな感じで。だからレビューテストちゃんとやってましたよ。レビューは僕の担当の先生が、じゃあ次までにこれできたらやってきてみたいな。まあ強制じゃないですけど。そういうの言われたりとかするとなんか、おー、やるかみたいな。まあ割と言われたやつはやってました。好きなんですよ、まあ、合格、取れたのも、やっぱり授業、自分は授業の、テキストももちろんそうなんですけども授業がすごい良かったです。

今年学習意欲を持てたのは、面白くて興味が沸いてくる先生達の授業のおかげ。

数学は、そうですね、山室先生の授業の夏、あれはなんかベクトルそこそこ自信あったんですけど、受けてみたら結構知らない知識多くて。いや、おーって感じ。なんか自分、結構、何でしょう、計算面倒くさいことも、わーって全部やっちゃう感じだったんで。へえそんな簡単に解けちゃうんだみたいなのは結構楽しくできたんで良かったです。うん、すごい役立った、あれは良かった。それにまあやっぱ典さんと薄先生も個人的には好きでした。割と二人は対称的な感じもするんですけど。典さんは、なんかすごいいろんな解き方をめっちゃ教えてくれてたんで。いろんな選択肢があって、自分的にはそっから何を、そっから自分の好きなやつを選ぶってのが好きだったんで。いっぱい選択肢がもてるっていうのが良かった感じ。あと何ていうんでしょう、教えるだけじゃなくて、みんなが解けないと「さあおまえら解け」みたいな感じでなんか分かるまで解かされたりっていうのがあったんで。だから延長もあって。でもあれも僕は好きでした。なんか自分で考えるっていうのを結構、学んだんで…。薄先生はなんか、一番なんか近道教えてくれるっていう印象があって。まあ、あんまり最初はそういうの好きじゃないなと思ってたんですけど。でもすごい単純明快っていうんですかね、そっか、これが一番いいやり方なんだっていうのが見えてきて、自分のやり方もちょっと修正して。あと、その典さんで学んだいろんなやつを自分なりに作って、さらにそれをなんか薄先生のやつでこう、さらに速くするみたいな感じで精錬されましたね。

結構、今年伸びたと思うんで。先生のおかげ、もう本当にそこは。多分、一番、まあ物理もそうですし、化学も本当にすごい伸びたんです。僕は前の予備校、全然分かんなかったんで。もうだんだん辞めて、結局全部マンツーにして。で、マンツーでも分かんなかった。

だから本当になんか、全体的に質が違う気もするんですよね、先生の。分かんないですけど。個人的にそう思うんです。

結構いろんな予備校、行かされてたんで。なんかいろいろ…。もう結構、S台も、ちょっとT進も受けたりとかいろいろやってて。そういう所も行って、あと、まあ個別系だと本当に多分、名前も知らないような近所の個別とかも行ってたりとか。ほんと全然、質が違う。うーん。まあその、自分がすごいやる気、今年はやっぱりちょっと自分でいうのも何なんですけど、学習意欲を持てたっていうのは、本当に全然違うなって思いました。それは、なんか先生達の細かさとか。本当に。授業ですごく興味が湧く。興味が湧くし、本当に自分で勉強しようって気も起きます。本当、面白かったです、授業。それで一気に伸びた。なんか代官山にきて、そういうなんか勉強が嫌じゃなくなったってのはありますかね、なんか。そうなんですよね。もう結構、楽しくなったっていうのはありましたね。

昭和も杏林も特待合格。嬉しくてスクショしちゃいました。

進学は昭和なんですけど、コロナの影響で入寮も9月からになってて。まだ顔もあわせてないんですけど、大学から名簿は来たんで見ましたけど、代官山結構いますよ(笑)、代官山6人ですよ(笑)。二次面接行ったのが、愛知、えーっと東邦、杏林。慈恵も2次受けて。あと一個…あ、東北医科薬科か。で、結局、昭和特待。愛知正規。杏林優等生、杏林は優等生合格みたいな、1000万免除になるやつ。数学のおかげで(笑)、確かスクショしたやつがあったはず。（杏林のスクショみながら）成績優秀者として合格ですって書いてあります。ほら、書いてあります(笑)。東北医科薬科が一般で合格、二次出たのは合計は、愛知、昭和、東北医科薬科、杏林。の4つ。

両親とも1浪で昭和なんで。受かんなきゃヤバイなっていうのがあって。昭和に入りたくて。なんていうか生まれたときから入りたくて。父と母の後を継いでいくみたいな。両親とも昭和だし同級生だし。おじいちゃんも昭和なんですけど慈恵とかまわってきたら、おじいちゃん死んじゃうんじゃないかと。で昭和特待が取れたので何も問題なく。だいぶ両親は喜びました。

初回のクラス編成では思うように点が取れなかったけど、次のマンスリーで挽回しM5からM3に上がれた。

最初クラス編成？、で最初、M5スタートですね。いや問題がむずくて、何ででしょうね。やっぱり難易度が高すぎると俺でも解けないっていう。化学得意っていう割には50切ってますし(笑)、これ、数学無かったら酷いことになってましたねー。一応申し込みの時にMクラスで申し込んだんですけど、Ｍ５って、ギリじゃないですか(笑)。まあ一数学様様でしたね。英語が42.8ですし…普段通りですね。化学と物理でも計算ミスしたのかな。いやーそもそもがなんだろう。問題が一線超えてたっていうか。手も足もつけられないみたいな。考えようがないって感じで。むずかったっす。特に物理とかは回路とかマジ無理だったんで。あ、コンデンサー終わった！みたいな。一瞬塾辞めようかと思ったくらい。やべーやっちまったって感じ。いやー初めてのテストでまあこんなもんかな？って思ってたら、うわーって感じ。期待はあったんですけど。それから次のマンスリーまでの時間はここはヤバい奴の集合だって思ってました。

2回目のマンスリーは、すごく成績上がったんですよ、問題簡単になった気がして。授業の復習もしっかりしたんで、理科はしっかり取れました。数学は俺の自力です。数学は正直勝因は積分が出なかったことですね。物理はまだ、なんていうのかな、分野で得意不得意があったり全体的にまだ弱かった。物理伸びたのはやっぱりマンツーとったっていうのもあるかな。1学期は何とかなると思ったんですけどね。周りができすぎて何とかならなかったので。やっぱなんていうか苦手なところはどうしても得意になれなくて。例えば電磁気はどうしても原理が分からない。そこをマンツーでやってもらったんです。授業では解けるんですよ。夜間とかも割とやれてたんですけど。マンスリーだと取れなかったり。予習とかもバリバリしてましたけど正直実感なくて。2学期にM3に上がって、M3は問題むずいんですよ、ウィークリーも…。いやー多分、村長（宮田：日本医科大進学）くらいじゃないですか？その辺の物理マニアが解けたーっとか言ってて。んー、村長は結構ウィークリー頑張っていた方で。物理は全然かなわないっすよ。

化学は現役時代得意科目だと思ってましたけど、ここでは最初偏差値46みたいな(笑)。

息抜きはしても、熱出ても授業はサボらなかった。

俺予備校ここじゃなかったら遊んでた(笑)。遊んじゃうっていうか、まぁなんだろ、自習席で隣の伊藤さん（伊藤友梨那：昭和大医学部進学）とか滅茶苦茶やってたんですけど、そんな感じ間近に見てて。でも友達になったのは四ケ所（四ケ所大生：日本大医学部進学）っていう奴で。あいつよくサボるんですよ、だからあいつに４分の３は「居ろよ。」って言うんですけど４分の１はあそぼーぜって感じの奴だったんで。遊びというかまぁ山手線一周(笑)。四ケ所と二人で山手線一周してました。いいリフレッシュになりましたって言えばいいですかね。逆にそのぐらい息抜きさせないとあいつ来ないんで。いつかポケモンが出た時３日くらい来なかったですから。もちろんそんなしょっちゅう行ってないですよ。たまに。でも授業サボることはしなかったです。熱でても授業受けてましたし。でも一回テストで40℃出てそのとき唯一休みました。9月の頭のマンスリーです。38℃くらいじゃ行ってましたけどね。元々そんなに熱は出ないタチなんですけど凄く勉強してたんで疲れてたんですかね。

受験直前には、まあ先生にオススメされた過去問を矢島(矢島瑞己：昭和大進学)と解いてました。あいつ英語できるから、どのくらいの時間配分で解いてるとかよく話して。俺が飛ばしてた作文は絶対とかなきゃ駄目とか言ってくれて。あと数学は教えたりしてました。

自習室は気が付くと時間が死ぬほど経ってたくらい集中して勉強できる場所だった。

俺は自習席でずっとやってましたね、四ケ所相手する以外は(笑)。気がつくと時間が死ぬほど経ってたっていうか、そんなに朝早く来る方でも残る方でもなかったですけど。まぁやっぱり今までのなかで、なんだろうな、あそこ(自習席)ほど集中できる場所はなかったですね。自分の家だとWi-Fiがあるんですけど、自習室はWi-Fi入らないんで。そもそもスマホ禁止なんでYouTube見れないし。すごく集中できてましたよ。２Fの奥の右で、矢島が裏にいました。ほんといいとこです。静かだし。かなり集中できましたね、隣にめっちゃやってる伊藤さんとかもいるんで。

物理は原理の理解に重きをおく先生達の授業スタイルに影響を受けた。

マンツーマン入れた理由は、自習してて、問題解いてるだけじゃなくてもっとやりたいなと。「解ける」だけじゃダメなんですよね。寺澤先生とか小澤先生とか野村先生とか全部原理大事にやってくれるんですよ。だからその授業聞いて、俺はもっと根本を理解しないとダメだなって思って。先生達がわかりやすすぎて自分で説明するほど理解できてないかもと思ったんですね。わかるわかるわかるって思って後で見てみるとあれって、ノートは全部取ってましたけれど、みたいな感じで。授業でも当ててもらったり質問するんですけど、もっと先生を独占して議論したいな、その方が早く身につくかなって。こうじゃないんですかとか。説明されてその時は全部わかっちゃって、気持ちよくなって、あとなってみるとわかんないっていう、一番めんどくさいタイプですね。ちょっと人と思考が違う？ってか、まあ俺の生き様ですけどね。

田山先生にマンツーマンやっていただいて、ほんと良かったですね。 なんだろう…、合わせてくれるとことか。物理だと人によってやり方とか違うじゃないです

か。先生は自分的にはこう思うって言うと、じゃあそう考えるんだったらこうするといいよねって、返してくれるんでやりやすかった。自分のやり方を押し付けないっていうか。わかんない時は自分のやり方で説明してくれますし。マンツーマンでしかできないことをやってくれたって感じですかね。

初めから物理はちょっとひどかったですね。高校の時もかなり苦手で。メディカルLでも正直、間に合ってなくて。でここ来て一から頑張ってサマになってきたかなと。そもそも覚えるの嫌いで、物理覚えるのも大事ですけれど、理解して使わないと。いつどこで何を使うのか。それを理解しないと。まあ覚えてもいいですけれどそれだと応用きかないし。覚えるのではなくて原理をちゃんと理解させるっていう先生の授業で本質的にやれたかなと。だから授業でやった類題を解くっていうレビュー課題を繰り返しやって復習してました。

英語は生理的にも無理な位キライだけど、石井先生に言われて勉強時間7割を英語に。

選んだ理由は母親の強い押し。なんだろう。知り合いの娘さんが入ってて。山藤さん？（東邦進学）が合格していいよって。後、母親が石井先生話聞いて、なんかこんな人、他にいないって言ってましたね。ここに行きなさいって。全てをあの先生に委ねなさいって。じゃあ行くかって。なのに俺の英語が伸びない…、そうなんですよね。英語はもう中学ぐらいから無理だって言ってるんですけど。いままでも他の先生が伸びしろしかないって言って伸ばしたがるから、頑張ってはきたんですけど。石井先生はやっぱり、皆さん言うと思うんですけれど、受験関係のこととか結構言ってくれて、面白い先輩の話とかこんなすごい人がいたよーとか。石井先生の話聞くと勉強したくなると言うか。すげえやる気になるんですよ。 だから、勉強時間7割英語でしたから。石井先生がこれやれって言ったやつはやりましたね。ウィークリーとか、課題も。特にウィークリー、一週間みっちりやってましたよ。先生との面談後から毎回25点(満点)取ってます。石井先生との面談でウィークリーの対策いつやるかって聞かれて水曜日くらいからですかねって答えたら、それでは満点は取れないだろ、って言われて。普通、ウィークリーが終わったその月曜日からやり始めるだろって。でもマンスリー伸びないんだなあ。最初のうちはずっと50ちょいをウロウロ。石井先生の問題チョイスが絶妙で、実力が完全に出るっていう。他の先生もわかりやすくて面白いけれど、英語なんだよなーって。いやーちょっと生理的に無理ですね英語そのものが。巷では英語以外を完璧にして合格するっていう奴がいるって聞いたんですけれど…。そういう人に言っておきたいのは、日医と慈恵は受かんない。それ以外だったら何とかなる。 ほんとそうですよ。ふざけんなって思いますけどね。 ウィークリーは英語以外はあまり力

入れてなくて、数学8点とかありましたよね、採点の先生に、おい！やべーぞと答案に書かれてた気がします。字汚かったからかな？慈恵とかも時間ないんで、でも慈恵1次出たっていうことはあの字読んでもらえたってことなんじゃ？。一応書けるだけは書いたからかな？

代官山イチ頑固者と揶揄されていたけど、高橋先生の課題は毎回素直にやってました。

俺、日本語も怪しくて。そこはもう１学期から小論で高橋先生にみっちりやってもらいました。まずはひたすら書かされましたね。ずーっと2学期終わるまで毎回やってました。じゃあ今日はこれだな、はい解きますっていう感じ。まあ、代官山イチ頑固者と言われましたからね。マジで。そのおかげもあって割と何でも書けるようになりましたね。課題で出された読書感想文もそれで書きましたね。めっちゃ効果ありました。

先生達は本気で相手してくれるし、わかりやすく教えてくれて、高校の遅れはなんとか代官山で取り戻せた。

数学は、復習より予習に力入れてましたね。授業中ノートは完璧にとってました。まあよくご存知だと思うんですけれど。俺めっちゃ数学出来るじゃないですか。最初M5の時、薄先生は最初はいやいや、分かんなくていいよ、僕の言う通りにやればいいよって感じだったんですけれど、M3に上がったらマジで、ほらやれみたいな、本気だしたみたいな。薄先生の所に質問行くと、君すごいねっていう時もあったけれど、君何やってんのってなったり。やっぱ本気で見てくれてる感があって良かったですね。平パンの授業は楽しかったですね。まぁ、確率だったっていうのもあるんですけれど。確率は無双してました。普通に教え方も上手いし、なによりわかりやすく面白く教えてくれるんで。山室先生の計算トレーニングも一番役に立った気がします。計算トレーニングって実戦じゃないですか。先生裏技使ってきたりするんですよ。　先生がぼそっと紹介したやつでも、試験の時にこういう時に使えるのかって。杏林何分か時間余りましたし。俺10分は余りました。で、特待。一番伸びたの、ま、正直数学だと思います。数学元々好きだったけど、さらに伸びたと思います。高校の時は周りが数学できるんでガンガン進んじゃって、俺は遅れちゃったんですよ。それでメディカルLっていうマンツーマンの塾に入ったんですけれど、まあ頑張ったんですけれど、先生からも凄い出来るって言われたんですけれど。　自分の中ではわかんないことが多くて、腑に落ちないところが多かったですね。高校の時の遅れはなんとか代官山で取り戻せた感じですね。

今までの人生で一番頑張ったかなって。代官山には実際12時間以上いて缶詰の環境だと勉強せざるを得ないんで。

まあまず先生に質問しやすいってことかな。授業中とかでも。夜間とかでも、先生方回ってくれるから先生って呼びやすいし。やっぱりなんか、面と向かっていると気を抜けないんでその状態で解くって、俺はそれがすごく良かったです。オンラインとかだと絶対マルチとか回しながらやってるんで、やっぱり気は抜けちゃうんですよ。face to face じゃないと駄目って、ほんとそう思います。

まあ、後はみんな真面目で程よく不真面目だったんで。分からないこととかも話し合ったり普通にするし。なんか。ご飯うまいねーとか話したりとかほどよく雑談というかしてたんで。楽しく授業とかも受けられたかなって。

まあ一番ここで気に入ってるのはマンスリーの順位が出るじゃないですか。それがやっぱりやる気になると思うんですよね。やべえあいつ上位いるとか。この人上がってきてるなとか。だいたい俺順位が出たら上から覚えてるんですけれど。　あいつ何位だなとか。最近上がってる人とかやらかしてる人とか。結構気にしてはいましたね。自分が失敗した時はこんなに上いるなーとか。自分の励みにしてましたね。

あと、ここに来てよかったのは、一日中いることですね。こんなに朝から晩まで実際面倒みてもらって、いさせられる所ってないんじゃないですか。代官山には実際12時間以上いるじゃないですか。そういう缶詰と言うかそういう環境だと勉強せざるを得ないんでそういうのはいいかなって。まあ、合わない人もいるかもしれませんけど。でも楽ですよね、周りがやってるから自然と自分もやろうと思えるし。それにめっちゃ厳しいぐらいのとこで少しだらけても、厳しいぐらいになるぐらいじゃないかと。代官山って厳しいですからね。自習席にコンセントないし。それが一番きつかったかもしれません(笑)。

まあ、父親とか母親に受験の時のこと色々聞いたんですけれど。母親は一浪の時が一番頑張ったって言ってて。正直これから頑張る時ってあるかどうかわからないですけれど。まあ、自分の中ではここでちょっとは頑張ったかなって。少なくとも今までの人生でいうと勉強に関しては一番頑張ったかなって。

卒業生が語る

合格への軌跡 2020年

WAY TO SUCCESS

東京女子医科大　2次正規合格
愛知医科大　2次正規合格
東北医科薬科大医学部　2次合格

去年まであんなにつるんつるん滑ってたのに、今年はこんなにも引っかかるなんて。

東京女子医科大進学　古田貴栄 さん(宝仙学園高校卒)

去年まであんなにつるんつるん滑ってたのに、今年はこんなにも引っかかるなんて。

一次が愛知、女子医、昭和、東北、帝京、あと一校、聖マで、6校です。で、正規が愛知と女子医で、補欠で来たのが東北医科薬科です。帝京はそもそも2次受けられなくて、女子医とかぶっちゃってたので、もうしょうがないです、はい、もう（笑）。女子医の時は解けたっていうか、最初パッと見で、うわっ解けないかもしれないって思ったんですけど、割と手を動かしたら、あれ、行けそうって。あっ、薄先生にも驚かれました、女子医正規でした、って言ったら、えっ、数学解けたの？って、言われて(笑)。私もそう思いました。なんか解けたんです〜(笑)。

今年、一応最初に受かったのが愛知なんですけど、一次が出た時に、わー受かってる！！受かるんだ！私なんかでもって感じで思って、そっからなんか面接がすごい圧迫だみたいに聞いてたところだったんで、なんか大丈夫？って感じで行ったら、意外となんというか優しかったというか、雰囲気がそんな、私圧迫されてることに気づかなかっただけかもしれないんですけど、普通に話してたんで、こんなんで2次試験って大丈夫なのかなって思って不安だったんですけど、でも正規出たって分かって、あっ、じゃあ意外とちゃんと答えとけば大丈夫なんだなって…。

お母さんには、去年まであんなに、つるんつるん滑ってたのに（笑）、今年はこんなにも引っかかるなんてね、みたいに言われましたね（笑）。現役、一浪とほんとに一次も何も通っていなかったんで、いや、なんかこんな感じ、なんか受かる時ってこんな一気にいくもんなんだなって。

先生達と直接話せるというか、話す機会がたくさんあって、ここはなんか過ごしやすいなって

去年…、というか高校1年生の頃からY学院にずっと行ってて、辞め…辞め時を見失ったわけじゃないんですけど、なんか医専があることはわかってたんですよ。そういう予備校が存在することは知ってたんですけど、でも3年半とかお世話になっているからここで受かったほうがいいのでは？みたいな気持ちがあったんです。で、一浪を過ごしてみて変わらない、私なんか去年と変わってないなって思って。一浪までその…3年以上長くY学院にいたんですけど、それでも先生とそんな一対一で話したりとかできなくて、ずっと先生に質問とか全然できなかったんですよ。自分でもその…、わかってないのがあるのに解決できてないのがあるってわかってて…。まずはそれを無くさなきゃいけないなって思ってて…。だから代官山に来て思ったのが、既に自分を受け入れられてるっていうか、先生達と直接話せるというか、話す機会がたくさんあって、ここはなんか過ごしやすいなって思いました。そうですね（笑）、振り返ってみたら質問も悩み相談もここでは全然してたなーっていう。全然マンツーとかじゃない先生の所にもすごい（笑）。なんかやっぱ雰囲気というか…、すごい良かったです。だから自分でも勉強してて安心していうか、頑張れる感じになれてました。

1浪や現役のときは、自信が持てなかった。

一浪の時とか現役の時とかやっぱ、ダメだダメだなぁって思ったっていうか、振り返って一浪の時、夏は一番大事だみたいに言われて、これをしてって自分で計画立てるんですけど結構最初の方で、きつきつに予定を入れててそれが越えられなくて、あ〜もう自分ダメだなみたいな、これぐらいもできないなんて受かるわけないよっていう気持ちのまんまで入試会場に向かって。そうするとやっぱ全員頭良く見えるんですよ。もう自分より遥かに出来るんだろうなって思っちゃって、さらにひるんじゃって…。朝イチの科目ができないと、あ、もうこれ後のヤツ受けても意味ないじゃんって、本気で解いてなかったんですよ。そういうのがすごいよくなかったなって思う。自信が持てなかった、そうですね。もう全然、全然なかったです。

クラス替えをすごいきっちりやっててびっくり。同じ目標があるところに来てよかった。

一年目にいた予備校は、なんか、その一応私立医学部コースとか分かれてるんですけど、でも実際全然…もう文系も理系も混ざってたんで、しかも文系の比重の方が多くて、もう英語の授業とかは、ほぼ早慶志望の中に私いるみたいな。もう本当に形見狭かったです。半年に一回くらいのペースでクラス分けテストの大雑把バージョンみたいのをやります（笑）。しかも自己申請なんです、上に行きたいか否か。力なくても上行きたいって言えば、ある程度行かせてくれる感じでした。割とざっくり…。適当だったのって、なんかここに来て思いました。なんかここはすごいきっちりやってるから、なんかびっくりしました。ははっ。うわ、すごいと思って。こんなところあるんだな、って思って。すごい細分化されてる。ウィークリーもマンスリーも貼り出されて、ははっ、いや、ほんとに。なんかやっぱ、来てよかったなって。みんなが同じ目標があるところに来てよかったなって思います、本当に。

あっ、そうそう、最初のひと月はめちゃくちゃ大変でしたね、もう。あんなに勉強したことなかった（笑）。いやもう、ほんとたくさんやりました。去年はもう大手というか大きい予備校だったんで、やっぱ、現役生が後の方の時間に入ってくるんで私たち浪人は朝と言っても、いつも9時半から遅くて18時半がマックスだったんですよ。いられる時間が。でそっから先は、全部自習だったんで、自習といってもその頃の集中力散漫な私に出来るわけもなくて（笑）。だったんで、それがここに来てずっと朝から夜までちゃんと先生が見てくれる時間があって。ほんとに１週間終わるまでヒーヒーでした（笑）。やることも決まってるし、それがちゃんとやれるようになるまでは辛かったですね。とにかく忙しい（笑）。

自分の立ち位置がわかって、あとどれくらい頑張らなきゃだめなのかを感じられた。

ここは、クラスがちゃんと分かれてて、自分の立ち位置がわかる。ずっと自分が医学部受験する人の中でどのポジションにいるかも全然分からなかった。その、あと少しで受かるところにいるのか全然ダメダメなのかすらも分かってなくって、ずっと手探りでやってたんで。自分がいるのがこれくらいだからあとどれくらい頑張らなきゃダメなのかとかを感じられたのが良かったかな。ここまで、なんというか、ちゃんと朝から夜までギチギチに授業が入ってて、本番でも出るような問題とか確認事項もちゃんと載ってるしっかりしたテキストでみたいな。それに先生がどの先生もすごい、マンツーじゃなくても、優しく教えてくれるし、みたいなところは、あんまり予備校そんな行った個数ないんで知らないですけど、前までいた場所と全然違ったので、やっぱよかったねってお母さんと言ってました。

先生達もすごいよくて、優しくて、個性的で(笑)。

良平先生は、もう聞いたことがないような単語まですごい列挙してくれるんですよ。それが出るのか出ないのかわからなくても、ちょっと楽しくて、私の中で。長文の中でその単語がちらっといたりするんですよ。あーいる！って思って。そういうのが楽しくて、というか、面白かったです（笑）。しかもすごいテンポが速くて。淡々淡々と。で初回の授業で、予備校生は結構どの先生が信用できるかみたいなのを見定める節があるけど、そんなことしてる時間はないんだからみんなは授業を受けて、やってくれてる先生を絶対だと思ってちゃんとやりなさいみたいなことを言ってて、わぁーすごい！こんな事言う人いるんだみたいな、そんなバッサリ言う人なかなかみたことなくて、私。あ、じゃあやろうかなというか、普通にちゃんとやってみようって。

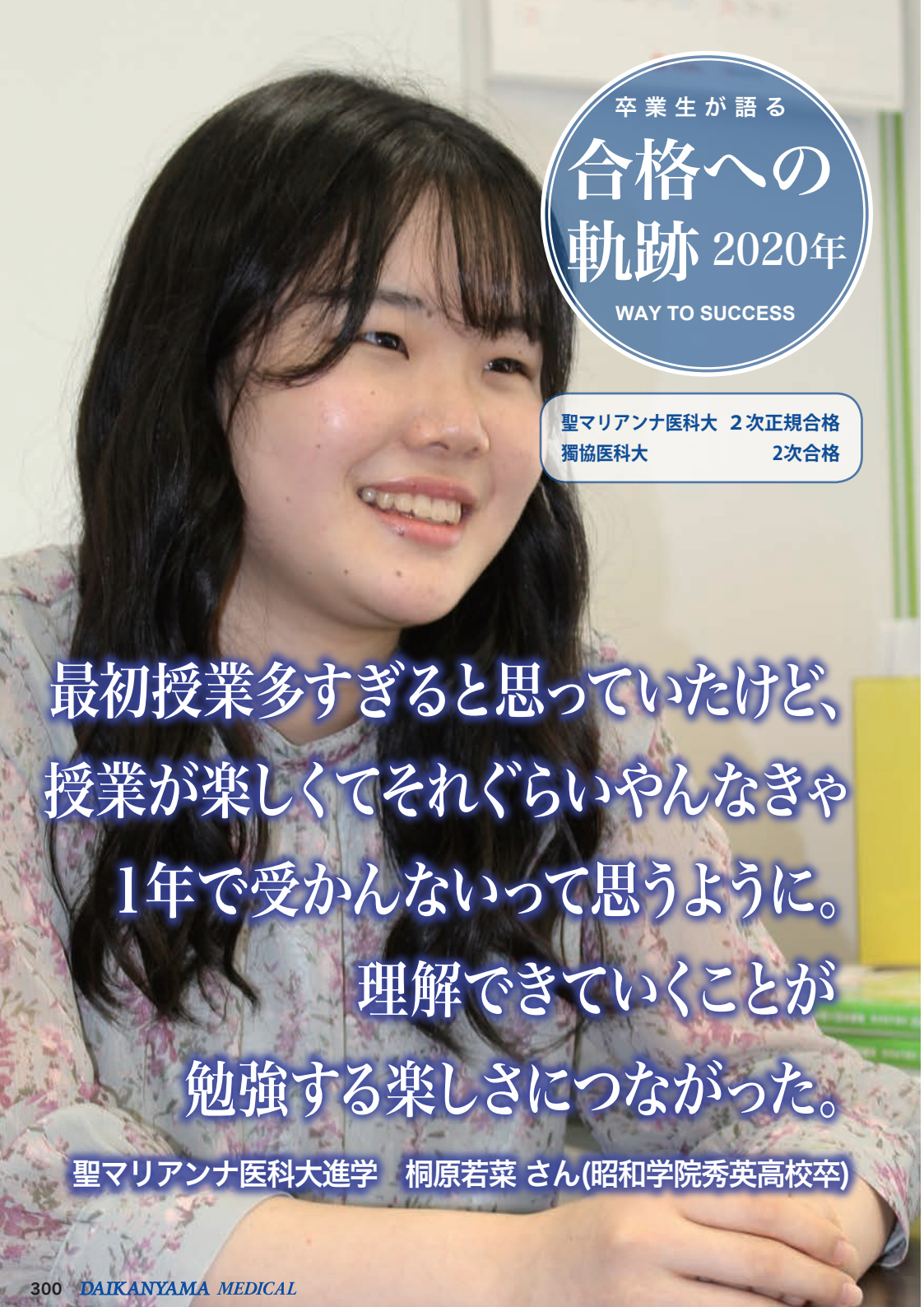
数学の典先生は、ずっと私が本っ当になんにも全然できなくても「教え甲斐がありますね」って言って教えてくれてたんですよ(笑)。優しくて、ほんとにありがたかったです。

私なんか受からないよなんて、思わない方がきっといいと思う。

…なんか多分、諦めなければ大丈夫なんじゃないかなって思ってます、私は。だって秋のマンスリー数学18点でしたし、東北医科薬科も2割を切ってたんですよ絶対。数学大問１で、解けないくせにあほみたいに時間を使ってしまって。多分取れても2割なんです。それでも補欠回ってきたんです。試験終わった後に諦めそうになったんですけど、もうだめだわみたいな。すごく思うんです、私なんか受からないよなんて、思わない方がいいと。あと、どうなんだろう。人によるかもしれないんですけど、自分の自習の席があるんでそこでやっていったらいいんじゃないかなあと思います。なんとなく自習席にいない人とかたまにいるじゃないですか。あれはあんまり…、かなぁ。決まった場所あるならそこで。入試も決まった席で解かなきゃいけないんで、私は決められたとこでやってた方がいいんじゃないかなーって思います。私がそれでどうにかなっただけかもしれないんですけど。

友達を目標にしたり、あわよくば勝てたら…、一緒に頑張れる友達の存在は大きかった。

生物は前原さん（埼玉医科進学）がすごかったんで、前原さんを目標にというか、あわよくば、勝てたら嬉しいみたいに思ってて、石津（聖マリ進学）が数学とか私があまりにもできなかったんで、私よりもできるんですけど、追いつけたらなーって。一番最初に仲良くなったのが、その2人で。なんか予備校でできる友達っていいなって本当に思ってます。去年はずっと一人だった…。仲いい人なんてそんな…。代官山ではなんとなく楽しく一年すごせたかなーって思います。友達の存在も大きい。あーもうすごい一緒に頑張れるって大きいと思います。たぶん私がストレスとか感じずにいられたのもたぶんよくわかんない問題のことも人と喋って、成績も追いつこうとしたり、負けないぞってそんな感じで高め合ってたからかもしれないなーって思ってます。一人で頑張れる人はきっといると思うんですけど、私はそうじゃなかったみたいなので、友達と話すのがすごい楽しみというか、というのもあって毎日ちゃんと来てたっていうのもあるので。



卒業生が語る

合格への軌跡 2020年

WAY TO SUCCESS

聖マリアンナ医科大　2次正規合格
獨協医科大　2次合格

最初授業多すぎると思っていたけど、授業が楽しくてそれぐらいやんなきゃ1年で受かんないって思うように。理解できていくことが勉強する楽しさにつながった。

聖マリアンナ医科大進学　桐原若菜 さん(昭和学院秀英高校卒)

受験の結果は、一次は聖マリアンナ医科大学と獨協、二次も聖マリと獨協で、えっと、聖マリ正規で、獨協は番号なしでしたけど4月1日にきました、1日(笑)。

聖マの面接は、すごい圧迫、圧迫っていうかすごい怖くて。最初面接室に入る時にドアをガチャン！って閉めちゃったんですよ、離しちゃってドアノブを。それでパニくっちゃって。質問も好きな本って何？って質問からどんどん深く聞いてくる…、突っ込んでくる感じ。どんどん臓器移植の話に移っていって…もう泣きそうで(泣)。で最後に自己アピールって言われちゃったんですけど部活の事を自己アピールにしてたから、なんか同じこと2回言っちゃった。終わった後は帰りながら大泣きしてました(笑)。そしたら正規(笑)。もう泣き笑いで(笑)。

最初授業多すぎると思っていたけど、授業が楽しくてそれぐらいやんなきゃ１年で受かんないって思うように。理解できていくことが勉強する楽しさにつながった。

代官山MEDICALに入った時のクラスがA6で、A5に上がってA3。最終的に2号館のはずだったんですけど行かなかった～。結局ずっと本館暮らし。でも本館の自習席いいとこだったからよかったですよ、一年間。なんか上がりたい上がりたいって気持ちのまま一年間をずうっーと過ごしてたからそれがよかった。本館は先生いっぱいいて、質問来やすいし。最初は生活に慣れるのと、授業の多さと、やることの多さに慣れるのに必死だったけど、すぐに充実、すごい充実してました。1ヶ月ぐらいで生活には慣れたかな。最初授業多すぎるって思ってたけど、授業楽しかったし、それぐらいやんなきゃ1年で受かんないしって思って。授業楽しかった、石原先生とか緒方先生の授業が結構好き…。緒方先生は結構当ててくる感じだったから、覚えておかなきゃとか、いい刺激っていうか、次当てられた時は答えられるようにしようって覚えられたし、石原先生はすごい説明が丁寧だったんで、聞いててすぐ納得できた。授業中もそうだし、質問行っても丁寧に分かるまで何回も説明してくれたり。すごい何だろ、自分が理解できるようにしてくれたのが良かったです。理解できると楽しい、勉強が楽しい、楽しく勉強してました。寮でも帰ってご飯食べながら資料集見てて。いやなんか、勉強好きっていうよりも、ケータイとか見ると罪悪感があるから、何かしらしようと思った時に、生物の資料集見てるのが一番、何だろ、楽っていうのも変だけど、落ち着く？なんか罪悪感もないし、勉強も出来るしって思って、結構資料集見てました。毎日持ち歩いてたんで、もうボロボロです(笑)。

ある時から自分に厳しくなろうって思うように。責任感を持てるようになった

最初結構わいわいしてたんです、A６の雰囲気もちょっと…、でも何か、あっ！て思って…。節目、節目で石井先生の授業で、群れてる場合じゃないみたいなことをおっしゃるじゃないですか。それを聞いてまずいって思ったり、マンスリーのランキング見てこのままじゃまずい、このままじゃ受かんないかも…、このまま楽しくやってもダメかもなって。自分に厳しくなろうって頑張るように…。最初の１、２ヶ月友達と常に一緒だったけど、切り替えて。お昼もできるだけサクッと一人で食べたり、次のコマ空いてたら昼休み勉強して、次のコマにラウンジで資料集みながらご飯食べたり。あ～そう思うと、私現役の時と比べて成長したなぁ。自分に厳しくなった。自分にゆるく…、高校でもゆる～く生活しちゃってたんで、一人暮らしして自分で朝起きなきゃいけないとか、そういう責任感っていうか、やるべきことをやるっていう、当たり前っちゃ当たり前だけど自分でやらなきゃいけない環境になったっていうのもあって、結構成長？身に付いたかなって。

途中からも一日のスケジュールを立てるようにして…石井先生にくの授業で言われて、あ～そうだなと思って、スケジュールを立てるようにしてからは結構、今週はちょっと生物やりすぎたとか、一週間でも見れるようになったし、結構上手く計画？バランスが取れるようになったかなって。

それにやらなきゃいけないことが常にあるのが、ぼーっとしてる暇がないっていうのが自分には合ってた。拘束されないとやらないタイプなんで。現役の時とかも医専は行ってたんですけど、○○ぜってとこ。結構めっちゃ緩めで、それこそなんか友達とずっと喋ってても何も言われないし、現役ってのもあったのかもしれないですけど。浪人してここに来て、結構違う…。ここはやっぱりなんだろう、やらなきゃって。意識高い子も周りにいたんで休み時間もお昼とか自習室にいる子見て、あー自分も頑張ろうって思えたりしたし、そういう面でも自分に厳しくなれるきっかけが持てて良かったかなって。

マンスリーがあることによって気が引き締まってたから、だらけない

本番よりマンスリーのほうが緊張しましたね。浪人中受験はまだ遠い、まだ先っていうかー、あんまり…。でもマンスリーは自分の一ヶ月の努力を図れるテストっていうかそう思ってドキドキしてました。マンスリーで上手くいかなかった時はしんどかったです。毎回、各教科の先生のとこ持ってって、今回はこういうとこが…、分野とか今月ちょっとこういうところが足りなかったねっていうのを一緒に見てもらって、それを次の、次の一ヶ月に活かすようにしてました。だからマンスリーの前とか、すごい緊張した。あ～今週マンスリーだ～とか、なんとなく沈んでる…ドキドキしながら過ごして、前日の夜はテキストとか資料集が手放せなくなる感じ(笑)。電気付けたまま寝ちゃうぐらい

…、落ち着かなくてテキスト見てそのまま寝ちゃうみたいなのが多かったです。マンスリーがあることによって気が引き締まってたから、だらけないっていう…。なんか順位載ったりすると結構テンション上がってました。

先生方がたくさんいて下さるから、すぐ質問できる。変なモヤモヤなく寮に帰れるから、ちゃんとそれを解決してから帰れた。

青葉先生は夏からマンツーもってもらってましたけど、授業以外でも全部の質問青葉先生のとこ行ってたぐらい好きで、なんか教え方が丁寧だし、文の構造を代官山に来るまで、あんまり考えてなくて…、それを一から、解釈の仕方とかを教わって、読めるようになってきて、長文も最後点取れるようになったかな。

石井先生はやっぱくで、そういう英語もそうだけど、医学部の事とか入試の情報とかいろんな話をたくさんしてくださって、なんか、授業受けると結構こう、話聞くとモチベーションが結構毎回上がってて良かったです。最初は一列目に座れてたんですけど、最後やっぱA3に上がった時には、知らない人たちばっかだったから後ろのほうになっちゃって…。A3になると、知り合いいなかったから…。

村上先生は最初の授業で一年間プリントをやり続けて受かった子がいる、みたいな話を聞いて、その授業後私もプリントをやらせてくださいって。そっから一日一枚やって持ってくように。復習を単元ごとに10枚ずつ位やってて、次の単元やってるときに一個前のできなかった問題も一緒にやるようになってて。それは寮でやることが多かったかな一枚持って帰って、寝る前か朝に寮でやる。英語は８時までやって、１限始まるまでは数学のプリント。村上先生が朝早くいらっしゃってたから、朝やって朝持ってってて。8時半にはいるんでいっつも。受かってからそのプリント見た時あ～こんなにやったんだ～って思って。終わったらファイルが、5センチぐらい？それがもうパンパン！冬はもう入らなかったです、それぐらいやりました。一日一日追加されていくときには意識しなかったけど、あーやったんだなって思いました。村上先生はいつも丁寧で、答えもらわないでやってたんで、分かんない問題は先生が分かるまで解説して下さってたんです。

あとマンスリーで落ち込んでるとき、村上先生すごいおっきな声で、励ましてくれる、くよくよしてる場合じゃないみたいな。だからいっつも村上先生のとこ行って、ダメだったんです～って言ったら、先生がバーッて。それ聞くとスッキリっていうか、毎回、何回も行って、村上先生にガーッって言われると、あ、やんなきゃって思うし。私ダメになると勉強に集中できなくなっちゃうタイプで、成績表を机に置いてずっと眺めちゃってて(笑)。だからこれちょっとまずいぞって思う時は村上先生んとこ行って、喝を入れてもらってました(笑)。

そうやって、先生達との距離がほんと近いというのがすごいよかったです。先生もほんとに多くいらしてて、本当にたぶん質問しなかった日はないぐらい、1日何回もしてた。行くとモヤモヤがすぐなくなる…、すぐ質問できるし、それがすごい良かったです。変なモヤモヤなく寮に帰れるから、ちゃんとなくしてから帰ろうって。先生がこれだけたくさんいてくださる塾はないと思うから、授業も多いし、一年間勉強だけするっていう環境、まあ勉強しかすることないじゃないですか正直。拘束時間長いし。家にも帰るの遅いし、そこから別に何もできないし、なんか遊びにいける時間もないしっていう、それは代官山にしかないって思います。

後輩にむけてアドバイス

やっぱ自分に甘くなっちゃダメかな。妥協？ちっちゃい妥協…これ後でやろうみたいなのが積み重なっていくと取り返しがつかなくなる。一日一日やることを決めて、それを達成するっていうのが大事です。あとはやっぱ先生達がせっかくこんなに近くにいてくださるから、頼れるところは頼って、ペースメーカー的に毎回自分の成績を見せて、悪い時も見せて、毎月改善点を探すっていうのがすごく大事かなって思います。

寮だったのもあるし、遅くてもまあ７時半までには、朝早く来て、朝の時間は大事かなって結構思ってて、夜って授業９時に終わって、10時には出なきゃいけないってなるとあんまり時間ないから、やっぱ朝でも７時とかに来ると２時間以上できるから、そこをやるかやらないかっていうのは、結果に大きく左右したと思いました。周りも見たりして。あ、吉田さんとかも。吉田彩花(聖マリアンナ医科大進学)とかは毎日決まった時間に来てる印象でしたよ。

さっき深瀧先生に会って（合格を）伝えられた時にあーやっと終わったんだなーってやっと嬉しいって思えた。

あ〜代官山の雰囲気だぁ(笑)。やっぱいいな〜(笑)。久しぶりに来て、すごい何か懐かしくて。すごいやっぱこの、講師室に先生がたくさん…。全員いるっていうか、そのみんな座ってて。いつも先生いて質問出来るっていうのが、すごい良いんですよね。私ちょっと他の予備校分かんないんですけど、何だろ。チューターもいるしみんなで頑張ってるって感じ、いいな〜。

一次受かったのは埼玉の前期と聖マで、２次合格が聖マ。補欠で繰り上がりました(笑)。聖マリの繰上の電話がきたときは、もう3月もだいぶ過ぎてたしずっと家にいて、何かもう、ほんとに生きてる心地がしなかったんで待ってる間…、何か意外とふんわり…。あまり嬉しさはなく、しかも結構コロナウイルス流行ってて、外も行けないみたいな感じでした。父はその日当直でいなくて帰って来なかったんですけど、母はめっちゃ喜んでて、私だけなぜか無表情で、なんで？嬉しくないの？みたいな感じで(笑)。深瀧先生に直接受かりましたって言うまで、何か合格出来たっていう実感が湧かなかった…、ほんとに今までずーっとその、深瀧先生のところに質問や相談にも行ってたし、まだ受験生の気持ちが抜けてなかったけど、さっき深瀧先生に会った時に、伝えられた時にあーやっと終わったんだなーってやっと嬉しいって思えた。

代官山はできない人でも受かってるなー、絶対自分もやってやろうって強く思った

まず代官山は、母がその〜、何かすごいできない人でも受かってるなーみたいな、何か全然な人(笑)。逆転してすごい受かってたんで、何か、おーと思って。他の塾見に行かなくても、私はもう代官山がいいかなってすごい思って…。こう言ったらあれですけど、何かすっごい出来なかったんだなこの人…みたいな人が頑張って受かってたりして…。その…、私も初めて代官山に来たとき、合成高分子のもうめっちゃ入り口のやつ、それが何か、あっこんなんも出来なかったんだ自分はみたいなの自分で気づいて。何かその…去年、去年ていうか現役で全部落ちた時は別に何か、まぁ、まぁしょうがないか、ぐらいの気持ちで悲しいとか思わなかったんですけど、この部屋でわぁわぁ、初めて悲しくてすごい号泣しちゃったんですよね(笑)。もう、何かその一、絶対ここに行く、代官山だ、と。絶対ここで受かって、ここでやってやろうって強く思ったんです(笑)。ほんとに代官山を選んで良かった。先生が素晴らしい(笑)。先生が素晴らしいってみんなも言ってますよ。何か私はほんとにもうどこも見ないでここに来ちゃったので、比べられないけどもうここが良すぎて多分正しかったです、そう(笑)。代官山を選んですごく良かったです。

現役の時は、家の近くのN塾っていうところで英語以外。英語はずっと中１から高２までH塾に行ってたけど。現役の時はまぁ無理だなぁみたいな感じになって、もう浪人して絶対一年で受かろう！みたいな適当な気持ちでやってて、まぁ浪人すれば受かるっしょみたいな感じで、浪人すれば日医とかいけちゃうんじゃない？！みたいな感じ(笑)。でも代官山は先生達がすごく言ってくるし、みんなちゃんと勉強してて、浪人になってみて、『あぁ〜こんな厳しいんだなぁ』、何か自分がどれぐらい勉強足りないかとかも分からなかったんで、あ〜、これぐらいやんないとダメだみたいに気づいて、自分も周りにつられてやるみたいな、浪人はもうひたすら勉強みたいな一年でした。

２号館上がって気抜いて、結果みて血の気が引いて…。その後死ぬ気で挽回

最初がえーっと、A6で。そうこっち本館で。A6のクラスちょっとうるさくて、あ、こんなんじゃだめだわ、私こんなクラスに絶対いちゃいけない！とか思ってめっちゃやりはじめたらクラス上がった。１学期のはじめ少し代官山に慣れてきた頃に実は結構だらけてきてて。やってるつもりだけで自習室でも先生に起こされたりしたことも結構あって。でも５月のマンスリーの結果をみてやばすぎて深瀧先生のマンツー入れてからは、それからはもう、A6の人たちと仲良くしちゃいけないわとか思って、時間の使い方が変わってずっと休み時間に予習やって、朝もやってみたいな感じに。最後の方はペースつかめた感じに。

で、夏に２号館のA3いって、２学期にA5に下がって冬でまたA3戻れた。夏に２号館行って、それで、あぁもう２号館来れたからいいじゃん、いいじゃんみたいな感じでやってたら、ちょっと１週間ぐらい連続で夕方で帰ってしまった時があって。体調のせいにしてそうやって夕方ぐらいで勉強しないで帰ってたら、もう何か次のマンスリーでもうめちゃくちゃ成績悪くなっちゃって。偏差値45ってのが…。いやほんとにヤバいですよね。それでもうヤバすぎて、血の気引いて。何かもう夏は自滅、失敗したって感じです。夏頑張らないとヤバいよっていろんな先生に言われたのに失敗して、ああもうダメだこれはみたいになっちゃって。もうA8ぐらいまで落ちると思ってたらなんとかA5で留まれて。いやまたちょっと死ぬ気でやれば戻れるかも、挽回できるかもとか思って、めっちゃ２学期は死ぬ気でやりました。だから２学期が一番頑張ったと思います。でも結局私が思ったのは、何か本館の方がそばに石井先生もいるし、いいなと思って（笑）。石井先生がいるって大きい、何か私は…。私は本館にいたほうがいいなって、頑張れるから(笑)。

目標ってもちろん合格ですけど、もっと身近なところにある目標は深瀧先生だった。

どの先生もみんないいんですけど、平等にいいんですけど、やっぱ深瀧先生みたいな…(笑)。どこがいいんですかね(笑)。スパルタな感じかな(笑)。深瀧先生のマンツー一年取ってて、深瀧先生にすごく支えられたからかな。3回目ぐらいの授業で確か、学期始まって三週間ぐらい勉強して、何かちょっと。５月のマンスリー終わった後かな。一回目のマンスリーの生物40.8(笑)ちょっとヤバいかもってなって。それでちょっと怖いけど、深瀧先生に相談してみよっかなと思って。そしたらすっごい何か、細かく分析じゃないですけど、すごく言ってくれて。だからマンツーマン取ることにして。深瀧先生の授業プリントがあって、私が担当じゃないクラスのやつも全部とりあえずくださいって言ったら、くれて。もう深瀧先生に褒められるために勉強やってるみたいな感じになっちゃって途中(笑)。基本は全然クールなんですけど、たまに、すごくたまに褒めてくれるんで、もうそれを願って頑張って、ずーっとやってました(笑)。授業でも絶対深瀧先生のはクラスで一番で取ろう、一番になろうと思って、それもう、めっちゃやってて、クロスワードだったんですけど、テストが。何回連続1位とれるかみたいなのやって、それで最後まで1位取れて、最後もめちゃくちゃ点数も良くて、褒めてくれなかったんで、マンツーの時に言ったら、ちょっと、ちょっとだけ褒めてくれて何か、あー頑張ったねみたいな。それがすごい嬉しかったです(笑)。何か目標がないと生きていけなかったので、いや、目標ってもちろん合格ですけど、何かもっと身近なところにある目標…、それが深瀧先生だった(笑)。そのあと一次受かった時もすっごい…、ちょ〜喜んでくれて、何か一緒に喜んでくれてほんとに嬉しかったです。

緒方先生は最初名前を覚えてくれたのがすごい嬉しくて、すごい。何か、おう！って感じで下の名前で呼んできて(笑)。下の名前で呼ぶんだこの人！とか思っちゃったんですけど(笑)。でもすっごいわかりやすいし、何か、何だろ、どんなこと質問してもすっごい答えてくれるし。

代官山じゃなかったら受かってないですね、絶対。これはほんとに絶対受かってないと思います(笑)。だってこんなに良い先生に出会えない…。受からないです。深瀧先生とか、村上先生とか石井先生の授業とか。やっぱ、石井先生は何かすごい、雰囲気が違くて、神様みたいな、何か集中…みたいな(笑)。ちょっと言葉に…難しいですけど(笑)。それで、何かその、面談の時とかも受験校全部決めて、それで何か、三者面談の時に何か、聖マと埼玉医に受かる気がするって言われて。それ当たって、最終的に。一次ですけどそれは。ほんとにすごい…。石井先生に何か、そういう風に言われて、何か、ほんと頑張ろうみたいに思って、何か、やってました。両親もすごい石井先生何か違う、雰囲気が…みたいな(笑)。石井先生の授業があるから、代官山違う、そんな感じがします。石井先生の英語は、何か、裏ワザじゃなくてちゃんと細かいところまでやるところも好きで。それに英語だけじゃなくていろんな医学部の受験の知識とか、その一、気持ちをどう強く持つかっていうか…、そういう考え方の話とかすごい助かった気がします。石井先生が言ってたことを全部付箋と手帳にも書いてて。それが結構二次試験でも言えたし、願書書くときも参考にしてたり。手帳にも全部書き写してたんです。マンスリー解き直ししようねとか小論舐めると落ちるよ、とか。判断力の大切さとか(笑)。探究心と忍耐力の話とか、んー、探究心は先生の授業を聞いてるだけじゃなくて、自分でも自分の目で辞書で調べてから質問して、板書で書いてることを自分でも調べて確認して、取り組み方に問題がないか調べることが大事だとか。なんだろ、何か全部大切過ぎて。石井先生の、いや、有難いお言葉なんです。あとなんだろ、面接で泣かないとか。何か大切なこといっぱい。あと行動力のこと。得意科目を伸びきった人が受かる、とか。ほんとに全部書いてあるんで、この手帳はほんとに捨てられないです。これと深瀧先生の授業のプリント。捨てられないんです。予習もしっかりしてました、もう、もちろんめちゃくちゃ当たるんで、私(笑)。当たるってか、もう当ててくださいみたいな感じでもう…はい、先生にビーム送って(笑)。それで当ててもらって(笑)。すごいこうやって姿勢よくして、こうやって見て(笑)。当ててもらって(笑)。それで曜日の感覚ができてたぐらいの感じで(笑)。何かそれがなかったら、何かもうボーっと時間が過ぎてた感じが

します、ほんとに。何かシャキッと切り替えみたいな感じで。
その石井先生の授業の前にいっつも並ぶ、並ぶんですけど。何か席を前の人に取ってもらうとかじゃなくて、その時に軌跡読んで。あれです、女学館の東京医大行った人…そう、相川さん！のやつがちょうど貼ってあって、いつも並んでる場所に。そういう何か、貼ってある人のがすごいやっぱ何回も読んでたんで頭に残ってます。家でも読んでますよちゃんと本のやつを。そういう人の何かその、マンスリーで緊張しすぎないようにしようとか、あーそうやるんだなーみたいな(笑)。ランキング気にするのはいいけどし過ぎはだめだよとか。そうなんだーって。

代官山の一年間があまりにも濃すぎて、私は本当に高校の記憶がないですもう。凝縮してて、濃かったです。

あと平パン、村上先生、薄先生も好きです。薄先生は、ほんとにあのー、もう薄先生の授業で分かんなかったことがないみたいにちょ～～わかりやすくて、もうそれで何か薄先生のやり方でやれば、全部解けるみたいな、ほんとにそう。平パンは他の人の軌跡にもあったんですけど、平パンの言ってたやつが出たわ～、平パ～ン！みたいな心の中で試験中に叫ぶみたいな時がマジであって。すごく研究してくれてるんだなって。あと平パンって授業で一人をめっちゃ当てる時があって、最後のほうだけ何かその一人に選ばれて、めっちゃ当てられて、でもちゃんと復習してたから、お～出来るようになったじゃんとか言われて(笑)。何かそれがすごく嬉し～(笑)。そのために！みたいな感じでやってました。村上先生は確か初日に代官山の最初の授業の日に村上先生で、ほんとすごいパパみたいな(笑)。めちゃくちゃ良い人っていうか何か、優しくて何かあったらいつでも来てねみたいな風に言われて、何かそれが、一番最初が夜間だったんですけど、それで何か、あ～この先生についていけば受かるかもみたいな感じに(笑)。最後の方も村上先生にすっごい何か、慰めてもらうっていうか、勇気づけてもらうみたいな感じで、もう数学も、もちろんすごいんですけど、何かもう、メンターみたいな感じでした。私、実は、暗い時はほんとにもう、めっちゃ、自習室でめっちゃ泣くみたいな(笑)。一人で(笑)。だから村上先生にすごく救われてたんです。
何かもう冬とかも何か授業がないと私はダメ系だったんで、めっちゃ授業で埋めて、やるぞぉ～みたいな感じで乗り切った感じです。夏…、何か夏のこと必死過ぎてあんま記憶がないんですよ(笑)。何か、はい。本館から荷物運ぶ時は嬉しいかったけど、周りにどんな感じで見られてんのかなとか、しかも上がっても授業で何かずば抜けて出来てないわ自分、とか思っちゃったり。深瀧先生には怒られてめっちゃ落ち込んだり、すごく励ましてもらったり、村上先生とかいろいろ聞いてもらったり。いやもう、ほんとに代官山が、代官山の一年間があまりにも濃すぎて、私は本当に高校の記憶がほんとにないですもう。ほんとないですもう(笑)。代官山が高校3年分に勝ってます(笑)。もう凝縮してて、濃かったです。

やっぱ、1個受かって活気づくっていうか。自分でも1次受かるんだ、通るってこういう感覚かぁみたいな。

一次は7校来て、で、2次来たのが、金沢と杏林と日大ですね。あっそう、その三つの中でも一番早く、日大46番が来たんでよかったなぁ(笑)。よかったです、お金払わなくて(笑)。えーっと、来たの3月の…20日ですね。それまでは生きた心地しないっつうか、そんな遊んだりする気分じゃないから。お礼参りみたいなこと？してましたね、地元の江ノ島の神社、親と行ったり…。パパママは、めっちゃ、いや、もう…。いや、もう1次合格のときも7校すごく喜んでて…。うち…理系の人いないんですよ。誰も理系じゃなくって、私が理系って選択したことだけでもう褒められる…。目指して勉強してるだけで、なんかもうすごいね、みたいな感じで言われてたから、もう受かったときとかもう、ママとかなんかもう、電話で発狂。「きゃー」みたいな(笑)。そんでもう、パパも、初めての1次…女子医だったんですけどその時まではすごいもうなんか、ちょっと本当につらかったんですけど、来たときにはもう、ちょっと、本当にうれしくて泣いちゃう…。その女子医から…なんかやっぱ1個受かると、何ていうんだろう、活気づくっていうのかな。自信ついて、そこからどんどん受かってった。たしか獨協の日に女子医が発表で、そこから、あっ!なんか行ける気がするっていうか。なんか今年は、大丈夫なのかもしれないみたいな…。去年は一次1個も受かってなかったんで。今年、あっ受かるんだみたいな。自分でも一次通るんだみたいな。通るって、こういう感覚かぁみたいな。

しっかり成績表と向き合おう、どこが足りなかったか分析して、自分の成績に責任持とうと。

試験中は、うちメンタルがめちゃくちゃ弱いから、試験中発表見たらもう100パー、良くても悪くっても駄目だろうなと思って我慢してました。いや、もうメンタル激弱です。もう激弱過ぎて、もうマンスリーの結果とかも、もう見ると本当にあのー、まあ自分の成績表は見れるんですけど、こう、ばーっとランキング張り出されるの見ると、本当になんかもう本当に、もう人と比べられるのが、私苦手で。だから、10月ぐらいからは、本当に比べられるのが嫌だったから、マンスリーとかウィークリーのあの張り出しは、見ずにもう自分の成績表だけ見て。その代わり、しっかりその成績表と向き合おうって思って。先生達にも見てもらってどこが足りなかったかって分析して、比べない分、自分の成績に責任持とう…、なんかそういう感じで、割り切るようにしてました。

やってもやっても…なんで伸びないんだって…。でも伸びるのって秋なんですよね。

いや、代官山に来る前からやってもやってもできなくて(泣)。なんで成績伸びないんだみたいな。なんか全然…。夏の辺りにもなんで私抜かされんのみたいな。これ、何が悪いんだろうみたいな感じ。でも、それでももう、ひたすらにやるしかないから、この塾は。もうひたすらにやってて。信じるしかない、やりきるしかない…。そしたらやっと後期になって、実力発揮できるようになって…。ああもう本当につらかった。本当に、やった分だけなんで伸びないんだみたいな。でも、今年はやっと…。伸びるのって秋なんですよね、本当にそれはもう、本当に言いたい。本当に、あのー、うん、本当に。今すぐじゃない、今じゃない。いつか絶対伸びるから。みたいな。

夏は、結果には出てないけど、死ぬほど頑張りましたね。本当に。いや、あのー、何ていうんだろう。なんか、夏の予定表、もらうじゃないですか。夏の予定表を拡大コピーして、そこで、朝6時から9時まで何やるかみたいな感じのも、その必ず授業の時間が80分あるじゃないですか。自習時間は40分、40分とかで区切って、具体的にテキスト名やページを一つ一つ書き出しさせられて。あ、もうそうですね。めっちゃ綿密に計画を立てて、時間をすごく意識しながら過ごしてました。

こっちは、仲間も全然違いましたね。みんながやる環境。上には上がいた。

いや、もうなんか、前の塾とやる量が違い過ぎて。身体が付いていかないっていうくらい、えっ、こんな忙しいのみたいな。これ、やばくね？みたいな。去年の予備校の授業は、午前中、午後ちょっと授業があって、あと全部自習みたいな。今の私からしたらほとんど自習じゃんみたいな。こっちと違って自由…。前、レ○○○だったんですけど、夜間指導っていう自習が長くて。こっちでは授業が多く入ってて、なんかすごくカルチャーショックでしたね(笑)。いや、全然、全然違いますね。本当に。あと、人も違うし、もちろん。仲間が全然違いましたね。今から思うと、向こうは、まあ、みんな結構やってはいたんですけど、何ていうんだろう、まあ、朝とか来るのもうちが一番早い…。うちが一番やってるし、うちが一番早く来るしで、こっちはなんか、できる人もやってるから、うちがやらないわけにはいかないみたいな。やっぱ、上には上がいるんだなって感じで。周りもみんなやってるから、えっ、じゃあ、やる!?　みたいな、うちよりも早く来てる人が大勢いるし、うちより頑張ってる人も大勢いるし、うちより頭いい人も大勢いるから、じゃあ、うちも流れでやるぞみたいな。いやあ、本当に、何ていうんだろう。あのー、本当に仲間が違うなと思いました。それは。百瀬さん(日本医科大進学：百瀬慧)もレ○○○だったんで、なんか、カルチャーショック、やばくない？みたいな。この塾やばくない？みたいに言ってました。近くの席でやってる人が、島田夏菜子(東北医科薬科大進学)さんとかあと、軽部（東邦大医学部進学：軽部遥希）君もそうだし。あ、鹿山（東京慈恵会医科大進学：鹿山竜輔）君とか。まあ、大竹さん（日本医科大進学：大竹理央）が、毎朝いるのを見て、なんかこう、あ、今日もやろうみたいな感じになりましたね。何つうんだろう、もういるだけでなんか。いや、ライバルとかじゃないんですよ。全然もう。レベルがもう違うから。でもなんか、いるだけで、あ、今日もやんなくちゃいけないなってなる。

マンスリーで落ち込んでも、必ずこれだけはやるって大事。うちは必ず音読やる。

うち結構しゃべるの本当は好きで。友達とか大勢つくりたいけど、まあ今年はやんなきゃって抑制しすぎちゃうと、ストレスたまっちゃうから、息抜き程度にしゃべって、もう時間が来たら、代官山はなんか自分の席があるから、食事食べ終えたらすぐ自習室行くとか。だらだらはしない。そこは我慢してましたね。

自習時間は、問題が難しかったり、手こずっちゃったりすると、結構、時間が足らなくなっちゃう…、だらだら引き延ばしちゃうと予定自体が回らなくなっちゃうから、もうできなかったやつは、質問するか、保留でちょっともう次のことに入るみたいな感じで。で、難しかったやつは、まあ、土日とかにやるとか。朝来てやり直す。夜9時30分まで残ってやるとかして、その40分、40分で区切ってやるスケジュールは、狂わないようにしてましたね。

朝は、6時44分か45分ぐらいにタイムカードのチェックを付ける。46分の時もあったかな。うちとしては、毎日5時半に起きて5時半から6時までご飯食べて、お弁当っつうかそれ詰めて。6時ぐらいから勉強、えー6時15分から6時40分位まで音読。石井先生からも他の先生達からも言われてた、英語の音読するっていうのをルーティンにしてたから。で、6時44分あそこの寮出たら、大体塾に46分ぐらいに着くみたいな。その一音読はちゃんとはっきり声に出したかったんで。ちゃんと音読したかったから家でしてましたね。そうやって、そのなんか、20分間音読の時間毎日設けることによって、なんか毎日毎日やってることがあるって、大切みたいな感じのことを石井先生言ってて。なんか、毎日必ず、例えばマンスリーで落ち込んでも、必ずこれだけはやるみたいな。必ず音読はやるみたいな。なんか毎日続けることがあったら、なんか見いだせるよみたいな感じで。だから絶対やってましたね。あと、去年、英語がすごい苦手意識があったから、ともかく音読をするっていうことによって、なんかまあ、英語得意になんじゃないかなっていうか、ルーティン化。なんかルーティン化すること見つけると、なんかいいっていうか。何ていうんだろう。まあ毎日やってたことがあるって、なんか実るんじゃないかなみたいな。英語は上がりましたね。苦手意識がなくなった。第7回のマンスリーとかすごくて、そうですね、結構克服できたと思います。去年の何回読んでも読めないみたいな感じの感覚を克服。７回目のランキング英語2位だった、かな。いやでも、見てないんですよその辺。だから友達伝いに聞いた、みたいな感じです(笑)。ハハ。見ちゃうとまた自分がおごり高ぶっちゃうから。それはそれでちょっと、駄目だなみたいな。

今年駄目だったら、本当にやめよう。今年１年で受かる…そういう気持ちで。

なんか、私自身去年の1浪目…1浪目も私、正直言ってめちゃくちゃ頑張ったんですよ。まあ結果は出てないけど、さっき言ったとおり朝、塾に誰よりも早く、日曜日も来て、もう、やれること全部やったと。でうちはお医者さんじゃないから、その、もう1浪で駄目だったら、まあ、ちょっと考えようみたいな…。その、全部落ちちゃったときに、なんかもう、もう無理じゃんみたいな。もうこれからどこでやってもなんか受からない気がするみたいな感じに。そんときにパパがすごくいろいろ調べてくれて、まあ、一回、代官山行ってみなよみたいな。近いし。それになんか、いいらしいよみたいな感じで、パパが見つけてきてくれて。で、それで、うん、もう代官山ちょっとまあ、一回じゃあ行ってみるかみたいな。それでもしもその塾に面談に行ってみて、それでもちょっともう勉強する気になれないっていうんだったら、まあ一応、違う学部も受けてたんで、まあ、そっち行けばいいし。もう一回代官山、ママと行ってきなみたいな…。そうしたら、なんか、何ていうんだろう。ここだったらいい気がするっていうか。で、なんか、もう一回やろうかなみたいな気持ちになれたっていうのかな。なんかそうですね。もう一回、もう一回頑張ってみようかな、みたいな気持ちになって。一浪の時は家から通ってたんです。だから湘南新宿ライン朝早くから乗って、疲れて帰って

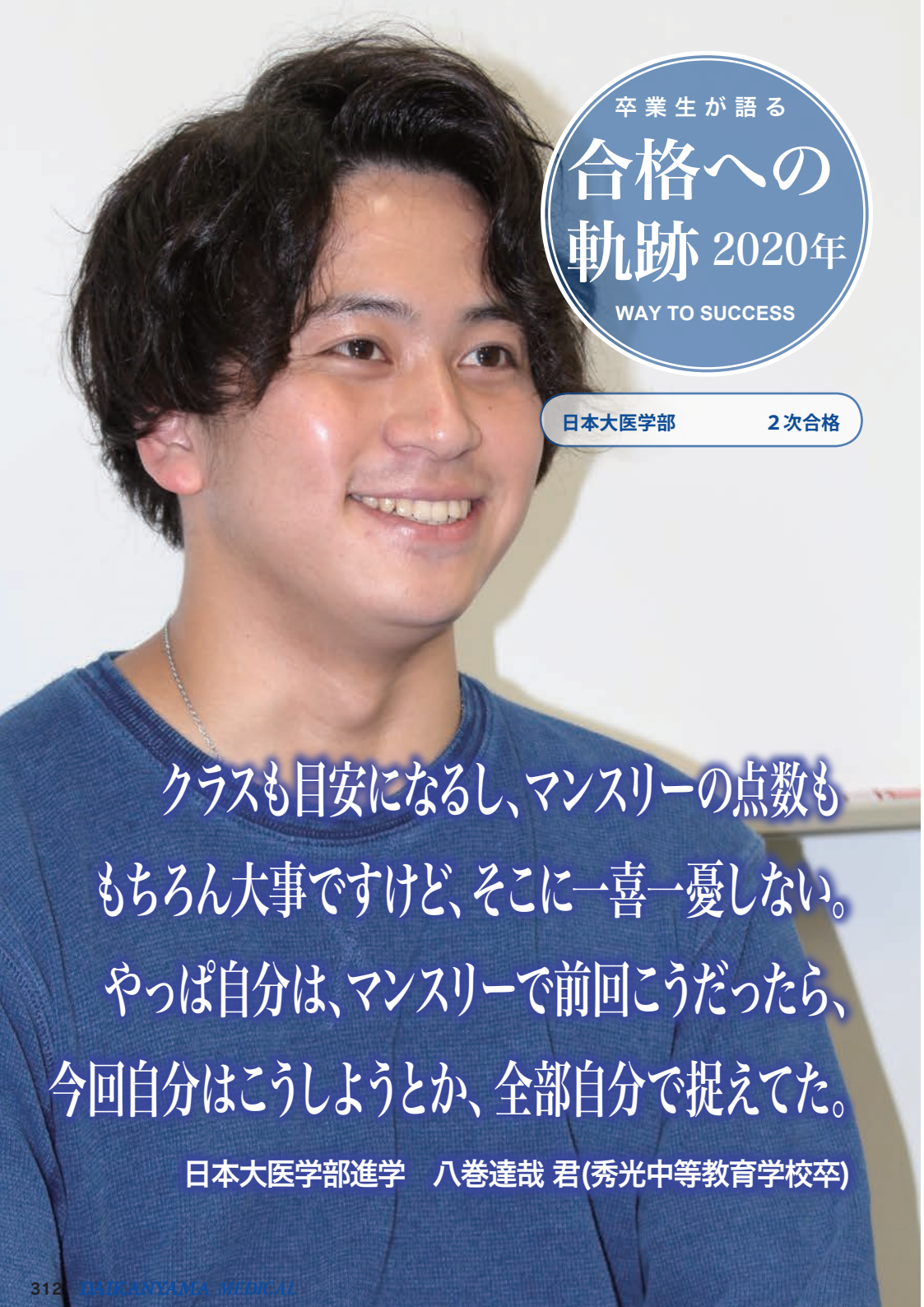
くるっていうのも分かってたから。もうじゃあ、今年は、もう。去年はそういうの頑張ったけど、そこで頑張んなくていいから。もう寮入って、もう今年は、じゃあ、ちょっとお金かかってもいいから、近い寮入ってもう今年1年で終わらそう。そう、うん、今年１年で受かる…そういう感じで頑張ったっていう感じですかね。
寮すごく快適でした。本当に。いや、退寮の時も言ったと思うんですけど、本当に寮にしてよかったなと思います。何ていうんだろう。あの一、それまでは、湘南新宿ラインでずっと立ってたんですよ。朝、座れなくって。で、帰りも座れなくてずっと立ってて。で、ずっと立ってるし、その、遅延とかして夜遅くなると、もう11時半とかに帰る感じになっちゃって。なんかそれだけで、めちゃくちゃ頭にくるんですよ。なんか、なんでこんなに頑張ってんのに、なんだよみたいな。

薄先生にその時期に応じて的確にアドバイスしてもらって、化学の原先生は、原先生が扱ってない講座や授業とかも、丁寧に教えてくれた。

数学は、薄先生と長澤先生にすごくお世話に。薄先生に、なんか島田はすごい頑張ってるけど、ちょっとなんか空振ってるみたいな、なんかちょっと違う方向行っちゃってるみたいな感じのこと言われて。まあ、去年もやっても伸びなかったんですけど。取りあえず今は、ともかく、もう僕の言ったことをやってほしいって、すごい的確に指示してくれて。取りあえず夏までは授業の予習復習やって、夏まではともかく1学期のテキストをもう1冊って、これやってほしいって。もうそれ以外やんなくていいから、もう夏休みはもうそれだけその復習を。復習っつうか、できなかった問題を自分の頭で解く。ただ解くんじゃなくて、自分の頭でこう、自分の頭で考えながら、何回も解くっていうことをやってほしいって。他人に説明できるぐらいって、めっちゃ的確に言ってくれて。夏も、２学期も、その直前期とか冬もなんか、めっちゃ的確なんですよ、指示が、これをやってほしいとか。
それにめちゃくちゃ確率が苦手で、もうなんか確率、来ると飛ばすぐらい、苦手意識が付いちゃってたんですけど。確率はもう受験に欠かせないから、もうこれは克服しなきゃいけないみたいな感じのことを、石井先生の面談でも言われて。もうじゃあやるしかないじゃんみたいな。夏の授業で扱った長澤先生の確率の授業をずっとループしてやってたんです。おかげで確率に対する苦手意識が取れたっていうか。なんかああ、あそこに当てはめればいいんだ、みたいな感じになれて。確率の苦手意識みたいなの抜け出せたのは、長澤先生のおかげなんです。化学の原先生は、原先生が扱ってない講座や授業とかも、結構原先生に聞いちゃってたんですけど。それもなんか、一つ一つめっちゃ丁寧に教えてくれて、なんかすごい良かったです。分かんないところとかも、違う講座だったりとかしても、全然嫌な雰囲気もなく、一つ一つ、自分のテキストと当てはめてやってくれたっていうのかな。ここの部分は、このテキストだから、みたいな感じでやってくれたから。あと後期からの過去問対策みたいなので、月曜日の1時間目の前に朝にやる、０限。それもめちゃくちゃなんか実践的で良かったです。日医とか昭和とか、日大とかの難しい問題を、その過去問とか自分でやると、分かんねえ、これ捨て問だ、みたいな感じになるけど、それとかを、こう先生が教えてくれることによって、なんか、ちょっと難しくても、なんか、あ、こうやればいいんだみたいな。で、分かんないところも分かってきてそれが楽しかったし良かったです。

栗原先生の授業、理論的に読んでったっていうのかな。だから、速読も全然できて。

栗原先生も好きでしたね。英文をただ読むんじゃなくって、パラグラフリーディングみたいな感じで、ここに始めにこう、何ていうんだろう。読み方がすごい自分に合ってたっていうのかな。なんか、理論的に読んでったっていうのかな。だから、速読も全然できて。栗原先生の授業って、正直言って、めちゃくちゃ授業進むの遅いんですけど、一文一文をすっごい大事に読んでるっていうのが、すごい合ってて。だから、音読するときも、あっ、この英文は、こう来て、あっ、疑問提起だから、じゃあ、答えを見つけるとか、否定が来たら…、そういう感じのを、一文一文めちゃくちゃ丁寧に読むんですよ。それが、なんか私はすごい好きで。なんか、ぱーって読むんじゃなくて、それ一つ一つが、全部後半につながってるみたいな。頭使うっていうのかな。うん,だから、すごいよかったです。
石井先生の授業も、なんかその、めちゃくちゃ一文一文を、すごい解析並みに細かくやるんで、なんかそれが、だからもう、石井先生の授業の英文は、もうその音読。その音読リストには絶対入れるみたいな。なんかその、一文一文、ここがこう来たから、こう来るみたいなやつとかも、もう頭に入れるっていうのは、絶対やってましたね。まあまあ当てられてましたね。なんか石井先生に当てられると、ちょっと頭が真っ白になってた。何ていうんだろう、なんか面接で聞かれるみたいな、そういう緊張感に見舞われるっていうのが(笑)。あれ、分かってたんだけどなんだっけみたいな(笑)。まあ、緊張するっていうことにもちょっとずつ慣れていって…、だからすごく大切な時間でした（笑）。石井先生が授業中、予定を立てるってことと、その必ず自習時間、その必ず1日に全教科やれって言ってたんですよ。それを聞いて、必ず1日に4教科やる。それって去年とかやってなかったんで。だから、自分の好きなところに偏っちゃったり、逆に苦手なところに偏っちゃってたり。なんかすごい、去年はなんか、なんかすごい極端だったんですね。自分の苦手なところをめちゃくちゃやるとか。だけど、そういうんじゃなくって、なんか1日に4教科やるっていうのを言われて、その1日にまあ、最低でも絶対に触れることによって、なんかバランスよく、バランスよく伸びてったっていうのはあるのかな、それが合格につながってたっていうのかな。やっぱり受験、どれか1教科だけ得意なのがあるっていうよりも、4科目平均的でも、超苦手がないほうがやっぱ大事だから。なんかその欠落したのをつくらないためにも、1日4教科絶対触れるっていうのは、すごい大事だったし。それはなんか、すごく教えてもらって良かったし、自分でも学べたなって思いましたね。自分一人では気づかない、学科の知識以上に大事なことも教えてもらえた１年でした。



卒業生が語る

合格への軌跡 2020年

WAY TO SUCCESS

日本大医学部　　2次合格

クラスも目安になるし、マンスリーの点数も もちろん大事ですけど、そこに一喜一憂しない。 やっぱ自分は、マンスリーで前回こうだったら、 今回自分はこうしようとか、全部自分で捉えてた。

日本大医学部進学　八巻達哉 君(秀光中等教育学校卒)

やっぱ２号館、周りは当然のごとくみんな受かってて、（自分が出るまでは）きつかったっす。周りの受かったっていう声とか入って来るし…。

いやーちょっときつかったっすね、ぶっちゃけ受験期は。ちょっとビビりました、日大なかなか繰上げ進まなくて…。日大番号出てたから、来る…見込みがある番号だったんで来るっちゃ来るって信じて待ってたんすけど。良かった～、来て(笑)。なんか最初岩手愛知で、マジ死んだ(笑)。帝京の１日目かな、確か１日目に岩手と愛知が出たとき、古川（古川城太郎：愛知医科大進学）と一緒に帰ってたんですよ。その帰り道、古川が結果見て受かってて、なんかめっちゃ喜んでて、あーよかったじゃんって。で、俺は後でこっそり見て、はい、さようならって感じでした(笑)。いやでもすごいっすよね古川は。岩手愛知どっちも正規ですもんね。俺はあと帝京⇒帝京って行って、東邦やめて３日目も、帝京っす。そこまで全滅で。だから東邦行く気になんなくて、もうマジで結構死んでました。死んだ状態で３日目も帝京行ったら３日目の帝京で通ったんすよ～一次(笑)。まあでもあれは２次来てないから意味ないっすけど(笑)。で、次が獨協行って、聖マ行って、東医行って、日医？で、杏林、金沢、日大。で、一次出たのが、日大と帝京っす。いやきつかったっす。ほんときつかったっす。ぶっちゃけまじで。やっぱ２号館、周りは当然のごとくみんな受かってて、結構きつかったっす。周りの声とか入って来るし、でもかといってそんな…なんか落ち込んでるキャラでもないから。

合格通知届いた日と免許取った日同じなんすよ(笑)。

日大は番号が43で、それで石井先生に話して、43番だったって言ったら、大丈夫って言われて、お疲れみたいな(笑)、って言ってもらえて(笑)、そう、もういいよみたいな、頑張ったね、みたいな感じで声掛けてくれてまあ嬉しかったっす。自分も今年ちょっとだめだったらどうしようかなって考えてたんで。そんないつまでもなんてのは無理だし、今年の受験期が自分にとっては結構きつかったから。ほんっとやっと通知来たのが、３月中旬ですね。免許取り行ってたんすよ(笑)、合格通知届いた日と免許取った日同じなんすよ(笑)。かあちゃんめっちゃ喜んでましたよ。まじで、いやほんとに普通に俺も嬉しかったし。かあちゃん泣いてました、いやほんとに良かったなって感じっすね。迷惑かけたし。自分、一浪目が駿台で、二浪目にこっち(代官山 MEDICAL) きて、んでそん時に自分が東京でやりたいって言ったから寮に入れること許してもらったり、ここでやっていいよって言ってもらったんで、やっぱりそこすげえ感謝してるし、だからほんとに日大来て喜んでくれた時はほんとに俺も嬉しかったですね、ほんとによかったです。感謝しかないです。

一年間通して自分はどういう風に試験期間やってくのかっていうのを考えた方がいいと思いますね。

やっぱり代官山は多分周りに…、成績が貼られたり、あとそういう友達の距離感が近かったりすると、こう周りをどうしても気になっちゃったりすると思うんですけど、やっぱ、そこに合う人と、合わない人がいると思うんすよね。で多分自分は、あんまり合わなかったんすよね。周りと比べすぎると自分は基本、あんまり興味ないというか。やっぱ自分は、前回こうだったら、今回は自分はこうしようとか、全部自分で捉えてたんで。その、今もし周りのことが気になりすぎてる人がいるんだとしたら、別にそこは無理して考えることしなくていいし、それか先生に話したほうが絶対いいと思うし、やっぱわけわかんなくなるんで。しかも実際こういう風に試験の時は絶対自分一人じゃないですか。だから、みんなが状況が違う中、多分いつもみたいにみんなで比べ合ってとか、そういうのは絶対できないと思うんすよ。だからほんとにその試験の時を考えて、一年間通して自分はどういう風に試験期間やってくのかっていうのを考えた方がいいと思いますね。僕は完全に自己完結してたタイプ。先生とは相談とかしていましたけど…。それは一年間通してそうでしたね。だからそんなに、クラスもちろん大事だし、目安になるし、マンスリーの点数ももちろん大事ですけど、そこに一喜一憂しないっていうか。ほんとに結局、結局なんか、受かればいいんで。ホントに一次落ちまくった時も、自分の実力不足ってしか思ってなかったし、だからこそ「自分」にふざけんなよみたいな感じで思ってたりしてたんで。そんな感じっすね。

俺もやってやろうって気になってやってました。

いやーでもほんと成長しましたね。やっぱり大きく違うのは本館と二号館、で移動があったこと。本館が悪いとかじゃなくて、二号館の良さとして単純にみんなやるし、できる、みんな点数取る。だからその同じ教室とか、同じ建物にランキングにみんな載ってるとやっぱり自分も頑張ろうっていうか、ついていかなきゃとかそういう風に思うってところあったし、やっぱりその M(選抜)とかだと、点数取んなきゃいけないから、クラス相応の点数を取らなきゃっていう風に意識してた部分があったし、そこが多分頑張れた、糧っていうか頑張れるようになった。精神的にもやっぱり色々忍耐力がついたと思いますね。やっぱ二号館すごいっすね。基本ちゃんとみんな勉強してるし、やっぱ、なんか本館いた時は、やっぱなんかこう、M って何みたいな。二号館やばくねみたいな感じだったんすけど、いざなんか自分いってみると、こんなんで大丈夫かなって逆に焦るんすよ。今俺まったく伸びてる実感がないから、こんなんで二号館いて M にいていいのかなって思いながらやってたんすけど、でもそれを思い続けて、やっ

といてよかったかなっていう風に思いますし、みんな雰囲気はなんか別に堅いわけでもないし、緩くはないけど、でもやっぱり試験の結果みるとやっぱり二号館ってすげーなって。みんな一次めっちゃ持ってるし。正規もめっちゃいるし、特待も…。まじすげーわって思いましたね。

昨年の自分だったら絶対解けてない問題が簡単だって思えるようになった。

やっぱ英語はずっとお世話になってた三ツ橋先生ですね。ほんとに自分は、単語とかイディオムとか弱いって印象があったんで、毎週小テストみたいな感じで、こっからここまでやってって言われて、でイディオムもプリントもらって、でそれを覚えて、次の授業の頭で口頭で答えられるかみたいな。栗原先生とかはすごいなんかこういう風に授業を進めてくよみたいなガイダンスをマンツーの前にしてくれて、栗原先生のマンツーはこういう風に進めるからこれに合わせてやってきてとか。なんか論理的だったていうか、良かったですし、授業もやっぱ面白かったんで、やっぱり受けてて楽しかったし。それは大きかったっすね。数学の村上先生はほんとに一生懸命やってくれて、もう授業はじまる、20 分休みあるじゃないですか、授業の 15 分くらい前に教室来てくれたりするんすよ。例えば自分がマンツーブースに早めに入ったら、村上先生も早めに来てくれるからだからもうそういうとこがめっちゃ良くて、やっぱ一生懸命だし。普通に始まって、10 分ぐらい経ったら始まるチャイムが鳴って、でまあそっからも真剣にずっとやってみたいな。なんか熱いじゃないですかやっぱり村上先生。だからそこがほんとによかったし、あとプリントとかもいっぱい渡されて、でやったらちゃんと持ってきてとか、あと空きコマとか村上先生が空いてる時間、4 時間目とか空いてたら教えてくれて、で講師室んとこで教えてくれたりしてくれました。自分が空いてたらおいでって、生徒想いですよね。別にマンツー取ってない時もプリントを休み時間とかに採点して貰ったりしてたんで。ほんとに常に見てもらってましたね。ほんとに一浪目はもう数学どうしようって感じだった、なんもできなくて。で、まあヤバい意識はずっとあったから、ここのテキストも 4 周やって、てかまあ代官山のテキストっすね基本。で、まあ徐々に徐々にこう、マンスリーの大問 1 が徐々にできるようになってきて、でちょっと最終的には随分手つけられるようになってきて。偏差値 63 ってのが一回あって、59 ってのが一回、その二回はランキング載ったんすよ。で、数学最後に 64.8 取ってますね〜、たしか。でもほんとに多分昨年の自分だったら絶対解けてないし、みんなが簡単だって思う問題を自分も解けるぐらいにはなれたっていうのが多分大きかった。

化学は誰っていう感じじゃなかったですね。原先生は授業とか計算とか原先生の解法だとめっちゃ早いし、ほんとに早くて。めっちゃ感動するんすよ。すげーなって。やり方もそうですし、まあ分かりやすいし、でまあ授業だとみんなに合わせた感じでやってくれたりして、マンツーとかだとちょっと違う問題例題とか使ったりしてもっとこう、効率よくっていうか。そんな感じでしたね、そういう機会が多くて。まあ理科はあんまり俺マンツーは取ってなかったんですけど。

緒方先生はいつも気にかけてくれてるっていうか、常に。で自分はマンスリーの後に、マンスリー日曜日で、絶対月曜のうちに俺、生物のマンスリーの直しをやって、自分の 4 教科の全部の点数と総合点書いて、感想と次回に向けてみたいなのを書いて、3 ページぐらいですかね大体ノートで。それを毎回月曜日に緒方先生に見せに行ってて。そうです、やれって言われて。

ここはほんとに質問しやすいってのもあるし、ほんとにみんな誰でもいいから質問できるっていう…。

代官山は、先生がほんとによくて、ほんとに一生懸命やってくれる、誰に聞いてもほんとにいくら忙しくても答えてくれたり、そういうところが本当に感謝しています。もうほんとに感謝してるし、やっぱりその駿台にいたとき一浪目は、全然聞けなかったんすよ、雰囲気も。質問とかできなくて。先生との距離が遠いし、先生達のいる部屋が俺らのいる自習室と全然離れてたり、あともういちいち改まって入ってって質問するんすけど、俺も全然行ったことなくて、でもここはほんとに質問しやすいってのもあるし、あとほんとにみんな誰でもいいから質問できるっていう、そういう環境すげーいいと思いますね。まじで。他所を経験してここに来るとほんとにびっくりしますね。なんかめっちゃいいじゃんみたいな。それにほんとに無駄がないから、先生に質問するために何時間も待つとか、明日にしようって、そういうのないじゃないですか。ほんとにそういうとこよかったっすね。代官山は、まあてか基本やっぱり朝から晩まで開いてるんで。フル活用してましたね。まあでも当然朝 6 時とかに来てる人はいたし、でも自分さすがに 6 時とかには来れてなかったっていうのは事実で、でもまあ遅くても 7 時半とか 8 時とかには絶対来て、夜はまあ最後までいて、そんな感じでやってたし。だからフルでとりあえず代官山に来る、とりあえず代官山の自習室でやるっていう。

なんか俺、ジム行けって言われて (笑)、はい、行ってました (笑)

石井先生の授業は、やっぱ当てられると緊張するんで予習は当たり前ですけどめっちゃ予習してましたね。訳せるようにとか、まあ後は、授業で色んな話聞けるんで、例えば去年、作戦というか、その試験の前になったら今年は日程こうだから、作戦はこういう風にしようとか。いやもう石井先生全部頭に入ってて。でまあそういう話を聞けるのもいいですし、でもやっぱ当てられるとね、緊張しますね。めっちゃ当てられましたよ。ほんとにめっちゃ当てられて。必ず一時間に一回はまあまず当てられて、基本当てられます（笑）。今日 1 回当てられたから〜なんて、ちょっと気抜いてると当てられたりするんすよ。そこで間違って、はい一話聞いてなかったねみたいな。そんなことも (笑)。ほんとに基本、気を張ってないとやっぱりダメなんで、ほんとそういう意味ではすごい集中力増した…集中した授業だったし、やっぱり他の子もやっぱり緊張してたし。モチベアップにつながったのもあるし、なんか俺、ジム行けって言われて (笑)、はい、行ってました (笑)、マジで日曜日の自習時間終わったあと、安い区立のジムだったんっすけど、石井先生が紹介？してくれて、メンタル強くしたいなら身体作れって…、はい、言われて。秋の三者面談の待合室で父親に成績よりも体が大きくなってるって言われたっす (笑)。親ぐらい石井先生は生徒にいろいろ言ってくれて、普通、予備校の先生って、ジムに行けなんて言わない…。親？ていうくらい面倒みてくれたと思います。まあでもやっぱちょっと当てられたらいやだなって間違ったらだせーって感覚で後ろに座ってました…。でも全然当てられます。関係ないっす。どこに座ってても結局当てられるんすよ結局。やっぱ多分英語自信ないからっすかね。気にしてもらえてたっていうか…。それあるかもしれないっすね。

今年、医学部合格を目指す後輩の方々に…。

ほんとに毎日とにかく代官山に来ることが大事です。それは思いますほんとに。い〜んすよ、全然い〜んすよなんか、落ち込んでも嬉しくなって浮かれてても全然いいんで、とりあえずどんな時でも代官山に来て、勉強して。まあ気晴らしに、俺だったら走りに行ったりとか、別に他の人だったら何でもいいっすけど、気晴らしも全然していいと思うけど、やっぱ日中はちゃんと代官山で勉強するっていう、そこですかね。まあやるしかないっていうか。

あんまりなんかゲームとか好きじゃないんで、あんまやることないんで、ほんと運動するか、勉強するかみたいな（笑）。石井先生に運動しろって言われて。とりあえずほんとに代官山にはほぼ毎日休まず来てましたね。まあなんか別にほんとにもちろん気晴らしっていうか、日曜日は自習時間が終わってからジムに行って、週明けの月曜日の朝からとりあえずここにきて、レビューやったりとか。あとまあ課題あるじゃないですか、あれとりあえずやっとこみたいな。先生達のおかげでやることがはっきりしてるのが良かったかな、マジで。

卒業生が語る

合格への軌跡 2020年

WAY TO SUCCESS

昭和大医学部	I期２次合格
東邦大医学部	２次合格
杏林大医学部	２次合格
日本大医学部	２次合格
岩手医科大医学部	２次合格

当たり前のことを当たり前にやる。代官山MEDICALの当たり前にやらざるを得ない環境が合格を確実にしてくれた。

昭和大医学部進学　矢島瑞己 君（早稲田実業高校卒）

２次受けたところ５校全部合格

一次出たのが、えっと杏林、昭和、日大、北里、埼玉、東邦…もうひとつあった気がする（笑）あ、岩手、岩手です。７校ですね。それで２次来たのが、埼玉と北里以外全部（笑）。埼玉と北里は２次蹴っちゃって…他と入試かぶってて行けなかったんで、だから２次いったとこ全部きました（笑）おかげさまです（笑）。東医は昭和と被っちゃってたから、三者面談の受験のスケジュール決めるときに、あなたの場合は昭和の２次と日医はかぶらせちゃだめだから、かぶらせるとしたら昭和を東医の１次に被らせよう、って戦略で。日医を一番に志望してたんで、石井先生も賛成してくれて。最初に 2 次来たのが杏林の４番で、最初のえっと…２月の 26 ？にきて、３日後に 16 番の岩手。で３月 22 くらいに 53 番の日大。で、27 に東北。30 日に昭和、って昭和は遅かったですね。杏林の５番が松前（日大進学）でなんかあいつと縁があるんですけど、まあ、４番の時点でくることは確定したんで、その時点で一応受験が終了したってことで、親も喜んでくれて、踊ってましたよ、母親が（笑）。

冬期で先生に言われた通りアミノ酸の構造式をやっておいたら得点源に！

その～、日医は１次落ちて（笑）、まあしょうがないですね。最初…もうちょっと最初から過去問見て意識しとけば…。実は深瀧先生に、最初…一番最初に、授業の。過去問解いて、志望校との距離を測る、っていうことは大切だ、みたいなこと言われてたんで１度だけ解いたんですけど、中途半端に…、まあ、ちょっと…目標が自分には高いかなとか…でも憧れも…って感じで揺らいじゃってて…、そんなのが原因かなと。あと日医は英語っすね、いや一日医の英語は、なんか、本物の実力が試されるというか、東邦とか、日大とか、飛ばし読みとか結構できるんですけど…日医の英語はちゃんとやっといたほうがいいっすよ（笑）でもどうなんでしょうね。杏林きた時点で安心しすぎて日医後期は失速した。後期に向けての受験に失速したってのもあると思うんですけど、うーんまあ、まあでも早く決めとくに越したことはないと。まあ結果論ですけど受験は前期で決めとくべきですよね（笑）。
昭和の生物は８割強ぐらいできたと思いますけどね。生物で稼いだ感じですね。数学は、あの出題ミスの数列の問題、あれやっちゃったんですよねー（笑）絶対取らなきゃいけない問題だろうって思って。でもやったら取り消し！みたいな。でー，数学は半分位。化学も半分位（笑）化学むずかったですねー。でも冬期の授業で、アミノ酸の形？アミノ酸の構造式みて、なにって言えるようにしておいた方がいいって授業でいわれたんで、言われた通りやっといたら、結構稼げた感じですね。昭和はあれけっこう大事ですね。アミノ酸の構造式とか。覚えといて、名前が、パって出るようにする…。昭和で大事だったと思います、化学は。

疑問をすぐに解消⇒達成感⇒さらに勉強が進む。

去年は AA ってとこで、授業しない系の…なんか（笑）、授業しないやつ。課題を１週間ごとに出されて、で、その進捗…１週間の終わりに、進捗と分析反省を書いて…メールで送って。で、週一回面談、みたいな（笑）。安かったんで。自習というか計算トレーニングというか、自分でやる…。教えてくれる人はいません。面談してくれる人は居るんですけど方針ってだけで…あんまり。まあ、メールで質問すれば、で適切な質問ってあっちが判断したら…塾行ったときに返してくれる（笑）。去年は、質問がしづらかったのが…まあ、根本的に授業なしってのが敗因だった気もしますけど（笑）まあ安かった…、東京一安い（笑）。その前に駿台行ってたんですけどついていけなくて。だから自習でまずは自分で進めた方がいいよなと思って…。間違えました完全に（笑）。メールで送んなきゃいけないってめんどくさいし…返ってもこないんで、もっとめんどくさくなって…。やっぱりこっちの環境はすげぇありがたかったです。先生いつでもいるし、ちゃんと勉強…、知識だけじゃなくて、アドバイスも自分を診てくれた上で言ってくれる…。これまでとは全然違いました。
先生達に言われて今年はとくに気を付けてたことがあって…、えーっとまず疑問点を…、疑問を残さない。しっかりその場で理解する。まあすでに自分は塾選びでも失敗してるんでそこからも学んだことなんですけど。最初の方から、もうセミナーで分かんないとこあったら、深瀧先生とか色んな先生に聞きにいって。質問したっていう記憶も残るし、それはそれで収穫かなーと思って。とにかく疑問…わかんないなーってなったら、一応自分なりに考えてから聞くと、まあ解決される。解決されて…達成感もあるし。その達成感をもとにまた勉強が進むっていう…、モチベーションが上がってく、保てるって感じ。

８月下旬のゆるみで９月マンスリーは初のランキング外。最後は総合５位に浮上

なんだろ。８月おわりはたるんじゃって…。マンスリーもなく、授業…自習時間多いとき、まそれで…なんだろ自習時間多くなるとたるみましたね。やばかった…そうですね。授業あって量こなしてるときは余計な事あんま考えなかった気がしますね。ひたすらに授業の予習復習…まあ量こなすことで集中してくるというか。そのゆるみのせいか９月１週目のマンスリーで…かなり落ち込んで。180 点くらい？総合ランキング載んなかったんです。この時期に載らないのはかなりキツイなって…ちょっとへこみましたね。その…どこもどの大学も受かんないんじゃないかって…。そん時 M4 のクラスで一番低い点数とったりしてー…、計算ミスが減らない現状に、…苦しんでた（笑）。それが…１番キツかったかな…９月のやつは計算ミスが結構多くて出

来なかった形なんで。だって数学すごいですよ 21 点でしたから、確か。で薄先生に相談したらゆっくり丁寧に解きなさいって励ましてもらって。でなんとか最後の方、マンスリーで 5 位とってー…あ、一番最後、そうですね。それが…結構嬉しかったですね。274 点。んーそうですね。まあ目に見える結果として。それが…、嬉しかったですね。いや。まあでも、警戒はしてましたね。生物簡単だったし、日医目指してたんで。まあそこは全然気を引き締めて行こうと。これは『まぐれ』だって。。ちょっと悲観的に（笑）。冷静に受け取るようにはしていましたけど（笑）

工夫を織り交ぜた勉強時間の確保と添削指導、先生達からのキツイ愛情あるダメ出し

石井先生は最初に、その日の授業でやったことを、思い出せるように、それを意識して勉強するようにと話してくれて、授業中にポストイットとかに、その分かんなかった知らなかった知識とか書いといて、で帰りに、そのポストイット束ねたやつ、単語カードみたいにして、思い出すとか、だからそうやって勉強時間確保してましたね。石井先生の話聞いて、結構、勉強にも工夫を取り入れるようになりました。石井先生は英語の授業自体もすごい、かなり細かいところまでみて下さって、すごい出るところをちゃんと言ってくれる、やってくれる、って感じです。モチベもすごい、高めてくれるんで。情報も多いし。

あとたくさん添削してもらってたのは青葉先生ですね、なんか…論理的に、解答根拠示してくれるし、なんだろ。速読も意識しつつ、考えて解くって事。英作とか出しに行っても、親切に見てくれて、この前とかも。結構ちゃんと指摘してくれたので、日医対策も。結構良かったです（笑）青葉先生のとこ、よく行ってましたね。

数学は山室先生と 2 学期からのマンツー、あれが無かったら…、あれかなりでかいっすねちゃんとやってなかったら…。ほんとに提出…、汚い字で提出してもみてくれてほんとに…（笑）結構出ましたね、ベクトルとか確率、すごい重要なところやって下さってほんとにありがたかったです。薄先生はほんとまあすごい…厳しい（笑）んーと厳しいこと言ってくださって。後期とか…「おまえほんとにヤバいよ」とか（笑）平パンも。厳しい事言ってくれる先生は、すごい有り難いんです。普通は言わないと思うんで、あんま言いたくないんだろうけど、んー嫌われたりイヤだろうし…。うーん平パンは無神経なだけかもしれないですけど（笑）わかんないですけど（笑）。平パンも最初の方に、最初の春休みのさきどりの課題を解いたの見せに行ったら、Basic からやったほうがいいよーって最初に言われて。まあそこでなんか、結構キツイこと言う先生いるなあみたく…。ただそうやってちゃんと指摘してくれたり、会った時声かけて気にしてくれたり、言ってくれたおかげで結構がんばれたってのがありますね。薄先生と平パンのおかげで間違った方向へいかずに…、道踏み外さずに…。

三上先生も厳しい…んあーその、モチベーションを上げてくれるって感じですね。授業中に、速い解き方あんのに、遅い解き方してたら、それじゃダメだよみたいな口調きつい…でもああダメなんだ、って反省できるってのがやっぱ。いや、ちゃんと愛情を感じてますよ（笑）。愛情感じるから反省できる…。質問もちゃんと答えてくれるし。ちゃんと考えなさい。って言われるし。最後の方は結構優しかったです。（笑）受験のために…、自分の場合は厳しい先生の方がためになるな、と思ってたんで。

深瀧先生はまあ一番最初からほんとにお世話になってる先生で、2 月の春の最初の先取りのところから。セミナーとか、めちゃくちゃ質問行きましたし、そのたびに、結構、疑問をちゃんと解決してくれて、なんかすごい結構絵もうまいし、図示がうまいんで。すごい伝わりやすかったし。まあ、ふつうに頭がいいですよね（笑）ほんとにすごいと思います。（笑）授業も、細かい、なんか独自のプリントもあって。あと余談で言うことが、入試に出たり。まあまったく無駄のない、授業でしたね。まあ深瀧先生もそうですし、ほかの先生、他の生物の緒方先生とか、山崎先生とかそうですね。

小論は去年まったく対策してなかったんで、面接とかまったく…あの塾。前の塾でやってなかったんで、ちょっとどうしたらいいですか、大丈夫ですか、みたいな、高橋先生に声かけてもらった時に。代官山は 1 学期から対策あるし、でも不安だから少しだけマンツーを。でそれだけ。聖マとか過去問使ってやった感じですかね。結構技術的なアドバイス…、その技術的なアドバイスのおかげで、けっこう…だいたいの文章の、なんか、二項対立が、把握できるようになった。日大とか。たぶん難しかったと思うんですけど。けっこう…いけましたね。けっこういけました。

自分でも、レビューテストとか自分なりにやり込んで。ま、やればできるテスト。英作文覚えて、例文覚えて。化学とか生物とかはまあ提出範囲とか決まってるんで、じっくりやった感じですかね、その範囲を。付け焼刃はよくないんで…。なんか課題が、課題というか目の前に…。課題がいっぱい提出されてたんで、マンスリーとかウィークリーとか、あと普通の授業の宿題とか。優先順位があって何をやるべきか簡単に決められたんでやりやすかったですね。

当たり前のことを当たり前にやる。勉強すればするほど見えてくるものがある。

後輩に向けて、伝えておきたいのは、目標、志望校を、ましっかりと、まあ、ずっと守っておくこと。そうすれば、モチベが上がると思うんで。その時点での成績とか、どうとかあんま関係なくて。自分も、まあ昭和とか受かると思ってなかったし。今の現状は関係なく。校則にもあるように志望校を決めて、2 ランク上げて。さいしょっから…うーん、まあ自分に何が足りないのかっていうのを、ちゃんと見てみたほうがいいかなーっと思います。あと朝来ること。疑問点を残さないこと。あと、その人に合った戦略を…うーん、得意教科とか不得意とか、まあ勉強すればするほど、まあ見えてくると思うんですけど。得意な科目はしっかり伸ばしきること、…で、苦手科目をまあ最低ライン、死守すること。…が戦略として大事かなーと思ってます、総合点なんで。小論文も 1 学期からやんないといけない。やっぱ 1 次通ったとこ全部 2 次来たってのはちゃんと 1 学期からやってたから…。えーいや…まあ、石井先生や薄先生もおっしゃっると思うんですけど、まあ先生が言ってることを普通に、素直に…先輩が言ってることとか、授業で先生が言ってることとか、を素直に、まあ普通の事を、当たり前のことを当たり前にやるのが大切だと思います。代官山は当たり前のことを当たり前にやらなきゃいけないっていう環境だったし、周りがそうさせてくれた。なんか一番密度の濃い時間だった気がしますね。まあ色んな意味で。まあ嬉しかったこともあるし、まあ、まあ、辛いキツかった…まあだいたい浪人はキツいと思うんですけど…まあ密度が濃かったなーと思います。まあ早稲田実業（高校）もよかったですけどね（笑）まああんま受験って感じじゃ無かったんで。代官山みたいに、いやー…管理され…ないと多分、自分はしっかりできなかったと思うんで。多分ここまでの合格校数はキツかったと思いますね。周りがいるのもデカいですね。伊藤さん（昭和特待）とか、めちゃくちゃ朝早かったし、机もきれいだし。（笑）まあ特待だし。そういう人と学べるって、普通…だけど自分にはすごくありがたかったなと思います。

卒業生が語る

合格への軌跡 2020年

WAY TO SUCCESS

帝京大医学部	2次正規合格
獨協医科大	2次正規合格
金沢医科大前期	2次合格

偏差値30スタートで、ホント最初はここまで来れるとは思わなかった。代官山の環境ならこれ以上の所ないと思うんですよ。マジで。

帝京大医学部進学　三鶴 隆晃君（青山学院高等部卒）

1次は…ええっと…まず帝京が来て、獨協・聖マリ・日大、金沢、で、後期の昭和が来たんで、6校ですね全部で。日医は、前期の方は、「あぁ～もう受かんねぇ～な」って思ったんですけど、後期の方は意外と…、あっ、いけるかも？英語も全部解き終わって、英作もできて、なんか、ワンチャン？なんて思ったんですけどね。ふふっ、はい。全然甘くなかったです(笑)。日医、得点開示、出てきたらちょっと楽しみなんですけど(笑)、また持ってきますね。

一番最初に2次が来たのは、帝京で正規でした。帝京は英語・化学・生物です。英語もはまったんですよ、帝京は。記述も全部スラスラ解けて、「これはキテル！」と思って。面接は周りのブースを見れてなかったほどもうめちゃめちゃ緊張してたんですよ、もぅ～ガチガチで。練習していたとはいえ、初めての面接なんで。声も震えちゃってたんですけど。いやぁ～そうですね。面接官の対応がすごい、なんていうか…優しかったですね。「あぁ～なるほどね。ありがとう。ありがとう。」って、なんか下からくるって感じで。であとは「今までで読んだ中で面白かった本」とか、「帝京行ったら何したい？」とか「部活以外に頑張りたいこと」とか色々聞かれて、「あぁ～そうか、そうか。じゃあ入ったら頑張ってね。」みたいなことだったんで、あぁ～来たのかな？いやどっちだ？って思ってました。

まさかこんな俺が受かるとは思ってなかった、お母さんめっちゃ泣いてました。

自分、聖マは1次通ったんですけど、聖マの2次が日大の1次と被ってたんですよ。で、それがあって帝京が聖マの前日で正規だったら、日大受けられるなぁ～ってなってて、そしたら「正規」で、まぁ～めちゃめちゃ嬉しかったんですけど、何かう～んすぐ日大の気持ちに切り替わってて、合格に浸る時間がなかったな～って思いますね。でもほんと…お父さん、お母ちゃんも喜んでましたね、すごい。泣いてましたけど。あっ、お母さんはめっちゃ泣いてました。まさか…こんな…俺が受かるとは思ってなかったんですよ。バカなんで。ほんとヤバいんですよ。よくホントに受かったなぁ～って思います。最初の…現役の時、偏差値30ぐらいで。現役の時は、S台とトー○○に行ってました個人指導の。そこのメディックトー○○っていう、医学部専門の。いやぁ～もう、全然ダメでしたね。偏差値30…良くて生物が39とかで。もう数学とか30切るくらいでしたね。この1年でほんとよく受かったなぁ～って思いますね(笑)。あっ、だからダメだったらまた今年1年ここ(代官山MEDICAL)にいよう～と思ってたんですけど(笑)。
実は3月の終わりぐらいにマンションのゴミ捨て場に、パンフレットの軌跡にいる人、この人関口君が、同じマンションだったみたいで。代官山に通ってたその人のテキストが置いてあって。名前が書いてあって、ちゃんと。関口君はしかも東邦行ったみたいな。そうですよね？そのテキストを父親が見つけて持ってきたのが代官山との出会いですね。これヤバくないか？って。書き込みがえぐくて、めちゃくちゃ黒くなってるテキスト。消しカスとか、手あかとか。もうその度合いがヤバくて。やり込み具合と内容見てもうここしかないんじゃない？みたいな。で、ここに説明会来ました。それが代官山との出会いですね、最初の。いやぁホントに、代官山来て良かったです。ホントにそう思います。本当にここにして良かったです。マジでホントに思います。ここ以外だったら、絶対もう諦めてますね今頃。コロナに巻き込まれて、もう成績も落ちて、医学部なんて行けないですよ。たぶん、はい。今年も高校の友達で何人か1浪組がいたんですけど、6人ぐらいいたんですけど、受かったの自分だけで、あとみんな2浪決定かな…。

6,7月どうせ自分なんてと遅い時間に来ちゃってた。結構後悔しています、今。

浪人が決まって全滅で。まぁ～もちろん手ごたえは元々無かったんですけど、まぁ～今年1年じゃ受かんねぇじゃないかってめっちゃ思ってて、いくら代官山が1年で受かるっていっても…。実際受かってる話は聞いていたんですけど、俺だったら2年かな？って思ってたんで、最初の方はあまり乗り気っていうか、まぁ～すぐ伸びないんだろうな～どうせ、みたいなテンションでやってたんですよ。で、なんか日曜日とかも寝坊して朝10時とか11時に来ちゃったり。6月、7月くらいになると、まぁ9時とか、1限ない時は11時とかに来ちゃったりした日もあるんですよね。やっぱそのへんが…ダメでしたね。いや結構後悔しています、今。そこちゃんとやってたら、昭和か日大来たかな？って、マジでホントにめっちゃ、ホント後悔しています。で、9月、10月くらいから、なんかやっぱちゃんとやった方がいいかなって思って。朝も遅くても1限までには、9時までには絶対来ようと思ってて、休む日を無くそうと思ってましたね。はい。絶対来ようと思ってました。毎日。必ず。あっ、でも1回だけ熱出して休んじゃったんですけど、高熱で早退して。はい。9月の終わりくらいですかね。それ以外はもう絶対来ようと思って、それを条件に、自分の中の条件にして、最後までやろうかなぁ～と思って…はい、上がってきましたね、最後は。
入塾したときは、A6、最後がA3でした。最後の方、俺2号館行けちゃうんじゃないかなぁ～と思ったんですけど、正直…言っちゃうと。ダメでした。調子乗っちゃうと思ったんですかね？最後1回だけですもんね、点数良かったの。でも本館で良かったです。浮かれなかったというのもあるんで。最後まで追い込めました。

11月から点数取れるようになって、最後のマンスリーで総合ランキング初載り。いやぁ嬉しかったですね。

代官山のシステム通り、家に勉強持ち込むことはやらず、全部ここでしたね。まぁ～平日夜9時30分までここ、9時30分直前くらいまでやって、やること終わんなくても、そこで一旦終わらせて、家帰ったらご飯食べて寝るだけにして、次の日の朝また早く来てやろうみたいなことは、ずっと意識してましたね。まぁ～1年通してって感じなんですけど。さっき言ったみたいに、毎日来ようって。気分が乗んなくても毎日来て、授業受けて、自習椅子座ってよう～みたいに思ってましたね。

11月のマンスリーでは結構取れて、今回運が良かっただけなのかなぁ～と思ってたんですけど、、12月取れなかったら実力じゃないなぁ～ってむしろ思ってたんですけど。でも、12月も取れて第9回は、そう、ランキング載った時はいやぁ嬉しかったですね。最後の第9回マンスリーで、ランキングに載るの初めてでした。初載りでしたね、総合ランキングは嬉しかったです。めちゃめちゃ。だってもう247とかですよ。もうちょっと最初にやってれば、上がれた流れだったっていうか、そうですよね、本当、敗因は1学期の生活習慣ですね。いやっ、ホントに思ってます。自分でも。ちょっとナメてましたね。あん時は。調子こいてました。絶対。三鶴君うるさいって何回か言われて(笑)、何回か職員の人に怒られて、いや、はい。覚えてます。うるさかったですね。ちょっと申し訳ないです。すいません。なんか俺の声でかいのかもですね。まぁ～そのへんも敗因ですね。

暗記はﾏﾝﾂｰﾌﾞｰｽでホワイトボードに書きなぐったり、専用自習席に付箋貼ったり工夫できた。

暗記物、自習席に色々貼って、それが活きたと思います。あとたま～に化学とか有機で構造式を書くときや、自分で構造決定を解く時は、マンツーブース借りて、ホワイトボードに書きなぐってました。後期ぐらいからは小っちゃい知識…例えばじゃんけん公式とかあったじゃないですか？あれなかなか覚えられなくて、ああいうのを顔上げたら見れる所に貼ってこうってましたね。それが結構効いたんだと思います。完璧に覚えられたやつは剥がしてって、ちょっと怪しいやつは残しておいて。あれが…ああいうごちゃごちゃしたのが落ち着くんですよね。みんなが綺麗に貼っているよりは、すんごい汚い方がなんか落ち着くんですよ。机がいっぱいいっぱいの方が、なんかやってるなぁ～って感じで、自信にもなるんですよね。あと、後期で導入したのは、ぜんぜん伸びなくて悩んで取り入れたのは、下のセブンイレブンでめっちゃ小さい手帳売ってるんですよ、水色の。それを生物・化学・英語で買って、3冊分を。で～、化学は有機と有機・無機のノートと理論と生物で、英語は文法、4冊くらい用意して、付箋に貼ってあることも手帳に書いて、行き帰りの電車でみかえせるようにしたり、あとは横井先生の凄い細かい知識とかを逐一書き込んで、授業中に。あと生物だったら緒方先生とかが教えてくれることも書き込んで、いつでも復習できるようにしたっていうのは、結構後半効いたのかなって思います。結構試験に出たっていうか、そこからも出ましたし、試験直前もそれみかえしたりして、それが当たったっていうのもあったんで。はい、それが良かったと思います。化学と生物が伸びていったのは。

わかんなくなったらすぐ６階行って先生捕まえて質問してっていう環境が良かった。

数学はやっぱ村上先生ですかね。1年間、まぁ～1学期は夜間と第5集でお世話になってて、授業の最初にその単元のポイントを言葉でまとめて書いてくれるんです。言葉で、はい。ポイントを【～の時は～】、【こういう時は～をする】みたいな言葉で書いてくれるんで、俺理解力全然無いんで、そうやってやってくれると、かみ砕いてあって理解できるなぁ～って分かりやすかったです。あぁ～もうすごくいいなぁ～と思って。基礎…本当に死んでたんで、夏からマンツーお世話になって、ずーっと見てもらいました。はい。いやぁ～ホント村上先生のおかげでしたね。日医の対策も一応、無謀ながら第一志望だったんで、専用のプリントも作ってくださいましたし、あと、日大と東邦の前もプリントを用意してもらってやったら、まぁ東邦は落ちちゃったんですけど、数学はマジで7割、8割くらい取れてたんで。はい。日大も受かりましたし1次は。村上先生のおかげで。色んな解法もやってくださるんで。はい。ちょっと板書が早いんですけど。それがまぁ～ついていくのが大変なんですよ。マジで。絶対遅れちゃうんですよ。どんなに急いでも。あと、いつ質問に行っても丁寧にやってくださるんで、ごくたまにコーヒー買いに行っちゃっていないんですけど、そん時少し待てば、そしたらすごく丁寧にやってくださるんで。村上先生はすぐ帰って来ます、帰って来ます。質問も自分はわかんなくなっちゃたら、すぐイライラしちゃうんで自習中も。次のステップにいけないんですよ。これはあとで聞こうみたいなの無理で。だからもうわかんなくなったらすぐ行って、6階に行って村上先生を捕まえて質問してっていう環境も良かったですね。すぐ質問いけるっていうのが。

現役の時マジわかんなくて焦った電離平衡だったけど、代官山でだとこんなすぐ理解できるもんなんだな～と感心しました。

三上先生は、やっぱ初心者に分かりやすいっていうか。後期は夜間も見てもらって、後期は自分が解いて行きたいと思っていたので、分からない時に質問すると、ホワイトボードを大きく使って、ひとり…まぁ～全員に対してもだと思うんですけど、自分が質問したことを大々的にやってくれたりするんで…内容入ってきやすかったですね。あと、原先生はすごい面白いですし、やっぱり分かりやすいっていうのが大きかったですね。結構電離平衡とか、平衡、溶解度積が一番つまずくと思うんですけど、化学受験する人って。で～現役の時全然そこだけマジわかんなくて焦ったんですけど、なんか代官山だったら、1コマ・2コマ電離平衡をちょっとやってもらえれば、何かここだけ抑えておけっていうとこをやっておけば、どの問題も対応できてたんで、リン酸だったりとかできるようになったんで、まぁこんなすぐ理解できるもんなんだな～、と感心しましたね。感動しました。臼井先生も最初テンポ早くて、ん～と思ったんですけど、でも後期無機担当してもらって、徐々に自分が出来るようになってきたなぁ～と思って受けたら、すごいためになる内容で、知識をすごい入れてくれるんで、それも良かったです。そうですね、代官山の先生、ホント分かりやすいなぁ～って終始思ってましたね、先生充実しているなぁ～と思いました。こんな分かりやすい先生会ったことないなぁ～って感じです。3人とも、はい。

三鶴ちゃんと呼ばれるのが嬉しくなって授業も楽しくなってやる気に繋がった。

生物はもう…緒方先生と石原先生ですかね。緒方先生はもうずーっとお世話になって、あとなんか名前を、呼び方ですかね。みんなすぐ下の名前で呼んでくれるんですよ。何か俺だけ三鶴ちゃんっていう呼び方で、上の名前でちゃんづけで…ほんと初めての呼ばれ方なんですけど、逆にそれが徐々に親近感になって。はい、三鶴ちゃんが。呼ばれるのが嬉しくなってきちゃって、で、なんか授業も楽しくなりましたし、緒方先生に当てられたいなぁ～という気持ちも強くなったんで、生物知識入れて、で、当てられたら、直ぐに答えられるようにしようと思ったりやる気も上がりました。で、6月くらいから、もうお前はもう過去問やった方がいいって言われたんで、ずっとみてもらってたんで直前まで。やって持ってって、アドバイスもらったり本番前に繋がりましたね。まぁ～本番生物を安心して解けたって感じでした。お世話になりました。ホントに。あと、石原先生ももうめちゃめちゃお世話になりました。石原先生は、何か全然ナメている感じじゃないんですけど、なんか距離感が近くて友達みたいな。それが良かったんですよね。石原先生…緒方先生ってすごい人気じゃないですか。列が出来ちゃって。石原先生って、人気ももちろんあるんですけど、最初授業終わったあといないんですよね。タバコ吸いに行っちゃって。だから列ができないんですよ。石原先生は。何でもう先生が行っている間にそこで待ってて、来たらすぐ質問できるんでそれも良かったですし、何か質問している時もなんか重くなんないっていうか、軽くこうやればいいんじゃないの？みたいな、そういう軽い感じだったんで相談しやすかったですね。もうめちゃくちゃ良かったです、石原先生。今も会いたいですし。

写経をして、どっぷり英語に慣れた。言われたらやるしかないけどどうせやるなら意識して。

石井先生は授業もすごく良かったんですけど、なんかチョイチョイ挟まれるその～石井先生の昔の話とか、外国人と一緒に住んでいた話とか、卒業生の話とか、で、こいつはこんな感じだったみたいな。チョイチョイ挟んでくれるそういう話が好きで楽しみでしたし、長文…メインが長文だったんですけど、θのテキストの内容がめっちゃ医学部だったし。長文の中から文章をピックアップして、先生が文構造を解析して、意味とかみんなチョイチョイ当てられるんですけど、最後先生に訳言って、じゃあこれ誰かもう1回訳して？みたいなのが定番の流れっていうか。その場でもう1回文章の和訳を発表するっていうので結構力ついたかな？って思いました。どういう順番で訳していけばいいのかとかが、習慣化したということはでかいっすよね。当てられなくても考えましたし。

2学期の終わりころだったっすかね、石井先生の授業で本番中にしちゃいけないことは何かみたいなこと聞かれて。で、本番中…本番中だから何なんだろうな～って、まぁ欠伸(あくび)とかですか？って言ったら、わかんないですけど、全然とんちんかんな答えだったらしくて、なんか罰として写経させられたんですよ(笑)。周りも…。700選をたしか200・300くらいまで。それが結構11月の終わりとかで、いま？みたいな感じだった

んですね。本当はやりたくなかったんですけど、言われたらやるしかなくて。でもその写経したのが、文法の復習になったというか、英語にどっぷり…慣れたって感じで。300までを1文5回ずつなんで、まぁ1500くらいですかねざっと。イヤイヤやってたんじゃ、手に…身につかないんじゃないかって。だからどうせやるなら、なんていうか、意識したんですよね。写経の課題やるだけじゃなくて。書くスピードも大事かな？って思ったんですけど、雑になりすぎないくらいに早めに…文構造も考えてやりました。文構造もどうしてこういう訳になるのかとか、先ず訳見て書けるかどうか、それも意識してやっていきましたね。そしたら英語に慣れていって、直前成績に直結した気がして、ちょっと自信になりましたね。ランキングにも載れたし。英語に慣れた、写経っていいなと思って、そのあとから長文の写経も自分からやってみたりして、取り入れましたね。写経は。意外とナメてました、写経を。良かったです。途中からでもやっててよかったなと思ってます。

代官山はやっぱ拘束力。授業数が多くてさぼれる時間がなく、自分の勉強スペースが用意されてさぼる場所もない。

代官山はやっぱ拘束力ですね。もうこの代官山の、なんか言い方ちょっと見つからないんですけど…囲ってくれる？その自習室が、専用の自習室があって、いつでも自分の勉強できるスペースが用意されてて、かつ授業のコマ数多くて、サボれる…まぁサボれるって言い方あれですけど、自分で休もうって思っちゃう時間がないというか、そういう拘束力が凄かったです。朝9時から夜9時30分まで。やっぱ現役の時の自分の悪かった所は、朝遅かったり、夜遅くまで勉強もしない時もあったのに夜更かししてたんで、まずそういうところから矯正できたのはすごく良かったですね。あとはそうですね、先生の質問のしやすさですかね。もうすぐ行けば、まぁ誰かしら普段自分がお世話になっている先生がいたらすぐ行くんですけど、他のレギュラーでお世話になっている先生とかいたら、五十嵐先生とかそうだったんですけど、すぐ聞きに行けましたし、分かんないことがすぐ解決できるっていうのが良かったですね。はい。え〜あとは、Monthlyが良かったですね。やっぱり。月1で、結構S台だと3か月に1回しかないし、忘れたころに成績届くし。そうするとなんか目標が遠くなって、まだ3か月もあるじゃんってみたいな感覚になっちゃうんで、Monthlyだと1回終わっても3週間くらいで、3週間中では来るんで。で、Monthly終わって勉強してても、気づいたら、あったMonthlyじゃんって思って。じゃあMonthlyだから次からはMonthly終わったら、次休むっていうか、次のMonthlyに向けていこうみたいな、計画が立てやすかったですね。Monthlyのおかげで。成績表も1週間くらいで返却されるし、ランキングも貼り出されるし、モチベーションにもなりましたし、本番の練習にもなりました。それが凄い良かったですね。

偏差値30スタートで１年で医学部合格。

後輩へ一言、そうですね、偏差値30スタートで、結構ここまで来れたんで。医学部は難関ですよ。もちろん。ホント最初はここまで来れるとは思わなかったんで、最初どんなクラスでも1年ホントにコツコツやっていけば、絶対受かると思うんで、特に代官山の環境ならこれ以上の所ないと思うんですよ。マジで。自分でもし子供が出来たら入れたいくらいですし、こんな環境の塾だったら。そんぐらいいい環境なんで、先生たち信じて、まあ自分も信じて最後まで諦めないでやって欲しいなぁ〜と思います。

いっぱい受かった(笑)。やっと終わった

えっと、一次試験受かったところが、日医、国際、東邦、女子医、帝京、東北医科薬科、埼玉、岩手の以上8校です。いっぱい受かった（笑）。二次きたのは、東邦、国際、女子医、帝京、岩手の以上5校です。国際医療はC補欠です。3月の24日にきました。でもその日、私は3日連続で２次の繰り上げ連絡が女子医、国際、岩手って、ポンポンポンときました。23に女子医、24に国際、25に岩手って。あと東邦はもっと早くて、3月の17にきました。帝京は正規。もうやっと終わったぁ、受験が終わったっていう安心感と、なんかこう、今まで代官山ですごい生活が苦しかったから…、苦しかったっていうか、勉強量が多かったり、点数競ったり大変だったから安心と嬉しいので本館の前でケータイでみた瞬間、もうそこで泣いちゃいました。
帝京に行く覚悟はあったんですけど、日医の後期をリベンジして、後期一次は受かったんです(笑)。
受験の初日は、国際医療で、不安だったけど受かって。面談で決めておいたんですけど2次の面接日が、第２希望で通って、結局、聖マリ受けられなかったんです。それも石井先生にあえて聖マリと国際の第２希望日でぶつけようって言われてたんで、私が聖マリ受ける必要がないと（先生は）思ってくれてたみたいで…。あと、その国際の面接日に、岩手の2次をぶつけていたんですけど、石井先生に相談して、どうですか？っていう風に言ったら、岩手の面接の時間が早かったし、国際医療の集合時間は遅かったから、「神田からなら間に合う」って。行ってよかったです。

最初、私ここ一人できたんですけど、なんかもう占い師ですかってレベルで見抜かれて(笑)

去年は市ヶ谷の大手予備学校に通ってたんですけど、なんか、すごい出来る人がいて、で、そうでない人もいて、二極端で、もう先生方は上しか見てないので、なんか私はそこでもう私はできない状態で入ったのでSに。なのでまずどうしたらいいのかもわからないし、先生に質問しに行こうと思っても、やっぱり生徒の人数が多いから、時間的にも厳しかったりってのもあって、最初からこっちくれば良かったなって思いました。SはA、B、C、D、E、Fの6クラスで、私は下から二番目とかでした。代官山には、高橋愛梨さん(東京医科大進学)の紹介できました、あっ、あと石川直毅くん(日本大医学部進学)も代官山で受かってたし、石川君と私は幼稚園の同級生で、お母さん同士がすごく仲良くしてて。代官山はすごく良いよって。高橋愛梨先輩ともコロナが落ち着いたらご飯行こうねって話してくださってるんですけど。…で、ここに来て、石井先生に面談していただいて、最初、私ここ一人できたんですけど、なんかもう占い師ですかってレベルで見抜かれて(笑)。ほんとすごい。もう、ここで頑張ろうと思いました。

「次悪いと落ちる」って言われて。もう大号泣（笑）–悔しさがバネになった

えーっと、最初がM5で、最後がM4。なんか一回目のクラス替えの時に、7月ん？6月だったかな、石井先生のクラスで、誰々さん上がるよ、誰々くんあがるよって言ってて、「私は？」って石井先生のところへ行って聞いたら、「次悪いと落ちる」って葉っぱかけていただいて。でもその時はもう大号泣（笑）。今思えばすごいクラスにいたなー、今泉君（昭和特待）とか百瀬さん（日医進学）とか。松前君（日大進学）もそうですし。M5のみんながバーッて上がっていって、で、すごい取り残された感じがあって、もうすごい悔しくて。でもそれもバネになって、最後頑張れました。マンスリーのランキングでMなのに私一人だけ載らないことがざらにあって。愚痴になっちゃうんですけど、載ってる子が私載ってないのって笑ってきたりして、すごい悔しくて。その子よりいい大学行ってやろうって思って。でもまあ悔しさがバネになったのはよかったっていうか、そういうのが大きなモチベーションになりました。絶対うかるぞ！って

朝来て頑張れる環境は代官山だからこそ。

石井先生が授業できっと今年も生徒に話していると思うんですけど、朝同じ時間で頑張り続けることの大事さっていうか。だからタイムカードの打刻時間が…大体同じなんですよ。でもそっちのほうが体力的にも楽で。あんまズレない方が私はこうリズムができて良かったです。朝授業前に毎回テストの復習必ずして、マンスリー終わった後は時間配分とか受け方自体の振り返りとか全部紙に起こして、でそれを持って、先生に相談に行ったりとか。あと全科目の自己採とこんな感じだったっていうのを緒方先生とかに持ってってアドバイスいただいてました。次のマンスリーに向けてできなかったところは絶対、マンスリー終わった1週間とか2週間とかぐらいには必要なものはまあきちんとやってました。帰りは9時半過ぎにいつも前原さん（埼玉医科大進学）と一緒に帰って、今日あったこととか話しながら帰って。もう前ちゃんの存在はおっきくって。家近いんです。でも電車がちょっと違うんですけど、もう前ちゃんいなかったら多分私もさっさと帰ってたと思うし、一緒に頑張れたのは前ちゃんがおっきいです。すごい彼女も努力を惜しまない方じゃないですか。だから頑張ろうと思ったし、んとに前ちゃん生物すごい強いじゃないですか。で、私もうほんとに生物できなかったので、恥捨てて、前ちゃんにどうしたら生物できるようになるの？って話かけたんですよ。でそれきっかけで話すようになって（笑）。朝早く来て、もちろん自習時間が長く持てるし、あとなんか、その体力がほんとに本番でもちゃんと活きて、本番って朝からあるから、例えば、私は6時半に来て勉強してたけど、テストの時もなんかその時間にちゃんと頭が働いてる状態で臨めるから。そういう高め合える友達とか、朝来れるっていうか頑張れる環境は代官山だからこそだったと思います。

授業外でも、明日ここの大学の試験なんですって言ったら、傾向とかいろいろ教えて下さって。

英語は三ツ橋先生にすごくお世話になっていて。マンツーも取ってたし。三ツ橋先生って語彙のボキャブラリーの量がすごい多くって、一個の意味に対して、いろんな単語を教えて下さったりとか、あと逆に一個の単語でいろんな意味を教えて下さったりとか、それはすごいだいぶ力がついて、私文法が弱かったんですけど、そういうところとかきちんと埋めて下さったりとかしてて。三ツ橋先生に教えてもらって単語の量はほんとに増えました。一人でやるより三ツ橋先生とやったほうが単語のペースがつかめます。あと青葉先生はマンツーじゃなくて集団でお世話になってたんですけど、授業外でも、明日ここの大学の試験なんですって言ったら、じゃあこういうところに注意してとか、ここの大学はこういう傾向があるからっていう風にいろいろ教えて下さったりとかして、最後までお世話になりました。授業外でもどの先生も質問いくと丁寧に応えてくださってたくさんお世話になりました。
青葉先生も結構カリキュラムみたいなの作ってくれて、これ何日までにやってみたいな。英作とかも結構丁寧に見てくださいました。見せに行ってました、結構みんなも行ってましたし。

石井先生の授業では当てて欲しいアピールを。当たるとそこ覚えますし、忘れない。

ホントに石井先生の授業は私当てられなかった時の授業が、ほんとに指で数えられるぐらい、大体当てて下さってて、私最初はなんか存在消そうと思ってたんですけど、ここに来た時は。なんですけど、最初の石井先生の授業で3人目で当てられて。存在消すのは諦めました。当てられない時の方が少ないので、もうだったら当てて欲しいところで当たりたいと思って、当てて欲しいアピールしてました(笑)。すごい目、合わせたりとか（笑）。なんかちょっと自信ありげな感じで。英作文は絶対当たってました。当たるとそこ覚えますし、忘れないですね。
他の科目に比べると英語は余裕あったんですけれど、石井先生の授業なかったらまずいっていうか。石井先生の授業がある日は、やっぱり、がんばろって。火曜日と金曜日です。石井先生の復習は、あのおっきいテキストをすごいちっちゃくして、片手に収まるくらいのサイズに縮小コピーして、ペラペラめくってみてました。見える程度に縮小コピーして、スマホ見る代わりにそっち見てました。

平パンは神(笑)。東邦の数学で的中したとき、試験中平パンのドヤ顔がよぎった(笑)

数学は、平野先生と典さん大好きでした。平パンはなんかほんとに神で（笑）。なんかすごい私しごかれたほうの生徒なんですよ。マンツーでも。もう平パンが教えてくれるところ絶対試験で出るから、もうほんとにすごいタメになったし、東邦の数学の問題がまんま出た。的中したときに平パンのドヤ顔が浮かぶんですよ、頭の中に（笑）。試験中浮かびます。感謝してます。あ、これ出たわーみたいな、平パーンと思って（笑）。なんかドヤ顔がよぎった（笑）。平パンはいっつも、問題くれて、それを解いて解説してくれる感じで、私、なんだろう。ちゃんとした解き方を今までしてなくって。試験で、本番で使える解法を平パンに教わった。だから、本番で解くことができた。今までもすごい先生もいたんですけど、感動する解法とか、そのすごい先生のおかげで数学はすごい好きだったんですけど、初手が出ないというか、授業で感動して終わりって感じで、本番はあまり。ちょっと本番で使えないというか…。でも平野先生の授業は、自分でこう再現性が、じゃあこれ見てどうやるかって言われた時にちゃんとペンが動くのは平野先生の授業のおかげ。あと典さんはほんとにどんな時もなんかすごい優しいじゃないですか。私テキスト5、6集習ってたんですけど、もうほんとに私がわかんないってなっても、すごい精神面でも支えられて。質問にも行ってましたし、あと模試の成績とかマンスリーの成績を見せたりとかして、これやばいじゃんとか、ここ伸びてんじゃんとか、もうほんとに典さん大好きです。典さんはもう、典さん見るとなんか安心しちゃうんですよ。だからホントに試験期間中とか、典さ〜んって言ってました（笑）。

分かんない時に分かんないってもちゃんときちんと説明、飲み込める言葉で説明してくださるので腑に落ちる

化学は、三上先生と龍さんと原先生にお世話になりました。三上先生は、すごいこう、理論習ってたんですけど、すっごい分かりやすいし、あんま成績は、私はすごい頑張ろうってやった点数ではあるんですけど、で、一生懸命最後まで、化学嫌いだったんですけど、化学大っ嫌いだったんですけど、でも三上先生の授業をずっと一年間受けてて、最後まで気持ち切らさず嫌いでも頑張ろうって思えたのは先生の授業があったからです。

なんか、時と場合に寄るんですけど、分かんなかったら、分かんない時に分かんないっ言ってもちゃんときちんと説明、飲み込める言葉で説明してくださるので腑に落ちるというか。

授業中に流れを説明する一言一句を逃さずに、ノートにバーッて書いて。
授業中恥ずかしいって気持ちはあったんですけど、さらけだしてがむしゃらにやった。

生物は、緒方先生です。ほんとに私、生物の知識がホントになかったので、先生の言葉をそのまま飲み込んでて、で、緒方先生の板書はもちろんなんですけど、授業中に流れを説明する一言一句を逃さずに、ノートにバーッて書いて。先生が言ってることも全部書いてて、ほんとにノートは、人様にお見せできるようなものじゃないくらい、ほんと自由帳状態って感じ。でも自習室に戻って、きちんとその流れを頭で復元して、整理して、本番見返せるように整理してたんですけど、そこで止まったらもう緒方先生のとこに即、直行してっていうのをずっと続けてました。授業で殴り書き用のと、まとめのきれいな清書用と二冊持ってました。授業のたびに清書して。時間かかったんですけど、でもほんとに生物には一番力入れてて、私の周り、生物できる人がすごい多かったんですよ、私のクラス特に。だからほんとにいつもクラスのビリ争ってて、でもだからこそ頑張れたし、恥ずかしいって気持ちはあったんですけど、クラスにいると誰がどのくらいできるとかなんとなくわかるじゃないですか。だからさらけ出してがむしゃらにやってたほうが得だなって思って。でも、私の周り、結構生物できる人ばっかりで、前ちゃん（埼玉医科進学）、富永くん（愛知医科進学）。加藤りさ（金沢医科進学）。松前くん（日大進学）もそうだし、山本ゆり（東邦進学）もだし、麗ちゃん（聖マリ進学）。最初は百瀬さん（日医進学）もいましたね。全部先生の言われたものも全部やって、言われたことを全部そのまま覚えてっていうのをずっとやってました。夏も…。でやっと一回だけマンスリーのランキングに生物載った時が、7回かな、あって、それもうほんとに、ほんとに嬉しかった。取れない時は、生物9点とかあったけど（笑）。呼吸？神経？だったかな、9点っす(笑)。いやなんか私、ウィークリーのランキングも生物は全然載らなくて。すごい日曜日とかもこう、割と全科目やってましたけど、ウェイト重めにしてたんですよ。で、中々載らなくて、でも復習は絶対にしようって思っていて、だから結局私、ウィークリーのランキングに載ったの2学期になってから。でもほんとよかった、先生に会えなかったら受かってなかったって、それほんとに思います。今まで生物の先生で、良い先生に当たったことがないというか。すごい分かりやすい先生とか全然いなくって、でも代官山にきて緒方先生に出会って、なんかほんとにこの人についていけば伸びるなって思ったし、生物頑張ろうって思えたのはほんとに初めて。

代官山にきて、やらなきゃいけない環境になって、自分の認識が甘かったことに気づけた。

ほんとに代官山では人に恵まれたなってすごい思ってて、もちろん先生方もたくさんいらっしゃるし、皆さんすごい、ほんとに皆さんにお世話になったし、ってのもあるし、あと周りの一緒に頑張ろうっていう風に励まし合える、前ちゃんとかもそうですし、で落ち込んだ時も励ましてくれるし、良い時は一緒に笑ってくれる人とかいて、なんかほんとにそういう人たちに恵まれたなっていう風に思います。

去年は、なんか一人というか、自分一人だけで戦うような感じだったから。ここだとちゃんとクラスも細かく分かれてるから、大体誰がどのくらい出来てみたいなのわかるじゃないですか。で、自分に近い人がいたら負けたくないなとか、なんかそういう刺激になる人もいたし。生物でマンスリー載りたいとか、ランキング載りたいとかそういうのはすごい思ってました。英語は…、麗ちゃんには負けたくなかった。あと1点とか。

なんか、一浪目と比べてほんとになんか、ここにきて1浪目は甘かった、自分の認識が甘かったんだなっていうのはすごい感じたし、代官山にきてやらなきゃいけないっていう環境下になって、やっぱりこうしないと受からないんだっていう風に思えるようになりました。これだけやらないといけないんだなっていうのは思いました。

やっぱり最初はちょっと抵抗があって、なんかあの、すごい厳しいから不安で、でも入ってみたら、代官山生として生活してたら別にそれが当たり前になるから全然苦にもならなかったし、なんか、ちゃんとそうやってメリハリがついたからすごくよかったかなーって思います。

卒業生が語る

合格への軌跡 2020年

WAY TO SUCCESS

杏林大医学部	2次正規合格
埼玉医科大	後期2次正規合格
愛知医科大	2次正規合格

受験よりも先、今後生きていく上で必要な考え方を身につけられるから、それはなんか、いい人生経験になった。

杏林大医学部進学　進藤 晃仁 君(穎明館高校卒)

1次12校中9校合格。でも2次で面接の難しさを知った。

進藤：１次は、愛知医科大と…愛知と東医と、杏林、埼玉後期で４つです。2次来たのが愛知、杏林、埼玉後期。杏林は補欠合格47。そう、今泉って杏林特待でしょ？なんか1000万免除の上位15人しかいないやつだったらしい…。

森口：すげぇぇ、聞いた！蹴りましたとか言って。昭和特待だもんな。ええと僕は、１次来たのが愛知、岩手、昭和、近畿、北里、杏林、慈恵、日大、あと、昭和後期、もう1個足りない、待って下さい。帝京だ。石井先生が受けろって言って、そうです。僕は数学で受かりやすいって。3日申し込んで、2日目受かった。12分の9ですね。

進藤：9ってすげえよな。

森口：日医、東邦、慶應ですね、落ちたのが。２次来たのは帝京と杏林。見事にこう…2次で死んだ。2次で変なこと言ったっていうか、ううん、てかまあ、慈恵と昭和は評定平均で多分死んでるんで、評定2.9なんで。いやあ、受かんないです。

進藤：いや、2次じゃね？

森口：2次か…。昭和後期は、1分ぐらいで帰らされました。もういいわって。いやあ受かったのかなって自信満々で。変なこと絶対言ってないんですけど。

進藤：でも、愛知でさ…。

森口：愛知は言いました。この絵見てどう思う？って言う質問に、ファンシーな絵ですねって(笑)。

進藤：あのう、そもそもパネルの内容が、将来AIに奪われる仕事、で、お医者さん何%、トラックの運転手何%とかが書いてあって。その絵を見てどう思うか？て聞かれて。

森口：ファンシーな絵ですねって。

進藤：ファンシー、、、(笑)

森口：ファンシーは、ポップな感じかなって。

進藤：ファンシーって何？

森口：しらけました、向こうの反応。いや、その前は和やかな雰囲気だったのに、急にシーンってなって。初めての2次で、こう…てんぱってたかもしれません。言っちゃいましたね。逆に帝京と杏林はよく取ってくれたね。多分一次がめっちゃ良かったんだと思います。

進藤：ちと、東医の補欠来なかったのが残念かな。

森口：でもまぁねえ。東医でてるんだったら、力はあるってこと。東医の数学むずかったよ、今年。

進藤：もうなんか気楽に受けに行けば、受かるのかなって。だって、二次試験の時、僕鉛筆持ってかなかったですもん。書くのあって、え？やば！っと思って。

森口：はははは。

進藤：受験票しか持ってないんだけど。試験官の補助みたいな女の人に「すみません、借りていいですか？」って。

森口：はははは。それ言ったら、僕岩手の時ネクタイ直されましたよ、案内の人に。

進藤：優しい。二次は鉛筆忘れても受かる。正規合格がもらえる。複数校受かったんで。

森口：いや、なんか、一次試験めっちゃ受かってて、うちの中フィーバーだったんですけど、二次落ちまくってて、めちゃくちゃ落ち込みましたよ。バカヤローって。

進藤：ははは。

森口：怖かった。親に「これ全部落ちるんじゃないか？」って言われて。

１年間毎日日課を絶対こなすようにしていた。

進藤：僕が気を付けていたのは、態度をでかくしないこと。謙虚に生きてた。成績がどんなに良くても。いきりちらすことなく。あと、ガニマタで歩かないようにしてました。

森口：関係なさすぎ(笑)。

進藤：いや、足は絶対態度出るって。超ガニマタの人見ると、ああ、態度でけえのかなあとか思いながら。

森口：僕は毎日日課が、日課を絶対こなすようにしていました。校長先生から言われた日課、そう、写経。あと一年ぐらい通してやったのが、毎日5問の積分計算。計算力も磨いてました。平パンから、積分の難しい問題もらって、それ毎日5問、多分300問ぐらいあってそれを何回も回して。やってましたね。そうですね、結構、横国とか、京大とか、そういう積分計算も入ってたんで。やりごたえもあって。

医学部行きたい、っていう決意が固まったのはここに来て、だなぁ。

森口：朝が辛かったです。

進藤：それは夜更かししてるからでしょ？日課の…。

森口：ふふふ。あ、ニコニコ動画。

森口＆進藤：ははは。

森口：あ、でも、なんか。後半からは。毎日5時半ぐらいに起きて、7時前には塾にくるようにしてました。

進藤：うん、してた。

森口：なんかそのM1全体で朝、数学の赤本を解くっていうことをやってて。クラス皆で。まあ、それがあったんで、頑張りました。はい、7時から開催して。村長（宮田進学）は来なかったんですけど。それ以外のメンツは皆来て。朝０限作って赤本解きです。

進藤：僕も朝が辛かったですね。いや、遠いんですよ青梅。2時間ぐらい。ちとまあ、冬らへんから、ちっとだらけちゃったんですね。それまではここに7時前に着くようにしてたんですけど。まあ5時半前の電車に乗って、家帰るのは11時ちょっと前だったんで、睡眠時間足んなくて、カフェインの錠剤を飲んでました。

森口：でも、一回一人暮らししたよね。

進藤：そう夏に。いや、さすがに耐えられんわっつって。目黒に住ませてもらって、１か月。そうしたら、

なんか、めっちゃ寝たっていう。
森口：逆にだらけてる(笑)。
進藤：やっぱダメだわっつって。そう、食事とか洗濯を受験で両立できなかった。難しすぎる。夏にたるんで、空き教室のKでだらけてたら怒られた、いや、まあ、そう、確かにうるさかったんで。人もいたし、それからは、一人でブースで勉強するようにして。ていうか、自習室で、ちと、勉強するのが苦手で。
森口：あ、僕もです。自習室は、その、勉強するスペースがなくて…。
進藤：そういうことではないでしょ？
森口：そう荷物が多すぎて。
進藤：ははは。汚いだけでしょ？
森口：そうです(笑)。僕と進藤はほんとにずっと自習室にいませんでしたね。
進藤：隣に人がいるっていうのが、ちょっと信じられなくて。まあ、隣がめっちゃやってて怖かったってのもありますけどね。馬庭君（獨協医科大進学）と。百瀬さん（日本医科大進学）。
森口：真面目だよね。
進藤：怖かったから、ちょっとブースに移動して。ブースでずっと勉強してました。1階の3番。
森口：入試始まる前までは、ブースか空教室。MとかNとか。それも源ちゃん(金源太郎：日本大医学部進学)いたから、頑張れましたよ。源ちゃんは従弟で、一緒に通ってた。負けたくないって頑張れました。頭いいんですよ。授業中にもなんか頭いい質問したりして「頭いいなあ」って。負けたくないなって頑張りましたね。
進藤：でも、今年で絶対、ね、なんか、入る時に石井先生と話して「ああ、ここに入れば受かるな」って思って、それが、「頑張ろう」って思って、朝も頑張

れたし。すごい決意、「医学部行きたい」っていう決意が固まったのはここに来て、だなぁ。去年はS台の立川。そんな元も良くなかったから、もうその時点ですでに諦めが入ってるじゃないですか。妥協してるその時点で。
森口：ははは。
進藤：もう、放任ですね、あんま。受験指導とかない。面接対策もないんで。代官山はすごかったですね。いやもう、ここは絶対、二次対策のすごさを押してった方がいいっす。
森口：うん、マジで。
進藤：浩さんがすごいです。
森口：小論文が書きやすくなるってのが本当に。いや、ほんとだよね！まあ、論理的な考え方できるようになるからどんなに日本語ができなくても、論理的思考な文になれるよね。小論はもう、それは一発、森口でも、論理的な文になる。なんかまあ、授業受けたらわかるんですけど、ほんとに、それなりの文章書けるようになるっていうのが、ちゃんとあるんだよね？
進藤：うん。
森口：浩先生のやり方はおいしいです。日本語できるようになって良かった。
森口&進藤：ははははは。
森口：いやほんとに書けるようになった。だから去年、もし一次通ってても、結局小論文で落ちてた気がします。

ペナルティがあるから期限までやった写経だけど、ちゃんと続けたら成績上がって、それ以降も自発的にやるようになりました。

森口：お世話になった先生が3人。マンツー取ってたのが青葉先生と栗原先生で。校長を入れてもいいんですよね？写経を教えてもらったのが、校長なんですよね。面談の時に、英語できるようになるなら、君は700選の写経しろって言われて。それで写経、毎日ちゃんと続けたら、マジで上がって、、そのう、期限があって。そこまで写経を出さなかったら、本館に送ると(笑)。
進藤：ああ、あったね(笑)。
森口：あったんですけど、ペナルティとして。それがあったんで、期限内にちゃんと出して。で、そっから、僕、個人的に写経いいなって思ったんですよね。その期限後もずっと写経続けてった。校長に写経教えてもらったから、そのおかげで、英語伸びたなっていうのがあります。あと青葉先生は、ほんとに、めちゃくちゃ面倒見が良かったです。栗原先生は後半なんですけど、こう、浩先生に近いフォーマットみたいな感じがあって、これ見たら、この記号付けて、こう考えるんだよみたいな。それがありがたかったですね。フォーマットがある方が得意な、う〜んマニュアル人間(笑)。
進藤：ははは。うーーん。僕はやっぱ石井先生かなあ。石井先生、普通と違う。うーんと、石井先生との面談で、英語に波があるよねって話で。若干波があるよねって。その、長文苦手だったんですけど。長文の話題、知的背景？その知ってる知らないの差が激しいんじゃないか。それがまあ、あると思うから、東邦の医療系の長文の和訳をざっと読みなさいって言われて。ざっと読んだら、まあ、長文が取れるようになった(笑)。うん、石井先生はなんだろう、いや、英語じゃなくても、その、見抜く力が凄い。的確なアドバイス。いや、すごいなあって。なんかそうだなあ、言われた通り和訳読んでて、内容頭に入れた後に、長文読んで、知らない単語があったら、照らし合わせて、ああ、こういう意味あるんだあみたいな。そういう勉強のやり方を指示されて東邦10年分ぐらいざっと読んで。そうしたら、長文マジでできるようになった。マジ石井先生(笑)。
森口：僕も写経の存在を無理やりにでもちゃんと教えてくれたんで。ははは。いや、源ちゃんがやってたの見てたんですけど。それで源ちゃんが伸びていって。あれ？って。そんな時校長の面談で言われて、やる機会を得られたんです。そこでやって、以降ずっと頑張れたって感じですね。

他の人がやってるの見て自分もやろうとか、人の良い所みて真似した。

森口：数学は、僕は、、あ、先に言っちゃっていい？。
進藤：うん、考えてる、考えてる。
森口：数学は、いや、ほんとに、うーん先生全員です。いや、本当に。この先生だけっていうこだわりはなくて。全員が全員、いい授業だったんで。授業中にできるだけ吸収していこうっていうスタンスでやってました。基本的に一回理解できれば、数学はもう大丈夫な気がして。何でこの公式あるかとか、そういう理解が大事かなって、個人的に思ってて。まあでも、計算ミス結構してましたけど、積分計算で計算力は鍛えてたから。その注意してくれたのが薄先生でしたね。薄先生がその、夏休みから、毎日、積分計算5問解けっていうこと言ってて。それをその、まあ実行して、平パンから問題もらって。それ、ほんとに入試当日まで、その写経と積分計算はしてましたね。
進藤：うーん、質問よく行ったんが、典先生かなあ。典先生と長澤先生は、うん凄いなんだろう、頭のいい解法。
森口：ああ、天才、天才。
進藤：超きれいな解法で。で、まあ平パンは計算ごり押しで、苦手な子でもみたいな。まあだから、状況に合わせた…、いくつもの戦法を、うーん培ってくれた…っていうか、先生達の濃いキャラがいくつもの引き出しを作ってくれたっていうか。だから質問の時、数学科は片っ端から聞いて。
森口：ああ、いいよね。先生によって個性あるもんね。
進藤：そうね、5人ぐらい聞いたかな。1問あたり5人ぐらい聞いた、本当にわかんない問題は。うん、へぇー、なるほどねっつって。そう、で、自分に一番良さげなやつを、ね。
森口：そう、スマートがいいのか、ごり押しがいいのか。試験中にそれが思いつくなら、スマートの方がいいし、「まあ、無理だな」って思ったら、ごり押しの解法覚えて。
進藤：多分、ごり押しかな。そんな頭良くないんで。
森口&進藤：ははははは。
進藤：あとは積分毎日やることですよね、薄先生がいうように。僕も試験会場で薄先生のテキストのやつを持ってって。
森口：平パンのクソむずいけど計算の。あれ、もらうためには条件があって。ハンドブックの積分計算全部解いたら、平パンに言って、やっともらえるプリントだったんで。だからちゃんとやったよね。あと横井先生の有機は結構マニアックなことまで教えてくれて楽しかったです。いやあ、楽しかったですよ、本当に。すげえ楽しかったです。変な語呂とか、めっちゃ面白かったです。
進藤：ああ、あったわ。ピンクね。
森口：横井先生に語呂合わせないですか？つったら、考えてくれて、言ってくれる(笑)。
進藤：持ちネタが面白いよね。授業中に。笑って、印象に残る。化学はまあ、武器だった。安定してた、偏差値７０とか。でも、物理がやっぱ苦手。最初の方、偏差値物理３９ぐらい取った記憶が。39.2だったかな？
森口&進藤：ははははは。
森口：それ言ったら、俺、英語最初33ですよ、偏差値。衝撃過ぎて覚えてる(笑)。クラス分けの表見たら、俺だけ英語A8とか書いてあって、ひどかったですね。で、次44.9に上がりました。
進藤：すげえじゃん。
森口：10以上、上がりましたね。
進藤：11上がるってすごいな。いや物理と英語はほんとに運ゲー。いや、もう、なんだろう？感覚にすべてを任せた。感覚がうまく合ったところが一次出たってこと？
森口：いや、でも、僕の場合、感覚とかそれ以前の問題だから、英語。英語、写経で感覚を身につけました。700選を毎日その日本語と英語を3行ずつていうのを毎日1時間から2時間ぐらいずっとノートに書いて。いや、その日本語を見て、英語書くと、その英語書いたやつが、その日本語でもそう書いてるんだなっていうのが認識できるんで。その後、文法の合わせやってるから、文法的に違和感覚えたりとかするんで正誤にいい。
進藤：文法ねえ。写経も大事だと思う。時間かかるけど効果ある。

森口：でもって、写経頑張ってから河合が偏差値65まで行ったんで英語が。めっちゃ上がりました、多分その、マンスリー終わってからもずっと写経やってたんで。
進藤：やり始めた頃に、「えー、俺もやるー」って、1か月ぐらいで終わっちゃった…。うん、自分は時間かかりすぎちゃって。最後の方はちと、物理に回して…。三人がすごかった。あ、分かれてますよ、結構分かれるよね。
森口：M1M2の中で、寺澤派、野村派、小澤ちゃん派みたいな感じ。３つに分かれてましたね。
進藤：僕は野村先生派。
森口：俺も野村先生からプリントもらってやってたんで野村先生派ですね。いや、プリントの良さがあって。
進藤：うん、あのプリントができるようになれば、入試の問題はもう全部解ける。
森口：90問ぐらいですかね、それぐらいです。全範囲入ってて、初歩が60問、応用が30問。物理ができない人は今の時期から簡単なやつをやる。
進藤：そう、年間を通してやったら、多分、本番では相当武装できるはず。
森口：物理の問題が大体もうテンプレに沿って、どんどん進行していくから、基本的にそのテンプレさえ覚えちゃえば物理は本当にどうとでもなる。慈恵のような考える系の問題でなければもう完全武装できる。慈恵なんか人体に急に関連付けてくるから。
進藤：無理やり結びつけるよね。
森口：まあそうですね、進藤があのプリントやってるの見て、やろうかなと思って。人のいいところ見て、真似しようみたいな感じで。

進藤：確かに、石井先生がそう言ってて。他の人のこと見るよね。「それ、いいね。僕もやろう」ってね。

毎年改訂されるテキストで、本番は知ってる問題ばかりだから、まんま出て、数学で稼げた。

森口：英語とか本当に医学部用の長文めっちゃやるんで。入試の時も割と、この話知ってるなって感じの文章がでてきて、読みやすかったですね、入試の文章が。
進藤：確かに。
森口：で、数学も本当にテキスト通りの問題出てくるんで。あ、もうつまんなかったです。入試の本番の問題はつまんなかったです。
進藤：ほんとよく練られてるテキスト。薄先生の直前講習もまんま出て。うーんと、あれ、なんだ？微分か。グラフ？問題がまんま出て。1問もらったー、大問1問。数学で稼げた感ある。テキストをちゃんとやっとけば、普通に本番もできたっていうか。
森口：本番つまんなかったです。ドーパミンが溢れ出て来るような問題がなくて。知ってる、知ってるーって。はは。
進藤：確かに。だってHighのテキストだって、もう薄先生がはやりの問題入れてるから、そっからしか出てこないんだよ。だから前期のテキストを繰り返しやるのが早いよね。
森口：でも、前期のHighのテキストの方が後期のTopより難しくなかった？
進藤：うん。僕もそう思いました。知識が必要なのが前期のHighだった？新しい知識を…、こう公式を作っていくっていうのは本当に無理なんで。そう考えたら、その、公式知った上での後期のTopっていうのは、わりと簡単だった気がします、はい。
森口：力がついたってことか、そうですね。そのせいで、体感的には、後期のTopの方が簡単だと感じましたね。すごくいいテキストでした。毎年変えてくれてるみたいだし。
進藤：Highのテキストはもうほんと素晴らしい。
森口：さっき平パンに、今年のM1は去年のM1より100倍ぐらい真面目だぞって言われた(笑)。

受験よりも先、今後生きていく上で必要な考え方を身につけられるから、それはなんか、いい人生経験になった。

進藤：僕は２浪目は市ヶ谷行こうと思ってて。いや、でも多分行ってたら、受からなかった。これはほんとに。なんだろう、みんなよくこう言ってるから、「いや、嘘つけ！」みたいなこと思ってたんですけど、これは割とマジで、うーん、代官山に来れば、ちゃんとみんなやるから、受かる、これはほんとなんだよね。
森口：うん、それはある。
進藤：いや、ほんとに何かこういうのに載るとマジで嘘くさく感じちゃうけど。ちょっと性格上そういう風に思ってしまうんですけれど…。
森口：めちゃくちゃいい子ちゃんだからね。
進藤：いや、ほんとにここに入れば受かるんだよな。最初が低すぎるとまあもう１年ぐらい必要になっちゃうかもしんないけど、それは多分どこ行っても一緒で。S台に行ったって、K台に行ったって、まあそれはもう１年必要になるなって。
森口：ここ、先生と距離近いから、質問もしやすいし。面倒見の良さがね。
進藤：うん、常に。S台はもうすぐどっか行けちゃう。そう勉強時間もね、ここはやる。
森口：そう、周りやってるから、やんなきゃまずいっていうのはありまして、はい。そこがでかい。
進藤：S台は午後３時で終わるから、そっから自習、てかまあどうぞって感じなんで。帰るもよし、勉強するもよしで。ここはもう強制的に９時半までやらされるから。
森口：勉強時間は確保されるし、その時間をどう上手く使うかっていうのは割とありましたね。まあでも性格がこんな感じなんで、あんま頑張れないですよね。
進藤：そうそう。確かに。
森口：まあ代官山来て、みんな頑張ってるから、俺もやらなきゃなみたいな感じで、続けてたら、ほんとに頑張れたんで、それは良かったですね。
進藤：うん、僕も、ダメな子、そのなんか一人だと勉強できないっていう子は、やっぱり強制的にこう勉強時間を取らされるような代官山に来た方がいいと思う。あと、代官山に来てすごい良かったなって思うのが、石井先生とか高橋浩先生は、考え方、そう、考え方を教えてくれるから、受験よりも先、今、今後生きていく上で必要な考え方を身につけられるから、それはなんか、いい人生経験になったなあって思ってます。物事の考え方を教えてくれた。考え方が、うん、変えてくれた、教えてくれたのは凄い。
森口：思考力がついたって感じ？
進藤：あと浩先生のマンツーは取った方がいい。夏から取って、みんな夏から取った方がいいと思う。
森口：まあ、俺、うーん、まあ、贅沢言うなら、なんだろうね、やばい人間って分かってなかったから、こうなっちゃったけど、やばい人間だった？
進藤：浩先生、優しいから直接言わなかったけど、森口はやばい。ははは。レッドリストに入れるか迷ってるって。
森口＆進藤：ははは。
森口：入れるべきでしたね、僕を。うん、高橋浩先生のマンツーも押していきたい。論理的思考だから。こうだからこうっていう因果関係っていうのは、数学も論理学だから、その浩先生の考え方を学んだあとに、数学の授業聞くと、もっとすぐに理解できた気がする。理解力が高まるから、その小論とか二次の対策にもなるし、他の科目の勉強効率もすごい上がるから、まあ、浩先生のマンツーってのは、素晴らしいっていう。
進藤：今年の結果見て思ったけど、特化型って悪くないんだなあって思って。鹿山（慈恵進学）みたいに英語特化してる人間はめっちゃ受かってますし。
森口：そうね。まあ、僕もそうですね、一応一次だけだったら、数学特化で一応たくさん受かったんで、特化型も悪くないなあとは思いました。
進藤：一つ大きな武器を持ってるとね。
森口：絶対一日、これだけはやるっていうのを決めて、それをほんとに毎日実行するっていうのはほんとに大事だと思いますね。僕は日課を作って、校長に言われたとおり、この時間帯で写経やって、ここで微積やってとか、それで割と成績出たんで。まあそれ作れば、その入試期、本番も、こう、それをやれば、その平常心で入試受けれると思うんで。まあ、作って損はないと思います。

卒業生が語る

合格への軌跡 2020年

WAY TO SUCCESS

聖マリアンナ医科大　2次合格
東北医科薬科大　2次合格

その時期に合った生活態度や入試や出願の戦略に関することを教えてくださって、私の中で「気をつけよう」と思っていました。

聖マリアンナ医科大進学　石津 瑞香 さん(普連土学園高校卒)

2次が来たのが聖マリと、東北です。ドキドキだったな。

一次合格したところは5校ありまして、愛知と、東北と、北里と、帝京と聖マリです。けっこう、まぁ５つほど（笑）。2次が来たのが聖マリと、東北です。聖マは前の方の番号だったから良かったけど、東北は３月の中旬に来たから、ドキドキだった。
聖マリは、補欠の番号は27番でたぶん来るだろうなとは思ってたんですけれど…、聖マ途中で一回とまってしばらく動かなかったような…。私はその手前だったと思います。ギリギリ…。1年間頑張った甲斐ありました。おかげさまで　(笑)。聖マは今年もけっこう行ってて、代官山から。7人、いや8人行って。あ、でもまだ1回しか行ってないですし、定期的に連絡取ってのは、麗ちゃんぐらいですけど。今がこういうコロナの状況っていうのもあるから、友達いるっていいですよね…。

そこにいられるだけのスタミナをつけて勉強することができた

毎日規則正しい生活を送ることに気をつけていましたね。この1年、代官山での生活で気をつけていたことですね、それが。んーと、朝起きたのは6時半ぐらいで、ここ来るのは7時半ぐらいで。そんな、すごい早くはないんですけど、毎日規則正しく生活していたおかげで…前にいた予備校はこんな、12時間とか塾に居ることなかった…。ここにいられるだけのスタミナをつけて勉強することができたかなと思いました。
高校出てから2浪まである医専に通ってて、前の予備校に戻るか、別の予備校にするかで迷って代官山を選んだんですけど。予備校を変えたきっかけは、ぬるま湯な感じより厳しいっていうか、ちゃんとした予備校に変えた方がもしかしたらいいのかなって思いまして、1校舎から90人近く合格者出していたりして、そういう実績とか見てたら「ここ良いのかもしれないな」ってここにしました。

真面目に頑張ってるんだから、自分も頑張らなきゃっていうのがありましたね。

ブランクも含めてどのようなプランがいいのか、私の場合にはこういうやり方がいいよって、おしゃっていただいて、でも時期によってはきつかったですね。最初授業が始まったころもそうですし、1月の受験本番の時期もそうでしたし。いろんな時期できつかった面もあったけど、モチベーションはずっとある意味保ち続けられたっていうか、手を抜いてっていう気にはならなかったから。絶対周りでは自習室とかで頑張っている人たちがいるわけですし。自習室入ったら、「この人いつも真面目に頑張ってるな」って姿を見て感化されることもあったり。たとえば飯田さん(昭和大医学部進学：飯田すず)。喋ったことは無いんですけど、朝もいつも早くて。全然自習室で寝たりすることもなく、ちょうどドア入ったところにいたりするから。自分が手を抜こうと思ったときも、手を抜かずに頑張っている人がいるわけで。真面目にその人も頑張ってるんだから、自分も頑張らなきゃっていうのがありましたね。皆でだらけるというか、みんなでダメになっちゃうってのは無かったから。そういう環境があったのはありがたかったです。

「もうどこも受かんないかもしれない」ってなったときに、「そんなことないよ」って。

数学って１集から6集まで細かくあるじゃないですか。だから授業についていくのが大変で、予習復習が…もう…。ちょうど5月でしたっけ？…合格者座談会で、いろいろな先輩の方たちが、「私は○○先生にマンツーお世話になった」ってお話聞いて、自分も数学をこなすのは難しいだろうなって思って、マンツーをそこから入れて…。典さんに、苦手な分野とかを中心的に見ていただきました。それこそ、マンスリーによって波があったんですけど、典さんは「これが分かんない」って言っても「何これ、簡単じゃ～ん」ってみたいな感じで、逆に「ああ、そうやるのか！」ってなって。特に典さんには、直前期に、自分がメンタルが落ち込んだときに「もうどこも受かんないかもしれない」ってなったときに、「そんなことないよ」って。
冬はちょっと…。落ち込んだっていうか、お正月に風邪を引いたのがきっかけってのがあって。家族がインフルになって。自分も体調崩して…インフルじゃないですけど。自分もそれで、気持ちが落ち込んだときとかがあって。だから、ある意味ベストな状態で受験に臨めなくて。会場で問題解いて「ちゃんと解けた」ってなっても、友達も「私もできた、私も出来た」とか言うから、自分でも受かるくらいできたのかできなかったのか分からなくなったりして。ちょっと落ち込んだり。
周りと全く話さないのもあれでしたけど、最初のほうとかは、メンタルの保ち方がよくわからなくて。今までは受験受けても直帰してたんですよ、家に。だから、塾に戻って復習して、みたいな生活したことなかったんですよ。自分落ちたけど他の子は受かったとか、そういう状況がだんだん見えてきたりしたときも、なんとなく気持ちが沈んだこともあって。そういう時に、典さんに話すと、典さんはある意味で深刻に受け止めない方だから、「大丈夫だよ、受かるよ」とか言ってくれるから。でもそうやって話を聞いてくださるから、逆にそうやって楽になったところもありますね。私のあしらい方をよくわかっている。（笑）

青葉先生が「毎週１本ずつ英作文書いてきなさい」って仰って。

英語で、お世話になったのは青葉先生で、英語は、自分がそんなに苦手じゃなかったからマンツー取らなかったんですけど。2学期の途中からとることになっ

て。きっかけは、私日医を受けようと思っていて、英作文の書き方もわかっていなくて、そういうわけで、英語のマンツー入れようと思ったら青葉先生になって。青葉先生が「毎週１本ずつ英作文書いてきなさい」って仰って。書いてきたらすごく褒めてくださったり、「こうすると良くなるよ」って言ってくださったので。英語は「苦手じゃないけどすごい得意でもない」って状態から、受験中で「石津だったら英語はちゃんとこれぐらい取れるよ」って背中を押してもらえたってことがあって。英語は大丈夫だろうって気持ちで受験に臨めたのは、青葉先生のおかげかなって思っています。

この問題解けなかったんですよ」とか言っても、「解ける人は予備校なんか来ないですよ」って。返しがとにかく早くて。

野村先生は板書がすごくきれいで、初回の授業では「見やすい板書だな」って思ったんですけど、そのあとノート見返したらすごくきれいにまとめてあって、「この人すごい変わりやすい人だな」ってなって。物理の授業は前の予備校でもやってたから、ここでもその復習って思てコツコツやってただけなんですけど、野村先生は教え方が上手くて、「夏になったらこの人のマンツー取ろう」って思って、実際取ったらやっぱりわかりやすくて。野村先生のつくったプリント70枚ぐらいあるんですけど、プリントの設定が全然易しくなくて、プリントは殺伐としたやつなんですけど。答えがついてるやるもあればついてないやつもあるんですけど、先生が「問題設定が丁寧な大学とそうじゃない大学とがあって、そうじゃない大学に合わせて最低限のことしか書いてない」って言っていました。「ここからこんなことまで読み取らなきゃいけないの？」って思って易しくないと感じたんですけど、先生は優しかったんで。自分で解いて、わからないところは先生に聞きに行って、マンツーはこなしていました。

７０枚も骨のある問題ばかりだったので、１年間でようやく１回分って感じだったんですけど。プリントの説明もしてもらって、最後の方は時間が無くて、答えだけもらってわからないところを聞きに行ったって感じだったんですけど。すごいよかったです。

野村先生は、質問も丁寧なんですけど、無茶ぶりに丁寧に答えてくださいました。

なんかけっこう、体張ってくださる。受験期とかは１回だけマンツー入ったんですけど、私が間違ったこと言っても、あの人頭がいいからフォローがすごい早いんですよ。「もうだめだ」みたいなことを言っても、「そんなことないよ」って。「この問題解けなかったんですよ」とか言っても、「解ける人は予備校なんか来ないですよ」って。返しがとにかく早くて。間髪入れずにそうやって言ってくださるから、よかったです。

夏の面談のときに「前に行きます、先生」って宣言して。

石井先生は、最初は怖かったです(笑)。そのうちちょっと面白い人だったな、って。冗談を言ったり。でも授業のたびに、朝早く来て、とか、これしたら浪人するぞ、とか。その時期に合った生活態度や入試や出願の戦略に関することを教えてくださって、私の中で「気をつけよう」と思っていました。頭に叩き込んでいました。英語の授業もそうなんですけど、石井先生にしか言えないこととかあるじゃないですか。そういうのはどの先生よりピリッと来るから。そういうのは、毎回毎回きちんと聞いていました。

座っていた位置は、時期によって違うんですけど、最初は後ろの方だったんですけど、１回目の面談の時に「前に行きます、先生」って宣言して、しばらく２列目だったんですけど、クラス替えがあったら後ろになったり、とか。皆取るの早くて。ある時気づいたら現役生に取られたりとかしてて。ただ、前の授業を踏み倒してでも取ろうとはできなくて。「先週、そこ座ってたのに」ってのはあったけど、私の席って決まってたわけじゃないし(笑)。

朝来たら絶対やることを先生と決めて実行。

「朝来たら絶対やること」って先生と決めてて、まあ決めてもらってその都度その都度、英語だったら桐原の文法の問題集、数学だったら薄先生が毎日グラフを１本解きなさいって言ってたから、それ夜間のテキストなんですけど、それたくさんやって、化学は「セミナー」を１日１題とか、慣れてきたら１ページとか、絶対毎日やるようにはしていたんで。物理は野村先生のプリントやってたから、あっちで鍛えてもらっていました。あの７０枚のプリントも、私は波の分野が苦手だったんで、波の分野から始めたんですけど、逆に１学期の総復習みたいなのを夏から始められたのがよかったなって思います。最初に「どこが苦手？」って聞かれて、波が苦手って…「波に乗れなかった」って言ったら、めっちゃ笑ってて、楽しかったです。代官山の授業って、前のT医進とは全然違いましたね。量が多いし、質も高かったので、予習復習は大変でした。最初は全然回らなかったですね。でもなんとか時間を見つけてやっていましたね。最初は朝そんなに早くは来ていなかったんですけど、朝来ないと間に合わないと思って、朝も来るようになりました。そういう生活が身に着いたのが５月でした。それこそ典さんのマンツーを取って、数学は頼る人ができたってのがあって、ペースをつかめるようになってきました。

最後に後輩に向けて

先生方の言う事は、守った方がいと思います。先生方の言う事をちゃんと守っていた人の方が、受かっていたと思いますし、大変なこともあるかもしれませんけど、先生方が言った「これをやりなさい」とか、逆に「これはやるな。こういう生活をしていると受からない」とかを守ることが一番だと思います。私は正直、今から振り返ると、お正月風邪ひいたりとか、ベストな状態じゃなかったから、正直もっと上行けたんじゃないかとか思ったりもするんですけど、受験期になると思わぬところでメンタルが乱れたりとか、落ち込むこととかあると思うんですけど、そういうときはここで一緒に頑張っている友人だとか先生方だとかと話したり、アドバイスをもらうことで私は立て直すことができたので、どんな状態になってもいいように、じゃないですけど、自分なりのメンタルの保ち方を見つけた方がいいんじゃないかと思います。そこに気をつけて受験にのぞんで、今は１学期の内容を地道にやって頑張ってもらえたらと思います。

とにかく、勉強とかも自己流に、アレンジしないことだと思います。自分なりのノートの取り方とか、自分なりの息抜きの仕方だとか。そういう、自分なりの勉強方法とかはあると思うんですけど、そういうのに走りすぎないで、いろんな先生方の意見を取り入れて、一番いいと思うやり方で勉強していくのが良いんじゃないかと思います。自己流ってダメなんですよね、だって失敗してるんだもん。

卒業生が語る

合格への軌跡 2020年

WAY TO SUCCESS

東邦大医学部	2次合格
東京女子医科大	2次合格
帝京大医学部	2次正規合格

去年と同じ失敗をしそうな私に、ベストタイミングで石井先生が的確にアドバイスをくれた。

東邦大医学部進学　山本百合さん(桐朋女子高校卒)

面接で怒られたりもあったけど、何とか合格できました。

1次合格が、ん〜と、帝京と女子医大と東邦と聖マと北里です。５つ、そうです。あっ、愛知とか岩手は、んふっ、やっちまいました普通に。埼玉も落ちました(笑)。いや普通にもうヤバイと思って…。帝京は1日目です、受かったのは。生物と化学で、生物が簡単でした。東邦は、手応えめっちゃありました、ガッツリ。あ、来たかなみたいな、女子医と東邦が手応えあって。で2次来たのは、え〜と帝京が正規で、後女子医と東邦です。

2次の女子医でやらかしちゃって、ちょっと…、いやなんか2浪したっていう話から浪人して変わったことは？って聞かれたから、苦手な科目も頑張るようにしたって答えたら、それはテクニック的なことなの？って聞かれて、はいって言っちゃって…。したら医学部でもそうやって勉強するの？ってめっちゃ怒られて。めっちゃなんか、あ、怖かったです(笑)。でも合格来ました23番です。東邦はめっちゃ早くて、正規の締切りから1時間半後くらいに電話が来て。東邦も面接官１人めっちゃ怖い人がいて、ちょっと問題文読み飛ばしちゃったら、それ問題文に書いてあるよね？って言われて…怖っと思ってその人だけめっちゃ怖くて。結構やらかしまくり、でしたけど、何とか…、合格できました。

去年と同じ失敗をしそうな私に、ベストタイミングで石井先生が的確にアドバイスをくれた。

去年はKの麹町校で、なんかクラス皆仲良くなっちゃってめっちゃ遊んでる人もいて、それに決まった自習席とかも無いんで、ん〜私は家帰ってやってました。授業が４時くらいには終わっちゃうから家帰って、ん〜ダラダラ復習みたいな感じ。いやなんか数学ができなすぎて一人で数学ばっかに時間かけてて、自分でもヤバイと思ったんですけど、一人でどうもできないし、まぁ今思うとその頃は受験舐めてたというか、どっか1次来るかなと思って(笑)…したら1個も来なくて、こりゃヤバイと思って、ほんと思いました。で、あの…奥脇さん(奥脇瑠奈：聖マリアンナ医科大進学)と知り合いで代官山良いよって紹介してもらって、それに小川胡桃ちゃんが慈恵に受かってて、同級生だったから、わー凄いなぁと思ってここに決めました。後もう1人、源河さんも(源河あゆ：帝京大医学部進学)1つ下です。知り合いがたくさん受かってる代官山にしました。

最初は、Ｍ５で最終的にはＭ４、ふっ、あ〜そうですやっぱり数学が駄目で、…1回だけマンスリーで載りました、めっちゃ下の方で。確か偏差値58でその時が絶好調でした。それからちょっと、下がったり上がったりを繰り返し、化学が偏差値70あるのに…。でも春のさきどり期間、まあまぁ課題ちゃんとやったんですけど、クラス分けテスト全然できなくてほんとにやばすぎでした。なんか5月ぐらいにその…また去年と一緒で、数学できないのにめっちゃやりこんで、もう日曜も全部数学に費やした時も。で他の科目もウィークリー取れなくなってきて。そしたら石井先生が得意科目がMAXになった時受かるときだから、またそうやって数学1日中とかやってると去年みたいになるよって言ってくれて、そこからマジでちゃんと4科目やって。それから結構伸びました。どれも、んふっ、石井先生のアドバイスがなかったらまた今年も…落ちてましたね、絶対、はい。あの〜そのベストタイミング、キーポイントみたいなところでちゃんと石井先生と話しできて…、なんかマンスリーで初めて200切った時も石井先生のところへ行ったら、その点数だけじゃなくて自分を分析した方が良いって言ってくれてそこからマンスリーも、点数だけじゃなくて小問ごとの点数とか、何で出来なかったのかとか、ちゃんと自己分析するようになって次に活かせました。いやなんか成績表を軽く…、点数見て良かったら浮かれて、悪かったらめっちゃ落ち込む、みたいな、結構極端だったんで、あんまりそんな石井先生が言う程は分析してなかったなぁと思って。ほんとに、うん、なんかKの時は質問したとしてもその問題の話だけで終わってたけど、ここは質問したら他の問題も教えてくれたり普通になんか生活の悩み聞いてくれたりするから、うん、良かったです。凄いめっちゃ良かったです、いやほんと奥脇さんに感謝です、何か高校一緒なんですけど、卒業してから、ちょっと家族が繋がっていることに気付いてそこからよく連絡し合って良かったです。

典さんに泣きついたら、ちゃんとどうするべきか導いてくれた。

９月、後期始まるじゃないですか？テキスト難しくなったりして、１学期やって夏もちゃんと復習したのになんか自分できないって思い始めて、めっちゃ辛かったのが９月で直前期はなんかもうほんとに去年１次１個も出てないから、なんかその１次通るイメージが出来なくて、もうほんとに今年も全落ちしたらどうしようって思ってめっちゃ不安で受験期も、愛知岩手落ちて…２号館はほとんど皆どっちかは絶対受かってそういう雰囲気をめっちゃ感じて、自分が嫌になって、２日目終わった後に典さんとこ行って、もう２つとも落ちちゃったって泣いて…。3日目も東邦と帝京両方出してもう絶対東邦受かんないから帝京受けたいって言ったら、いや東邦受けないと後悔するよ？って言われて、だから東邦受けました。先生に相談したらちゃんと答え返してくれて、その通りやって心も落ち着いていきました。いやなんか女子医まで1次がどこも出てなかったからお母さんがもう3浪かもね〜みたいな、普通になんかもう…。でも女子医出た時にめっちゃ泣いて電話してきて、人生で初めてでした、良かったねって。…したら北里とかドンドン受かっていって2次出た時も帝京初めて出て、おめでとうみたいになりました。あ、でもお母さんはその結果に関してだけで途中の…、浪人の間は全然言ってこないんですけど、お父さんはめっちゃなんか私が不安に思ってることを言うとお父さんも不安になっちゃうから、めっちゃ言ってきて一時期ずっと無視してました、家で、はは(笑)。

どの先生も、私をちゃんと見て、私にあったアドバイスをくれる

英語は石井先生と朝岡先生です、石井先生は、なんか授業で英語のことを勿論教えてくれて　で、私がその1浪の時まで英語得意って言ってたんですけど、河合の偏差値は65超えられなくて。で、石井先生が65で止まる人は感覚で読んでるからだみたいに言ってて。それを石井先生の授業でなんか細かい知識とか全部整理してくれたり大事な事を1から教えてくれて、それを真面目に復習してたら68まで伸びて…。英語が伸びたら英語だけじゃなくて　他も。なんかうーん、浪人してる間に人として、なんかこうあるべきだみたいなことを言われて、取り組み方が変わったっていうか、色々なんか医学部の細かい情報とか最低点とか繰上げ者数とかも聞けてすごく良かったです。

なんか最初ずっと…後ろから3列目くらいで受けてて。でその5月に話した時にもっと前に座らなきゃだめだよって積極的にやろうと言われて、2列目に座ってました、松前君(松前：日本大医学部進学)と私と(笑)。あ〜あてられました、結構(笑)。それに9月ぐらいまでは、

夏ぐらいまでは写経をやれって言われて、写経をやって、それに紙辞書だから、紙辞書でちゃんと単語を引いて、ペン引いたりしてやってましたぁ〜、地道に〜。そのやったやつをもう1回考えながら書いてみる。ほぼ毎日やってました、白紙のノートに文構造を思い浮かべながら先生の授業でやった文章を書いていって、みたいな、それはなんか皆もやってて結構効果的だった。朝岡先生は１学期からずっと長文持ってもらってたんですけどめっちゃ詳しく長文読んでくれて。1個1個の文を分析しながら読んで単語の意味とかもその1個から派生して色んな単語の意味を教えてくれて。直前期にマンツー取って過去問一緒にやってたんですけど、大学別にこう解いた方がいいとかも色々教えてくれたり過去問解く約束したり。なんか東邦の英語とかだったら特徴的だから、こういうふうに読んだ方がいいとか色々教えてくれました。あ〜、なんか解く順番は結構石井先生が授業で言ってくれるんですよ。

数学は薄先生と典さんと太郎先生です。薄先生は確率を教えてもらってたんですよ。4集のテキストで、数学苦手なら確率得意にしなきゃだめ…って厳しく言われて。でも今まで私が高校とかKで習ってきた授業と違くて、なんかその公式をただ暗記するだけじゃない…暗記じゃなくても解けるような1つのやり方で全部問題が解けるみたいなのをいくつも全部教えてくれたんで、なんか全部繋がってて凄い解りやすくて好きでした薄先生の授業。確率が得意になりました(笑)。

典さんもなんか何でも教えてくれるんで普通に全部質問しにいって、で、質問応える時に、典さん頭良いから凄い解法とか持ってるけど、私に全部合わせて教えてくれて、1から。直前期マンツー取った時も過去問どうやって解いていくか、時間のかけ方とか全部学校ごとに出してくれたり、受ける大学の予想問題作ってくれたり採点をしてくれたり、普通に数学だけじゃなくて日々のなんか不安とか悩みとかも全部典さん聞いてくれて、めっちゃ好きです。解消してもらってました、全部、うん。めっちゃお世話になりました。

太郎さんは先取りからマンツー取ってて、なんか凄い優しくて1学期からも普通に授業教えてもらってて太郎さんも薄先生と同じように凄い数学出来ない人にも解りやすく教えてくれる先生で2学期にマンツー取った時には数学のテキストの勉強の仕方とか、全部1から決めてくれて、マンスリーの結果見せに行ったら全部各科分析してくれて、数学はじゃあこれぐらい取れれば、次はいいねぇ、とか言ってくれて凄い良かったです。

化学は原先生と高橋龍先生です。原先生は、化学の中で覚えなきゃいけないこととそうじゃないことを分けてくれたり、公式も意味から説明してくれたり、なんかなんだろう、うーんめっちゃ丁寧に、どの問題も教えてくれたんで、ただ覚えろだけじゃなくてちゃんと意味理解できたから公式とか理解できたから、化学伸

ばすことできたなぁと思って、感謝してます。最初は53.7で、そうです、最後72.5。しかもほぼ65は切ってないです。代官山にきて、元々演習が全然足りてないことに気付いて、ここ入ってからとにかくもうテキストの問題、できる単元も5周ぐらいやってました。気体もめっちゃ問題やって。
生物は、1年間ずっと山崎先生に全部聞いてました、生物の質問。春のさきどり講習で、なんかマンツー持ってもらったんでそこからずっとマンスリーの結果とかもメモしてくれて　次の目標一緒に立てたりなんか全部セミナーも日程決めて、こうやってやってって、とかなんかその都度聞いてくれるんで、何がヤバいか、それで言って、なんか全部質問してました。とにかく、夏にセミナー１周してねって言われてて、それが終わんなくってテキストもあったんで、で、ヤバイってなった時に　先生のところ行ったら全部日程決めてくれて、いつまでにこれ終わらせてとか、この単元やってとか言われて、そうしたら、意外とそ通りに全部やれました。
日ごとに全部決めてくれて、2日でこれとか全部決めてくれて時間割見せて。
その通りやって、過去問も全部やる学校から順番から全部決めてくれてなんかそれ通り。全部聞いてその通りやってました。オガティーはずっと授業持ってもらってて、なんだろう…別に生物の授業も凄いんですけど、生物の質問とか行ったっていうよりは、常に声かけてくれるからなんか、良い先生すぎるなぁと思いました、単純に、んふ(笑)。英語もなんか最初丸暗記してたんですけど、それ意味ないって石井先生に授業で指摘されて、それから文構造を考えて覚えるようにしました。代官山は、どの先生も、私をちゃんと見て、私にあったアドバイスをくれる、そういう所でした。

先生との距離が近いとか、周りの友達の意識の高さは前の予備校と全然違います。

朝、その、私が7時10分ぐらいに来ても、もう6時半とかから居る人もいっぱいいて自習室入ったら皆めっちゃ集中してやってるから、やんなきゃって思うし授業の合間の休憩も皆すぐ自習室戻って復習したり自分でやることやって授業ギリギリまで自習するから、そういうのを見てると自分も焦ってやろうって思いました、自然に。先生との距離が近いとか、周りの友達の意識の高さは前の予備校と全然違いますね。授業中にうーん、解んないところをすぐ解んないって言えるし大手より人数も全然少ないから、先生がそれぞれのレベルを知って合わせてくれる感じで、素直に解んないって言えるから、その場で疑問が解決できる。そうやって疑問を持ち帰ることなく、普通に毎日授業を受けて、進んでいけたのがすごく良かったと思います。
大手予備校の時には、疑問だらけで、で、しかも先生はすぐ帰っちゃうから質問できないしと思って…。だから丸暗記してました、全部、んふ(笑)。あ～、なんか最初の方、結構皆でわちゃわちゃお弁当食べたりしてたんですけど、途中からヤバイって思うっていうかなんか、お昼休み勉強してる人とか見て、なんかやんなきゃって思って、自分もお昼は普通に自習室で勉強して授業始まる前にちょっと食べるみたいにしてやってて、うん、でも伊藤友梨那(昭和大医学部特待)とかも、めっちゃ真面目にやるから自習室とかで、お昼ちょっと食べる時に重なった時に、ちょっと喋って食べたりなんか良い感じで刺激もらってました。まぁ良いとこは真似して、1個年下だと余計に凄いなぁと思って、めっちゃ凄いです、ほんとに。うーん代官山は嫌でも勉強しないといけないから凄いそこが自分に合ってたなぁと思って　うん。勉強したくないなって時も、自習室来たら周りはやってるし、授業もあるし、おいおい私…、なんか遅れるとヤバイしょって思って、気持ち乗らない時でも自習室来たらヤバイって思って勉強できたからそこは凄い自分にとって有り難かったなぁって思います。
あ～でも、代官山でできた友達は、Kの時と違って、お互いが良い距離感でいようって感じで、別にそんなに友達関係で、なんか困ることなかったです。別になんか遊びすぎちゃったりもないし、楽しすぎたりもないからちょうどよかったです。

親に感謝する気持ちを持てた一年だった。

あ～一番充実してた1年だと思いますよ、色々学力面だけじゃなくて精神的にも人間的にも前の自分より大人になれたかなぁって思います、ちょっとね。先生には頼ってたけどまぁ受験本番は1人で解かなきゃいけないから先生に課題とかいつまでにとかは決めてもらっても、なんか…なんだろう、色々自分で考えたりして勉強してたし、なんか親にも感謝できるようになりました。そういう成長、今まで意識してなかったわけじゃないんですけど、なんだろう石井先生の言葉を聞いてなんかこうやって2浪もさせてもらうっていうのって当たり前じゃないんだなぁって思って…。感謝できるようになりました。更に、んふ。去年の自分はめっちゃ子どもでした、うん、それに少し強くなりました。まだまだメンタル弱いですけど、なんかこの1年通して少しは強くなった気がします。それにこんなに複数受かるなんて思ってなかったから、こんな大学どこ行こうって悩めたのは、ほんとに代官山だったからだし。本当に感謝しています、先生達に…、親にも、うふふ。

卒業生が語る
合格への軌跡 2020年
WAY TO SUCCESS

杏林大医学部	2次合格
藤田医科大	2次正規合格

英語ってほんとにやれば伸びる教科だなって体現できました。

杏林大医学部進学　田中 瑠くん(学習院高等科卒)

最初クラスがA9で…。

最初のクラス分けでA9で、次にA7にいって、A4、A2って。理想的なプランというか、ホントにやった甲斐があったと思います(笑)。最初はショックでもあるんですけど、まぁすぐ認めましたね。いまの俺ならこの程度っていう。仕方ない、本当に仕方なかった。A9だったときは、基礎がガタガタだったせいで、急に勉強し始めてもやっぱり自習時間が多いだけだと上手くできなかったと思います。インプットを授業で。授業で詰めていった。数学除いて、偏差値30台。ホントにその〜まあ、高校の時に基礎を疎かにしてたので、浪人になってから本当に基礎を大事にしようと思って。しょぼい質問でもするようにしてました。基礎がガタガタならこの成績でも仕方がないって思って。その代わりA9で始まったからにはダレてないでどんどん基礎を固めて。その時にちょうど小川胡桃さんっていうA8から慈恵行ってる人がいて、その人見て、あーいけるかもしれないってちょっと勇気が出てきて。あの、合格への軌跡読んで、勇気出て、それから時折目を通してました。A9からでも慈恵は高望みかもしれないけど、とりあえずその気持ちで行こうと思って。小川さん、たしかちょうどA８⇒A７⇒A5⇒A２みたいな感じで辿ってたんで、僕もそのくらいの軌跡で辿って行こうと思って。まぁほんとに実際その通りになったんですけど。

普段の早起きで、試験中も平然と起きれていい感じのシチュエーションに。

２号館に移ってから、６時半ぐらい？そのくらいですね。本館のときも、７時に開くので早めにきてたんです。電車がちょうど毎回同じ電車に乗ってたので。でも早出の生活って、先生に言われたからやったんですけど、うわっ何がいいんだろうって最初は思ってたんです。でも試験始まって本番になってからすごい役に立ってたってのがわかった。試験開始が早いじゃないですか。９時とかに頭回る人って普段から７時起きとかしてないと、まぁ僕の場合５時半起きなんですけど、とかしてないときついでしょうね。まあ一試験の時は６時とかちょっと遅めに起きてたんですけど、全然余裕で、９時スタートだから、人間の頭はなんか起きてから３時間後に覚醒するって聞いたんで９時スタートの時は６時に起きるようにしてたんですけど、そうすると６時にも平然と起きれていい感じのシチュエーションでいけたのかなと。コンディション良く。石井先生は「本番は遊びのつもりで行け」と、そういうコンディションでいけたのかなと。

2号館はやっぱり違った。

なんかやっぱりすげえなあと思いました。やっぱり違うなって思って。なんか昼休みとかもしっかりみんな自習室いるし、あ、これこれって思いながら(笑)。
やっぱり2号館の人は受かったって報告が多くて、最初の方はちょっとマジかって思ってて、僕も２号館なんだけどなーって。あんまりそういう報告できてねーなーって思ってたら、やっと初の藤田一次。2号館の人はやっぱり積み重ねてきているテキストもプリントも多くてやっぱり威圧されますね。ああいう中行くと勉強する気になります。

最後５６まで伸びて、英語はやれば伸びるってほんとだったんだって、嬉しかった。

2号館に行ってから、一旦成績落ちたんですよ。いや、さすがに成績落ちた時は、まじかって思って。なんか自分ながらにすごい頑張ってて、昼休みとかも食事一切取らないで、一応カロリーバー一本で済ましてたんですけど(笑)。すぐ自習室戻って、休憩時間もすぐ戻ってやってて、こんなに時間詰めて、１分１秒でも多くやらないと２号館のやつに勝てないと思って、ぶっちゃけ２号館のやつに勝とうと思ってやって。まぁ理由は原因はやっぱりあるわけで、まあそこは自分で勝手につけないで先生に相談してたんです。最初の方は岩崎先生にみてもらってて、やっぱり英語、得意ではないんですけど平均的にまあ差がつかないようにつかないようにとっていきたいなと思ってたので、結構文法とかしっかりしてくれる岩崎先生が合ってたので。自分に的確なアドバイスをしてくれる先生に相談してましたね。まあ英語に関してのアドバイスで一番大きかったのは石井先生なんですけど、なんか英語が伸び悩んだのが最後のほうで、これ以上上がらないくらい、上がらないっててっぺんじゃないんですけど、あんまり秀でたぐらいにならなくて英語を得意にしたかったんですけど、だから石井先生に「英語が…」って言ってたんですけど、親との面談の時に僕、単語帳持ち込んでたんですけど、いま単語帳やってたらもう遅いよって言われて、なるほどって。いまだったら実戦的にとにかくやるべきだって言われて、最後のほうは単語帳一切みてなかったんですけど(笑)。だからそういうアドバイスとかも聞きに行くってことと、それをスッと聞き入れるのが大切かなって思いますね。最後偏差値も56ぐらいにはなって、最後の方すっごい頑張ったかなって。英語やれば伸びるってほんとだったんだって、すごい嬉しかったです。数学とかはちょっと上下があったりするんですけど、英語ってほんとにやれば伸びる教科だなって体現しました。

結構カラフルになってきて、あれ勲章です。復習の賜物です。

めちゃくちゃ集中できました、自習室。この自習室の区切られ方とか本当にすごいなと思って。こんなに自由に使っていいのって思って…、昼休みとか特に集中できました。適当な教室見つけて、最短3分ぐらいで食い終わって、あとブラックコーヒーで一日しのぎました。お腹すいた方が集中できるってどこぞの誰かが軌跡で言ってたのであれができたかどうか知らないですけど(笑)。でもなんか昔から聞いてた話ですし(笑)。自習室は色々貼っても OK じゃないですか。復習したところに、合計で3回復習するんですよ。3日後、一週間後、2週間後って。岩崎先生から教えてもらったんですけど、それを付箋の色分けで赤・黄・青みたいな感じで。それに曜日書いとくんですけど、それを自習室に貼ってたんですよ。そしたら自習室がいつのまにか埋まってるって感じなんですけどその付箋で。結構カラフルになってきて、あれ勲章です。復習の賜物です。こんなに復習してんなーて。逆に増えない時、サボってんなーって感じになるじゃないですか。

夜間の演習授業とレビューテストは本当に役に立った。

夜間の演習は本当に役に立った感じで、復習の良い実践場所だったので。先生が毎回持ってくる問題が難しくて。下のクラスいると難しい問題に触れる機会があんまりないんで、でも夜間でそういうのに触れることができてこういうのもあるんだってできるんだって復習にもなりますし、応用の場としてやってました。数学は結構復習とかも多くて山室先生が持ってくる奴ってなかなか鬼畜なんで(笑)。計算トレーニング。まぁ復習やってないとできないですし。計トレきつかったんですけど、やっぱり応用の場って必要だなって。なんか純粋に勉強してるだけなのにこんな問題解けないの？って思って。あ〜って思いながら、あーゆう場は必要だなって。自分の未知の問題に出会った時の緊張感ってほんとやばいんで。あれで慣らしたのは本当に良かったです。
あと、レビューテスト、あれ結構面白かったですね。毎回授業後にレビューテスト出して。溜めちゃう人とか期限守れない人はつらかったろうけど。僕、復習したらもう次の日ぐらいにはもうやってたんで。忘れないようにただ本当に復習したら解きやすかった。授業が理解できたら解きやすいように先生が考えられてたから。それで本当にわからなかったら授業を理解してないってことだと思うんで。ノートを見返すっていうような使い方してました。

石井先生は生徒のことを一人ひとりはっきり覚えていて性格やその生徒の成績の伸び沈みの理由なんかもすごく話して下さって参考にしていました。

石井先生には本当に何か勉強以外も色々指導していただきました。すごく印象に残ってますし、毎回ノートに書いてたんですけど、いろいろ話されるのでそれ用のページを一枚用意してたんですけど、やっぱり英語の色々ってのもあるんですけど、やっぱり去年受かった人とかの話とかそういうところがすごい、石井先生は生徒のことを一人一人はっきり覚えていて、性格やその生徒の成績の伸び沈みの理由なんかもすごくて話してくださって参考にしていました。さっきも言ったように早寝早起きのやつとかもそういう石井先生の授業の中で言われるのを聞いてこれ大切だなーって思ってメモをしたり実際やったりしてました。試験問題の傾向とかも言って下さるので、英語がすごいためになったっていうのだけでじゃなく、受験の面ですごく役に立ったなーと思います。教え方もすごい良かったですし、受験の情報とかも細かく教えていただけた。僕、すっごい当てられました（笑）。僕、前から2列目絶対座るようにしていたので。2列目座ってよく当てられて。本当にすごい緊張するんですよ石井先生に当てられると。けどだんだん慣れてきてすっと答えられるようになってきて、正解する度にすごい自信ついたなと思います。なんかメンタル強くなったっていう面でもすごい有難かったです。

素晴らしい先生ばかりだったから、先生方の考えを色々いいとこどり(笑)。

岩崎先生は石井先生の元教え子らしいんですけど、実際こういう医学部の英語の医学知識ばっかりやってると藤田みたいな変化球、今年なんか医学系の長文イメージがなくて。だからこんな変化球に耐えられなかったかな。やっぱり医学系以外にも社会・文学系の長文も教えてくれた岩崎先生本当に良かったです。
なんかその大学にピンポイントにココ重要って教えてくれる先生もいれば、まずは基礎理解が大事だって先生もいらっしゃって、本当に選り取り見取りって感じで。自分に合った先生に出会えたってのもよかったです。なんて言っても質問がいつでもできるっていう体制が嬉しくって。また代官山の先生の授業は本当に試験中に出ることがマジで多いんで。まずは授業をしっかり出てしっかり聞いてれば本当にタメになるし、なんか自然と成績も上がっていくような感じです。山室

先生は僕の苦手なところを本当にピンポイントで当ててくれる素晴らしい先生で、たくさん見てもらったんで。なんか解いてるところを見ててくれるじゃないですか。すぐにさっとそこ間違ってると教えてくれるので。あとはやっぱりマークシートの時に刺さる技術は本当によかったですし、やっぱりスピードって本当に重要だなーって思うのがいっぱいあってスピード重視の数学、数学っていうか医学部では本当になんかすごい気真面目にやってるのもちょっと不利になる時もあるので。
ちょっと速く解くっていうのは行ける時には使っとかないと後で損するなーてのはありました。で、今年の杏林で使いました（笑）。他の人も使えたって言ってると思います。本当になんかこれだって本当に埋めるだけじゃんって思いながら。もう計算式書かずに行けんじゃんって思いながら。ありがたかったっす。まあ藤田も最初の方、小問がズラッと並んで本当にスピード勝負だなぁと思って。ただあのスピードじゃなくてちゃんと数学を理解してないといけない部分もやっぱりあるじゃないですか。そういうところは薄先生に基礎を。薄先生は非常に基礎を重要としている、基礎でも応用でも解けるぜっていう先生なんで。やっぱりそのそういうのが刺さるって言うかそういうのが重要になってくる大学ってのもあるなあと思って。だから本当に別に誰々先生にっていうわけではなくて色々な先生の考えを色々取り入れて、いいとこどりしてましたね(笑)。本当に素晴らしい先生ばかりで。ダメな先生とかいなかったから。授業切るとか本当に考えられなくて。平野先生もやっぱり本当にテキストってすごいなぁと思いました。本当最後までためになりました。

野村先生が最初の方に原理から始める方が一番だって言ってて…。

野村先生は本当にあの先生頭いいと思うんですよ。すごい初めの方物理苦手だったんですけど分かりやすく説明してくれて。野村先生の教え方は本当になんかこんな解き方あるんだってあったりしますね。何か色々教えてくださいます。本当僕理解ができないと、公式単に覚えるってのが本当に苦手で、やれば良かったんですけどすぐ忘れちゃって、どうしたらいいのかって思ってて。なんだこの公式はって、なんでこんな複雑な公式があるんだって。それを野村先生に相談したらこれはねって原理を教えてくれて、野村先生が最初の方に原理から始める方が一番だって…だから1学期の時は原理をいろいろ問題を通して教えてもらって。寺澤先生は非常になんかこうちょっと声を大きくて(笑)。投げやりみたいな言い方するんですけど逆にそれがわかりやすくて。すごい物理の原理の説明はしてくれるんですけど、なんかこう言っちゃなんですけど、バカは分からんなりにこう考えるんだよって(笑)。ちょっとあまり良くないかな(笑)。でもだから苦手な僕でも、あーなるほどってなるんですよ。本当物理の先生全員良かった。

小論は早めに対策初めて、練習の成果で試験時間が余った。

小論は先生にもお願いしたんですけど高橋浩先生にずっと教えていただきました。本当に小論が重要だと思いましたね。本当にやってたのが本当にとにかく書くっていうのが一番かなって。本番は下書き用紙とか渡されるんですけどそんなのに書いてたら時間ないし、杏林の時は確か自己犠牲についてあなたの考えを述べなさいだったんですけど、それも結局何か高橋先生の言う通りにやればプラスとマイナスでパーって分けてって感じでもう30分ぐらいで書き終わって30分間暇でした(笑)。本当に早くなるんですよ。本当に早くなることを意識してて、その実際の60分という時間が本当に長く感じて。こんだけ速く書けるようになった。ちゃんと習って書く練習してきてよかったなあと思いました。書き終わらないのが一番まずいというか０点なんで。一回もクラス授業休まず出てたんで、それに直前期の面接の対策でも仕上げて、ありがたかったです。

諦めないっていうのがモットー。逃げに走らないで対面していけ。

最後まで諦めないっていうのが僕のモットーだったんで、もうほんとにそんなん気にしないでとにかくやるしかないって。でも何か原因があるって思って、その時僕、大問が苦手だって理由を勝手につけてたんですよ、自分で。でも石井先生に「そんな理由、それはお前が勝手につけたもんだろ」と言われて、「そうやって逃げに走ってるんだろ」ってのを言われて。確かに逃げに走るとホントに自分でいろいろな理由をつけちゃうんで。「逃げに走らないで対面していけ」と。苦手教科とかいって逃げてると何にも変わらないんで、苦手とはいいつつも平均的レベルまでもっていけと、だから立ち向かいましたね。いやーあのー、強くなりました(笑)、メンタル…ホントに最後まで諦めないってのはずーっと信念に置いてたんで。ほんと、後になって今になってわかるんですけど、大問が苦手だから俺、できねーんだってちょっと安心してて、それがダメだったなと思います。ほんとに最後まで諦めないっていうのも、精神的な面ではほんとに揺るがないでずっと最後まで諦めないって決めたらずーっと揺るがないで、途中で諦めたりしないで、ずっとマラソンの如く走っていくのがいいかな、途中で歩いたりしないで。ずっと走って、それが浪人終わらすには早いかなって(笑)。生活面も重視してましたね。風邪いっかいも引かないでここまでこれた。浪人のほうが過酷だったのに、現役の時のほうがよく風邪引いてたんですよね。
代官山はなんか一番苦しい体験をした場所でもあるんですけど、一番人生で喜びを得られた場所でもありますね。なんか面白かったです(笑)。まず浪人しているっていう時点で苦しみますよね。毎朝5時半に起きて9時まで残って勉強するってのは全然楽しくなかったですけどそれを楽しいって言ってる人もいるとは思うんですけどこれは本当つらかったんで。でもここまでして受かったのは本当に嬉しかったです。都内にも残れましたし(笑)。それは一番嬉しかったです。僕は先生達の代官山の生徒に対する温かさと言うか、こんなにすごい近くで見てて、近くで見てくれて質問いつでも受け付けてて君はここがいいね、これがだめだよねって知らずのうちにも診てくれる塾ってあんまりないんじゃないかなーって。だから本当に他のとこ行ってたら自分がここまで伸びれていたか、疑問です。

信じられるものを一年を通して作っていった方がいい。

受験中に意識してたことは三つぐらいあって、一つは最後まで諦めないこれを揺るがないでずっととにかく頑張るっていう。途中でなんかちょっと1日ぐらい嫌とかじゃなくて大晦日だろうがしっかり勉強する、携帯もいじらないで本当にいじらないで。二つ目は本当に生活リズムをしっかりする。一見忘れそうに見えて一番大事。朝早く勉強して夜は9時半とかまで残らないで授業終わってすっと帰って体を休めること。
参考になるかわからないですけど昼飯は長く取らないで、すっと戻ってやると。後はノートをきれいにとる。とにかくノートがほんとに大事なんで適当にやって殴り書きではなくて、しっかり書いて先生の言うことから何から何までこれしか信じないっていうノートを作る。最後に信じられるのは自分だと思うんで、神でもない先生でもない自分なんで。最後まで信じられるものを一年を通して作っていった方がいいなと思います。代官山でめっちゃ勉強してください(笑)。この環境で勉強すれば受かると思うんで。

卒業生が語る

合格への軌跡 2020年

WAY TO SUCCESS

聖マリアンナ医科大　2次合格
東北医科薬科大医学部　2次合格

ここ解決するために先生に聞こうとか、僕は意外と、分析する習慣がちょっと身につけられました。

聖マリアンナ医科大進学　仁科英彬君(駒場東邦高校卒)

代官山はもともと行ってた塾の先生に勧められて。

えっとー、もともと行ってた塾の先生とここのどの先生がかわからないんですけど、知り合いで、代官山は理科が強いって言われて。で、ぼく当時物理から生物に変える予定だったので、理科とかが強いこの塾がいいのかなっと思って。もともと鉄緑会に通ってて、そこの先生がここを進めてくれて。他の塾も1回見に行ったんですけど、生徒の数が多くて、面倒見がどうしても回んなかったりとか。そういうのをちょっと小耳に挟んだりとか、あったんで。あ、やっぱ先生との距離が近いこちらを絶対優先するべきだと思って代官山にしました。

最初中学まではちゃんと勉強して、英語、数学の基礎というか、土台はできてたかなっていう感じはあったんですけど高校入って、うーん、なんか物理よく分からない、化学よく分からないな、もやもやっていう状態で。物理は計算も問われるし、ちょっとギャンブル的な一面もある教科かなっていう点が一つと、ある程度センターレベルの問題は解けたんですけど、それ以上の問題がもう一切解けないっていうのがあって、ちょっとこれ以上僕伸びないかなって思って。そんなら暗記の生物のほうが、もっと伸びしろがあるんじゃないかっていう考えで。

計算力の大切さを身に染みてわかった。

生物は、授業聴いて理解するのは、もちろん当然なんですけど、そこで終わってると、本当全然覚えられなくて、自分の理解したものをアウトプットして、まとめたり整理することで、より深い知識というか、安定した知識が得られるたんじゃないかなと思って。先生が小テストめっちゃやってくれて。そうやって結構、長期記憶に残ってたりとか、生物のマンスリーランキングにも、何回か載ったと思うんですけど。でも、数学は最後になって、自分はもう解法分かるからいいやみたいな、ちょっと怠ったというか。もあって、解法は分かるんですけど、計算力が、がくーんって落ちちゃって最後。で、石井先生の面談でもすごい指摘されたんですけど、「他の後ろ取れてんのに計算で間違えすぎじゃない？」みたいに指摘されて。「え、これ取れるっしょ」っつって、なめてたらだめだと。まあ、計算力大事ですね。

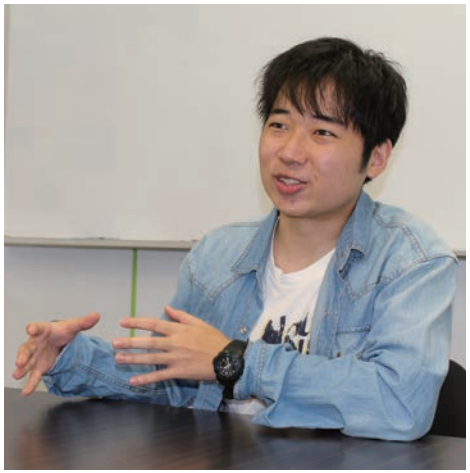
英語は青葉先生と、朝岡先生がやっぱ印象的で、で…。夜間（演習）とかを担当して、ずっと担当してくださったんですけど、どういう配分で時間を設定するのかっていうのを細かく言ってくださるので、それに勉強がしやすかったのと、問題ごとに、これは、例えば4択だと〇〇分とか、並び替えだと〇〇分とか。細かく本当、指定してくださるので。じゃあ、これは何分で解けるなとか、解いたほうがいいなとか、自分の、その目標となる時間を、明確にしやすかったですね。きっぱり言ってくれるので、そこは助かりますね。で、朝岡先生は、英語ならではの、何て言いますか、言い回しとか、そのイメージとか、そういうのをやっぱ言ってくださるので。自分というか、そういうシチュエーションに合わせた、この使い方はこの単語のほうがいいよとか。

薄先生は、本当に初心者とか、数学本当に分からないよっていう人に向けたそういう説明とか、すごい丁寧な解説してくださるので、自分の本当に抜けてたところとかの探すとか、そういうことが結構できてて。あ、ここ本当は俺、理解してなかったんだっていうのがすごい見つかりますね。薄先生の授業を受けてると。特に、丁寧というよりかは、何て言いますか、本当に分からない人、本当にゼロの人たちを引っ張る、引っ張ってくれる力があるかなって思います。で、ヒラパンとか中村先生とかは、もちろん丁寧な先生なんですけども、やっぱ復習して数学を解ける力を身に付けようみたいな。実際の入試とか出てきたときに解けるようにしよう、そういう力を身に付けようっていう感じでしたかね。そうですね。演習とか結構、好きな先生ですかねー。授業中に、演習時間、結構あって、解かされた後、当てられますね。みんな、そのー、最初、A6のクラスはみんな嫌がってましたけど。なんか、やっぱまだ分からないのか、ちょっと分かんないですけど。結局、僕がぼそっと答えて次進むみたいな。ハハハ。で、あと、やっぱテキストの復習、意外とやっぱ(本番に)出るんですよね、入試に意外と。本番で。本番で出るんで、レギュラーテキストの復習はちゃんとやったほうがいいと思います。はい。あと、ヒラパンはこれが出るっていうのを当てるんで、本当にあの先生。どこだったっけ、昭和とか聖マでも当てましたね。はい。岩手でも確か。岩手と、東北医科かな、でも当てましたし。

マンツーの前にやっぱ自分の分からないことを明確にして臨んでいました。

化学は三上先生とか、あと原先生にお世話になったんですけど、原先生には有機化学を教わってたんで、原先生、そうですね、丁寧だし分かりやすいし、何て言うんですかね、優しいというか、ずばずば、こう、ずばずば言わないというか、毒を持った、ぶずって刺すような言い方しないので。で、三上先生は、滴定問題とか、理論化学で、気体とは別の他の分野ですごいお世話になりましたね。平衡とか、あの、平衡の教え方というかが、すごいうまいなーと思ってて。電離平衡とかそういうことに関しては、三上先生はすごいいい先生だなーと思って。で、実際、平衡は本当いろんな大学とか、過去問見てもそうですけど、結構、出ますので。三上先生には、その、平衡ですごいお世話になりました。多分、生徒の身としては、考え、思考的には2パターンあると思ってて、この先生一筋で行くっていう人と、この分野に関してはこの先生、この分野に関してはこの先生って分けて質問する人と2パターンい

て。まあ、僕はどっちでもいいんですけど、僕はどっちかというと、この分野はやっぱこの先生がいい、この分野はこの先生がいいって、その特化した、特化したって言い方はおかしいですけども、この先生のほうが分かりやすいっていう先生のほうに聞いたほうが、やっぱ自分としてはメリットのほうがおっきいので。
最初、いや、最初の授業でどの先生も、その、1冊なんでもいいから、教科書なり、資料集なり、ノートなり、1冊にその情報を集約させなさいっていうことを、どの先生もおっしゃってて。で、僕はノートを選んだんですけど、そのノートに、そのー、補足じゃないですけど、そういうのを付け加え、どんどんどんどん付け加えて。で、自分である程度知識を吸収した状態で、マンツーに臨んで、自分がどこ分からないのか、どこが本当に不安なのかっていうのを明確にした状態でマンツー受けると、本当に本当に有意義な時間になるんじゃないかな。自分がもう分からないですので、教えてくださいの状態だと、やっぱ、だらだらだらっとなってしまうので、やっぱ自分の分からないことを明確にすることとマンツーの前に、自分の質問することを明確にして、どの分野が出やすいのかっていう、本当に入試に関するプロフェッショナルの先生がいっぱいいらっしゃるので、そういうのを本当に質問して、マンツーに臨むのが、本当に有意義に、マンツーを有意義に使えるんじゃないかなと。
生物は、夏、深瀧先生の進化のとこで、やっぱあの、進化のとこって、結構、覚えることが多かったりとか、遺伝子計算とかそういうのがいろいろ大変だったりとか。遺伝子計算は緒方先生に習ってたんですけど、覚えるものが多かったりとかするところは、本当、深瀧先生のプリントがすごい役立ちましたね。まとめ方は、うまいですねー、本当に。あれA4かな？多分A4だと思うんですけど、A4のプリントにすごい情報が、すごい集約されてて、コラムじゃないですけど、補足みたいなのがちょろちょろってあるんですけど、それも意外と面白かったりとか。
とにかく自分の分析をすることが、自分がどこができないのかっていうのを、よく分析することが大事だと思います。僕は意外と、分析する習慣というか、そういうのがちょっと身につけられました。化学でいう、平衡が分からないとか、そういうの絶対出てくると思うんですね、どうしても。その、分析のポイントというか。じゃあ、なんでここできないのとか。じゃあ、ここ解決するために先生に聞こうとか。あとは、僕はー、まとめノートは絶対絶対作るべきだ、暗記をする上で書かないとこれは覚えられないと思ってて、書くことで覚えるっていうのは、とってもおっきなことじゃないかなって思います。



やっぱ、浪人が悪いことじゃないって受け入れられた。

ああ、あの人浪人したんだみたいな。そういう浪人はいけないものだって言い方おかしいですけれども、マイナスというかネガティブに考えていたんです。でも、全然決して浪人が悪いことではなくて、ここだと、精神的に…、根暗どころか、明るくなったりとかポジティブに考えられるようになった…。その一浪人っていう苦しい時期を超えられたからこそ、得られるものって必ずあると思うんですね。で、やっぱ、そういう浪人した人達は、意外とその…人の痛みとかも分かったりとかするので、浪人は全然、決して悪いことではないと思えるようになりました。
そうですねー、やっぱここの塾を信じて、やっぱ本当に正解だったなっていうのがあって。先生がたがやっぱ充実してらっしゃるっていうことと、やっぱ一番おっきなところは、本当にすぐ質問に行ける、先生が常に、講師室で…、普通の塾だと壁で仕切られてたりとか、ちょっと入りにくかったりとかするじゃないですか。でも、ここは本当開放的で、すぐ先生に質問しに行けることができるっていうのは、すごいおっきなメリットかなって思ってましたね。
高校んときの僕はこれはちょっと初心的な質問かなーとか質問するのをためらっちゃったりしてましたけど、本当にばからしい質問でもいいので、本当に本当に質問しに行く、先生に面倒を見てもらうっていうのは、自分のやる意思を先生に見せないと、と思って。せっかく近くにいて、質問しないとか、もう本当にもったいないなーと思って。

10月くらいはちょっと病んでましたけど、でもフタ開けてみたら、はい４つ受かれば十分。

一次出たところが愛知と聖マと、あ、ちょっと待ってください、愛知、聖マ、金沢前期、埼玉後期と杏林です。５つです。頑張ったなって、はい、で、２次が来たのが、えっと金沢前期、埼玉後期、聖マと杏林です。愛知以外は全部来ました(笑)、愛知77番で、なんかあと11人でした、ふふふ(笑)。女子医は、多分英語ができてなかったのが原因ですね、ちょっと無理でしたね、岩手は物理がもうほんとにただの私の復習不足で…崩壊しました。昭和は　あの化学が手も足も出ず…はい…埼玉前期、物理マジでできなかったです、北里は数学ですね、全然解けなくて(笑)。東医は、いや、開示したんですけど、あと11点で一次は出たみたいな…(笑）。で金沢が早めに来ちゃって、正規でした。聖マは８番です(笑)、杏林が、杏林が95で、愛知が(笑)77だったかな。10月くらいはちょっと病んでましたけど、でもフタ開けてみたら、はい４つ受かれば十分、はい(笑)。ふふふ(笑)。

私立医学部対策ができないからやっぱ本州行った方がいいんじゃないかなって、東京へ。

現役ではほとんど受けず、岩手だけかな、札幌で受けれたんで。１浪目ではじめて五反田行って、チョコめっちゃ集めて(笑)。そのとき歯学部落ちて、２浪なんて絶対しないって言ってました。一浪目は札幌のKです、いや悪くはなかったんですけど、なんだろまあみんな国公立で、私センターがほんとに取れなくて。それ考えたら私立に切り替えちゃった方がいいんじゃないかなって思ったんですよ。親の考えもあるし自分の考えもある(笑)。やっぱ北海道だから私立に抵抗感はやっぱりあって、もう国立至上主義なんで(笑)。みんなが国公立目指す中で、自分だけ私立専願にするのは、ちょっと悩んでたんですよね。でもこっち来たら、本州の人は普通なんだなあって思って、全然なんかほんとに。北海道は情報全くなかったし、私立医学部の対策ができないからやっぱ本州行った方がいいんじゃないかなって、東京へ。それでも代官山来た最初は、国公立受けようかなとかもちょっと考えてたんですよ。まだ謎に野望持ってましたね、ははは(笑)。だけど吹っ切れましたね、夏ぐらいに。

何から優先的にやればいいのかがわかって目の前のことをやれるようになってきた。

代官山MEDICALは、K塾と比べて授業多かったです。やっぱり最初のころはこなせなくて、後回しにしちゃう性格なんで、やろうと思っても一個に時間かけすぎて、まだ復習しなきゃいけないやつ残ってても間に合わないとか、じゃあ明日やろうみたいになって、明日明日明日になって(笑)。どんどんどんどんたまってって土日も、あ？、土曜日とかも授業あるじゃないですか、だからなんか全然溜まってくんですよ復習が…、でも慣れてきたんですよね、生活リズムに慣れてきたら、何から優先的にやればいいのか重要度を教えてくれるから順に目の前のことを一つ一つやれるようになって。それからは逆に余裕がもてるようになってきましたね。溜まった分もいっぱい復習して、一気に片付いていきました。やっぱり大手の授業の少なさに慣れてたんで、はい、Kにいたとき、全然なんか普通にラーメンとか友達と食べに行ってました、一浪のとき、はは(笑)。のんきです(笑)。

代官山通信の表紙のお言葉を見て、やっぱ自分ってだらけてる人間だなってやんなきゃって(笑)

本館にいたときは、２号館が６時から開いてるからその人たちに負けたくなくて、５時に起きて寮で勉強したりとかしてたんですけど、２号館に移籍してからはなんかちょっと安心しちゃったっていうか(笑)、いやなんか、もうずっと２号館に行きたくて、もう必死だったけど、やっと行けたー、あーちょっと一安心みたいな(笑)。そっから朝起きれなくなって。２号館行って最初のひと月ぐらいは、勉強にも身が入らず朝も起きれずっていう、で、ちょうどそのときに、代官山通信？あの石井先生からのお言葉みたいなのあるじゃないですか(笑)、そうです、表紙のところに、10月号だったんですけど「今求められているのは真の継続力」ってふふ。あれを見て、自分ってだらけてる人間だなって、やんなきゃ、あ、私やばいなって思って。そっから書いてあった通りA２とかA３の人達に「朝一緒に来ない？」って、ふふ。あと夜家帰ったらスマホ触っちゃうからスマホは遅刻したその日は事務に没収してもらったり(笑)。朝は豪くん(金沢医科大進学；佐藤豪)と源河ちゃん(帝京大医学部進学：源河あゆ)と朝一緒に赤本解くことに、６時半集合で。でも、源河ちゃんとか豪くんと約束してなかったらマジで朝来てなかったです。ほんとに。

代官山きて、一番変わったのは、物事の本質を考えること。

いや、みんな、どの先生もめっちゃ凄くないですか、代官山。めっちゃみんなわかりやすいんですよ〜、でも分かりやすい先生に見ていただいたにもかかわらず？私の〜、もう才能がないなと思います、ははは(笑)。原先生の授業、めっちゃわかりやすいですよね。なんだろ聞いてて一個も疑問が出てこない。龍先生もめっちゃわかりやすかったです。龍先生疑問が出てこないってか、自分が計算わかんないっていうぐらいの疑問しか出てこないんですよ。あ、そういうことなんだみたいな凄い今まで習ってこなかった感じの先生方なんです。話すっていうような化学で、なんでこうなるかってところまでも説明してくれたのが凄いわかりやすかったです、はい。物理もみんな凄い全員わかりやすくて、とにかくなんでこの公式を使うのかっていうのを常に考えなきゃいけないんだなって思って。んーなんだろ復習するときにもこの式をなんで立てるのかっていうのをめっちゃ考えるようになりました。一番変わったのは、物事の本質を考えること、ほんとにそれはめっちゃおっきかったです。計算科目だけじゃなくて英語とかも語源？とか、接頭語とか、そういうところまで分解してっていう…、分解好きです、ふふ(笑)。ただ暗記っていうよりかは、本読んでる感じなんですよね、わかります？物語読んでるみたいな感じってわかります？(笑)。そう、読んだ後も、こういう話だったって時間経っても覚えてるじゃないですか。暗記ってやっぱ忘れちゃう。繋がりを持って覚えたら忘れないんだなって思いました。すぐ忘れちゃう人だったけど(笑)。数学の解法一つとってもこれだったらこっちの問題にも使えるけどあっちの問題にも使えるなみたいな感じです。１対１で覚えてなかったです、英単語も繋げてましたね。色々意外と繋げられる…、なんだろ、なんかこの前やった長文にも出てきたし、そういえばこれ赤本にも出てきてたなみたいな感じで、雑談とかもちょっと覚えてたりするんですよ。石井先生が授業中手を動かせって、動かせって、先生が板書しなかったことでも書いたノートはずっと持ってます、うん凄いなんか色々書き込んでました。なんか石井先生の授業は。凄い緊張感の中で当てられて間違えたら恥ずかしいし、周りの人に覚えてないんだなって知られちゃうのも恐くて、それでめっちゃ復習したんです。うんうん、先生がちょっとぼそって言ったこととかもノートに書いて石井先生の…。だから何言われても答えられるようにしなきゃって必死だったんですよね。で、一番前座ってたから絶対当ててくれるし余談までも。なんかそうしてたら、なんか他の科目でもそれが癖になってきて、勉強の仕方が固まっていった…、んーそうですね(笑)。正解したいっていうか、答えたいじゃないですか(笑)。それでめっちゃ頑張ってました、ふふふ(笑)

クラスも成績順で分かれてて、そのクラスの中では一番になりたかった。

やっぱり代官山はみんな意識高くないですか？授業切ったりする人もいないし、朝来なかったら普通に友達からも言われるけど、先生方からも言われるじゃないですか。典さんとかタイムカードチェックしてるじゃないですかー(笑)、してるらしくって、それでクラスも成績順で分かれてて。そのクラスの中では一番になりたかったです。凄い競争するじゃないですか、それがめっちゃよかったんですよ。名前も張り出されるし、点数も出るし、でクラスの中でもどのくらいとかってわかるじゃないですか。よかったらまた上がれるしっていう、その競争できるのがめっちゃよかったです。

よく覚えてるのは、みんなでごはん食べてて、昼休みまるまる使っちゃったとき、それで自習室に戻ったら、自習室ですでに勉強してる人たちいるんですよね。そうかぁそこまで割り切ってやってるんだぁみたいな、やっぱ負けちゃう…じゃないですけど勉強すればするほど伸びるから、そこで差つけられたくなくて(笑)。あと罪悪感？今日、時間無駄に使っちゃったなみたいな、自分も食べ終わったら話途中でサクッと行っちゃうっていうふうになりました、うん、なれました、ふふ。

代官山は勉強すべき私の場所があって、その席に、「寝るな！」とか書いてました。

代官山のよかったのは、めっちゃ厳しいところですね。自由じゃないっていうか、その世間一般でいう高校とか中学とか、色々言ってもらえるし、気にかけてもらえるし絶対放置しないじゃないですか。宿題やってなかったら怒られるし、で、ちょっと下がったら声かけてくれたりとかしてくれるのは凄い大きかったなって思います。普通の予備校って自由なところが多いじゃないですか、大事なとこを自由にさせないところがめっちゃよかったです、その厳しいっていうかどうするべきか常に教えがあるんですよね。代官山は遊びに行ったりできないじゃないですか、授業いっぱいあるんで、でみんなも遊びに行ったりしないし、うん。あとは、代官山の自習室めっちゃおっきい(笑)、もう普通の予備校とかだと自習室埋まっちゃうんですよね。だから今日は自習室入れなかったから勉強はしなくていいみたいな、勝手にそういう(笑)。代官山は勉強すべき私の場所がちゃんとあるから。自分の自習席も

いっぱい貼りすぎてて、大きく「これは覚えなきゃいけないやつ！」とか。「自分を戒めるやつ」と「暗記しなきゃいけないやつ」と「今日やるノルマ」みたいな感じで(笑)。「寝るな！」とかも書いてましたし、ははは。

みんな同じ方向を向いているから周りの目を気にしなくてよかった。

やっぱみんなが同じ方向向いてるのがいいなって思いました。勉強しなきゃ、頑張んなきゃってあるから、話が合うじゃないですか。なんかそれが凄い楽だったのはあります。
いや高校の時って、自分が勉強そんなにできないのに、自分の成績とか医学部志望を言えなかったです。でもここはクラス分けされてるから周りの目を気にしなくて済むっていう、もうほんとに同じ学力じゃないですか。馬鹿な質問とかも色々、先生にも質問めっちゃしてました、でも、あ、質問するときは必ず１回自分で考えるようにしてました。質問する前にこの問題の解き方がわかんないってなったときは、ここまでやったけどこれは合ってるのかみたいな。そのわかんないからすぐ行くっていう人もいると思うんですけど、私はそれだと駄目かな、と。それに聞きっぱなしじゃなくて、それを残しときます。紙に。絶対あとからもっかい同じとこがわかんなくなるんです、ふふふ。聞いただけじゃ忘れるんで。そういえばこれこの前も質問行ったなみたいになっちゃうのが嫌で、絶対書き留めてました、はい、質問大事ですよね〜。

先輩達の軌跡を読んで、自分に合ったやり方を試していった。

後輩へ一言、そうですね、ん〜いくら合格したからっていって、何も後悔が残らないってわけじゃないんで、その一点数開示したときに、あーもうちょっとだったなあとか、あんときもうちょっとやってればって、後悔残っちゃうんで、だから後悔残らないようにやり切った方がいいのかなってほんとに思います。
あと、なんだろ、んーあ、日曜日の夜は勉強しなくてもいいと思います(笑)。私はもう日曜日の夜はおいしいもの食べて寝るって決めてたんで。でも私月曜日のウィークリーめっちゃガチでやってたんですよ、はは。英語25点満点だらけで、へへへ(笑)。勝手に下剋上みたいな感じでどうしてもあのランキングに載りたくて、めっちゃ頑張ってました。だから凄い早めから準備して、日曜日の夜までには終わらせて、おいしいご飯を、ふふふ。結構ガチで、ふふ、数学と物理もどうしても載りたくてめっちゃ、最後まで気抜かずに。70点切ったことないんです、うふ。
あと、睡眠はちゃんと取るべきだと思いました。合格座談会のときに聞いたんですよね、どのぐらい睡眠取ってましたかって。そしたら５〜６時間が多くて。私最初５時間で頑張ってたんですけど、全然授業でやったことも頭に入んないぐらいボーッとしちゃって。それ聞いて６、７時間寝るようにしてました。
こうやって色々受かった先輩やチューターさんから得た情報って、おっきかったですね。
「合格への軌跡」も含めて、色んなタイプの人がいるじゃないですか。睡眠はちょっとで足りる人とか、逆にいっぱい寝ないといけない人とか、自習中は絶対寝ないとか、色んなタイプの人がいて、色々試しました。それで自分に合うのをどんどん見つけていったってのはあります。読んだ方がいいですよ「合格への軌跡」、ははは。

6浪だったけど、合格最低点と3点差で合格！

加藤理沙です。金沢医科大学に合格しました。一次は金沢、川崎、福岡、久留米合格しました。なんか南に愛された(笑)。二次は金沢だけきました。番号ありの60番で。川崎は番号なしで、久留米が96番で残念でしたね。3月の18日に金沢がきました。今年なんか代官山から8人行ってますよね。Nと私と、伊藤くん、豪くん、梨乃ちゃん、あと服部奨？それに矢野くんと大和田くん、多いです。ほんとに代官山多いですよね(笑)。もう今年で終わりのつもりでした。まぁちょっと延長して(笑)、6浪です。6で入りました。いやーでもー、ほんと受かってよかった。ほんとに何か、代官山を紹介してくれた吉見君(聖マリアンナ医科大進学：吉見侑大)にも連絡して…、ほんとおめでとー！って。でもまだコロナで会えてなくて。めっちゃ喜んでくれました。金沢に成績開示したんですけど、そうしたら合格最低点のプラス3点で(笑)。合格最低点が213で、私216なんですよ。英語が54、数学が59、化学47、生物56。理科もうちょっとのはずだったんですけど意外となかったです…。

金沢２次はグループ面接と、小論文で、小論は結構自信ありましたし問題ないんですけど。多分金沢の面接は、年齢順に部屋分かれてるっぽくて、私のグループ多浪しかいなくて。4人のグループで、男子・男子・男子・私女子だったんですけど、あのーみんなめちゃめちゃ発言する人で。それにめちゃめちゃ仕切ってる男の子が専門用語？めちゃめちゃばーって言う。私はなんかよく分かんなくて。「あ、そうなんですねエへへへ」とか言いながらめっちゃ頷いてて。その男の子が振ってきたらと、自分から発言で2回くらいしかできなくて。高橋先生が「具体例を言った方が良い」って仰ってたんで、高齢者の胃癒？とか終末期医療？とかの話だったんで、自分のおばあちゃんの老人ホーム行ったけど、最終的に自分の家で最期を迎えたっていうエピソードを話したぐらいで、私は。全然発言しなかったんで「こりゃやべえな」とか思いながら内心(笑)「めっちゃ言うやん、どうしよ」って。ビデオ撮影かな…。なんかビデオがこう、あって、別室でなんか10人くらいで観てるらしいですよ。みんながめっちゃ話すから「は～、すごいな～」って。あ、だから具体的な例なんかも、多分言った方がいいかなーと思います。専門用語ゴリゴリだった他の人なんか全員落ちてました…。年齢は半端なかったけど、11浪とか10浪とか。4浪で「おっ」って(笑)。私は6だったけど(笑)。まあ、そのグループで私だけです受かってたの。まあ「まだマシ」って思われたんですかね？(笑)

代官山に来て、「こんなだらだらしないで、皆がワッて勉強する塾あるんだ」と衝撃だった。

私は代官山に来るまでは地元の名古屋で色々K塾とかYゼミとかF学院とか行っていて、1浪、2浪で行ってたK塾で知り合った吉見君から、良いところがあるよって代官山紹介されて。吉見君はK塾で同じクラスだったんですよ。その後「聖マリ合格したからお前も絶対東京来た方が良い！」「親元離れてやったほうがいいぞ！」って言われて。ここ来て代官山専用の寮もあるってことで、先生に案内してもらって(笑)、私めっちゃ覚えてます。もう～、勉強せざるを得ない状況だったし、自分を変えないときっと受からないと思ってたし。もう自分から朝も頑張って。朝とか起きるのは自分でちゃんと頑張ってました。代官山は二号館とか特に鍵が施錠されるし(笑)。休み時間にしか校舎に出入りできないところとか、なんか勉強を強制的に「しなきゃいけないな」っていう気持ちに向かわせてくれるところがすごく有り難かったです。

最初代官山来たとき、すごって思って、すごいですよね、代官山。みんなワッて食べてワッて勉強するのが「え？こんな塾あるんだ」って思って、みんなだらだらしてない。これまでの塾とは全然違う、ホントにすごい。施錠されるのもそうですし、授業数がすごい多かったし。今まで通ってたあたしの塾は、夕方で終わるところばっかだったんで。自分では勉強してるつもりでも、代官山来ちゃうと、あれは勉強してなかったですね、なんかそれまでそんな勉強出来てなかったんかなーっていうのが今になって思うんです。授業数を多くしてギリギリまで詰めてくれる代官山の授業スタイルがすごい気に入ってます。強制力が無いと出来ない、出来ないです。もうパッパラパーだったんで。

先生たちもめっちゃ面倒見いいじゃないですか。ホントに優しい…、厳しいけど、優しくて、どんなに出来ない事で何度も質問しに行ってもちゃんと。先生達マンツーだけじゃなくて、プリント下さいって言ったらプリントくれるし、それも「やったの？」って聞かれて「あ、やんなきゃ・・・」とか「ここまで終わってる？」とかも把握してくれてて。それがやらなきゃやる気にさせてくれました。

代官山来て、自立心が芽生え(笑)。

それに考え方が大人になりましたよね。精神が成長したっていうのは一番デカイかな。んー、なんかその、あんまり悩んだりしなくなりましたね。どうしようとか、いややるしかないっしょって。それにむやみやたらに頼ったりしなくなった、と思います。自立？自立心が芽生え(笑)。それまでは親に頼りっぱなしでした。「お母さ～ん」みたいな(笑)実家だったんで、ずっと。ほんとにもう、何にも出来ない。家から出て良かったです。ホントにそう思います！ホントに感謝してます。その一出してくれた吉見君に、はは。

ライバルっていうか、戦友ができました。

みんなでお互い点数を競い合ったり、受験生として仲良くて、そういう環境だったから、私も頑張ってウィークリー1位1回獲ったよ。ウィークリーまじで頑張ったんですよ。なんかその、合格座談会で白須君（東邦大進学）が「ウィークリーめっちゃ頑張った方がいい」ってすごい印象に残ってて。ウィークリー基礎だし、一から頑張ろうと思って。毎週もう全力で本気で、あれですね、ウィークリー受験しました、わたしは。英語は25点満点、1個0.5点、1問0.25点のやつを一個一個。もう、総合1位獲れた時はホントに嬉しくて！確か1位が最後から手前ぐらいだった気がするんですけど。最後のほうだった気がするんですけど。なんか関ひかりちゃん（東邦進学）が3位か4位で。めちゃくちゃ悔しがってて「1位だあ～～～！」ってめっちゃ言われたのが、ホントにそれが嬉しくて。人生テストで1位獲れたの多分これが初めてで。なんか授業終わった後に、授業全部終わって先生居ないの確認してパシャってランキング写真撮って、はは。いや、もう親に送りました。「1位獲ったー！」って。そんなウィークリー復習テストだからあんまりそんな重視してない人にとっては「ウィークリーじゃん」みたいな感じに思われるかもしれないんですけど自分はすごい嬉しかったんです。今までやってたのが無駄じゃなかったんだなあって、嬉しい瞬間でした。うちのクラス皆マジメだったし、中山さん(杏林大医学部進学)と、後半25点どっちが多く取ったかめっちゃ競ってて。「今回負けたわ～」とかすごい、お互いに言い合ってそれが良かったです。いや、ライバルっていうか、ホントに、ライバルを越えた良い友達っていう戦友、うん。この間もA1の子達でZoomでA1会をしました。ふふ。受かってよかったねみたいな。

いわゆる多浪での受験をどのように考えていましたか？

まあ…、多浪なんで、受かる自信はいうて無かったんですけど、まあ受かりたいけど、実際その、年齢もあるし、女性差別うんぬんとかあるから、受かるかな～？(笑)なんか緒方先生に11月くらいに「生物こんなにイケてるのに、全然自信無いでしょ？」って、一回言われた事あって。なんかその、呼び出されて一回私が。呼び出しってその一私ヤバい事したかな？ってやべえやべえとか思いながら行ったら、「生物もすごい安定して出来てるし、考え方もすごいしっかりしてるのに全然自信無いよねー」みたいな言われて、でその時に「自分自信そんな無いんだー」って思って。ハって気付いて。それで何か、そのーなんていうんだろう「数字はちゃんと出てるから、そのまま自信持って行けばいいんだよ！」みたいな事めっちゃ言われたんですけど、どうしてもやっぱその、年齢は変えらんないし、入試のその差別とか、無いって言われてても、点数を取らないと私はきっと採ってもらえないと思ってたんで慎重になってました。最後まで不安っちゃ不安でしたけど、緒方先生の言ってもらえたことはすごく嬉しかったです、うん。

あと、周りにも恵まれましたね。そうですね。石代君も大阪医科行って。実は石代も同い年なんです。水谷紀江（近畿大医学部進学）と、石代（大阪医科進学）と、私となんか、3人6浪トリオ(笑)仲良し6浪。まさかの6浪が一掃セールって感じでいなくなっちゃったんで。ほんとに良かったねーって。こんなに多浪でも受かる塾って無いんじゃないかなあ。ホントに多浪一掃セールだった。

最後に、後輩たちにアドバイスを。

朝はある程度早い時間に来た方がいいよね。8時までには来ようっていう意識で私は来てました。朝に勉強を、単語だけでもいいんで何かやったらエンジンがかかって自分はその授業一日今日、頑張ろう！っていう気持ちになってました。今まで全然そんなんじゃなかったんで、「朝、めんっど！」みたいな感じだったんで(笑)ホントに変わったなあって思いますよホントにそういうところは。代官山来てなかったら、今頃名城大学行ってました。(笑)　間違いなく！間違いなく行ってました。

スキマ時間の使い方はしっかりやったほうがいいし、先生の言う事はきちんと聞く。それが一番の近道だと思う。大変だけど、近道。んーとあと、結構量、渡されるんで。結構マンツーもどの先生もそうだと思うんですけど、結構な量をプリント渡される人多いと思うんで、量こなすのもそうだし何回も繰り返すのもめっちゃ地道な作業だと思うんですけど、なんやかんや今思うとそれが一番効率がいい近道だなあって思うんで。

「受かるぞ」って気持ち大事ですよね。

私、後輩に伝えたいことで、多浪生がもしいたら面接と小論文対策はちゃんとやっておいた方がいいってすごく、すごい思います。多分私が実際逆転してるんで金沢で。ほんとに逆転ってあり得るんだっていうのは

実際目にしたので、ホント高橋先生の言う事はちゃんと聞いたほうがいいなあっていうのは。多分私が受けてきた中で(笑)、日本で一番良い先生っていうのは、間違いないです。今も使えるもん、大学のレポートで。だからホントにすごいんだなって思った。
それに、以前合格の軌跡で、五藤未来さん(関西医科大進学：後藤未来)、全然直接の関わりは無いんですけど、軌跡の最後のほうで「努力した人は絶対報われるから、諦めないで頑張って」みたいな言葉があって、本当にその通りだなと。しんどかったけどなんか正直、「こんだけやったから絶対来る」みたいな自信はちょっとあって。だから結局それが最後結果に結びついたし、やったら、その分の努力は絶対返ってくるから、代官山生はホントに頑張ってほしい。あと残り何カ月か分かんないですけどホント頑張ってほしいです。